

令和4年第4回定例会

美郷町議会議案等

令和 4年12月 6日 開会

令和 4年12月 9日 閉会

美 郷 町 議 会

報告第9号

令和3年度美郷町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の
点検及び評価等の提出について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第
26条第1項の規定により、令和3年度美郷町の教育に関する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価等について、別紙のとおり報告する。

令和4年12月6日提出

美郷町長 田 中 秀 俊

提案理由

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について、地方教
育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条第
1項の規定により、議会へ関係書類を提出し報告するものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づく

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

(令和3年度対象)

令和4年10月

美郷町教育委員会

目 次

| | |
|---|---------|
| 1. 美郷町の教育施策 | 1頁 |
| 2. 美郷町教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について | 2頁 |
| (1) 点検・評価の対象 | |
| (2) 点検・評価の方法 | |
| (3) 評価の区分 | |
| 3. 点検・評価結果 | |
| (1) 教育委員会の活動 | 3頁 |
| (2) 学校教育の充実 | 4頁～6頁 |
| (3) 家庭教育の振興 | 7頁 |
| (4) 社会教育の振興、生涯学習の充実 | 8頁～9頁 |
| (5) 健康の増進と生涯スポーツの振興 | 10頁 |
| (6) 文化の高揚 | 11頁～12頁 |
| 4. 総合評価・知見の活用 | 13頁 |

1. 教育施策

美郷町の教育全般の振興を図るため、教育基本法の理念及び宮崎県教育基本方針を踏まえ、人間尊重の精神を基本とし、一人一人が豊かな人間性を培い、変動する社会に創意工夫と生きがいをもって対応できるよう、「たくましい体」「豊かな心」「すぐれた知性」を備え、郷土並びに国家の有為な形成者として、心身ともに調和のとれた人間形成をめざして、教育推進を図ります。

(1) 教育委員会の活動

美郷町教育委員会では美郷町の行政委員会の一つの独立した機関として、教育行政を担い美郷町教育基本方針を決定し、その実現の為に活動を積極的に実施する。

(2) 学校教育の充実

学校教育では、児童生徒一人一人の個性や能力を最大限に伸ばし「知・徳・体」の調和のとれた健やかな園児児童生徒の育成を目標とし、県の重点施策を総合的・体系的に示した「宮崎県教育振興基本計画(令和元年策定)」の趣旨を踏まえた施策を展開する。

さらに、本町の教育資源を生かし「ふるさとを愛する心と豊かな国際感覚を育み、確かな学力を身に付け、自分に自信と誇りがもてる、心豊かな人材を育成する」ことを目標とした「美郷ならではの教育」推進を目指し、幼小中一貫教育の具現化に向けた取組及び義務教育学校への移行に向けた検討を積極的に実施する。

(3) 家庭教育の振興

家庭教育では、「生きる力」「心の教育」の基盤を確立するため、すべての教育の出発点であるとの認識を深めるとともに、家庭が本来果たすべき役割を見据え、家庭の教育力向上に努める。

(4) 社会教育の振興、生涯学習の充実

社会教育では、全ての町民がいつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができ、自己の実現と生きがいを目指す生涯学習の効果的運営を図り、各種学級、講座、教室の開設等、学習機会の拡充と関係施設の整備充実に努め、自治公民館活動をはじめ、社会教育関係団体等の活性化を推進する。

(5) 健康の増進と生涯スポーツの振興

生涯を通じた健康づくりは、心身ともに健康な生活を送ることを目標に、意識的に実践することで実現できるものと考えられることから、健康な生活に関する意識の啓発を図るとともに、スポーツ活動の積極的な指導及び普及に努めるとともに、生涯スポーツの振興・充実に努める。

(6) 文化の高揚

町民の教養を高め、豊かな心を育み、生活に生きがいと活力・潤いを生み出すために、文化施設を活用して町民が進んで文化活動に参加するよう支援するとともに、文化財の保護・管理に万全を期し、適正に活用する。

2. 美郷町教育委員会の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行うことが義務付けられており、その際、教育に関し学識経験を有する方の知見の活用を図ることとされている。

本町教育委員会においてもこの規定にもとづいて点検・評価をまとめるとともに公表する。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

(1) 点検・評価の対象

令和3年度美郷町教育基本方針をもとに、令和3年度的美郷町教育委員会の主要事務を点検・評価の対象とする。

(2) 点検・評価の方法

点検・評価に当たっては、現状や背景を踏まえ、施策・事業の目標に対する実績を明らかにし、自己点検・自己評価を行う。また、法に基づき、点検評価の客観性を確保するため、学識経験を有する外部の方からのご意見をいただき、これらをもとに、結果をとりまとめて議会に提出するとともに公開する。

(3) 評価の区分(目標の達成率)

A・・・達成している。

B・・・概ね達成している。

C・・・達成していない。

3. 点検・評価結果

(1) 教育委員会の活動

| 事業名 | 事業内容 | 本年度の目標 | 目標達成の為の取組内容 | 取組結果 | 評価・理由 | 今後の課題 | 改善策 |
|----------|---|---|---|---|---|---|--|
| 教育委員会の開催 | 教育に関する事務を管理及び執行するため、定例教育委員会会議、臨時会を開催する。また、各種の研修会に参加し教育行政の課題等への理解を深める。 | 毎月1回定例会を開催し、美郷町教育基本方針策定、規則の改正や美郷町の抱える教育的課題等について議論する。また、必要に応じて臨時会を開催する。各種研修会に参加する。 | 教育委員会会議において、議案の審議だけでなく、義務教育学校の導入・ICT教育の実践や新型コロナウイルス感染症対策など、今後の美郷町の教育についての検討課題についての議論を重ねる。 | <p>定例会議において、現在の美郷町の教育における課題について、深い議論が展開された。</p> <p>【開催日数】</p> <p>定例会 11回 (8月は議題がなかったため開催を中止する)</p> <p>臨時会 1回</p> <p>議案数 14件</p> <p>(内、条例改正1件、規則の制定2件)</p> <p>【その他】</p> <p>(総合教育会議) 総務課主催の会議を実施</p> <p>(研修会) 新型コロナウイルス感染症の影響で各種研修会が中止になった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策については、緊急を要するため、学校の臨時休校の対策等につき事務局にて町当局との対策会議にて決定したことを、教育委員に報告することとした。</p> | <p style="text-align: center;">A</p> <p>(評価の理由)</p> <p>各種研修会の開催や教育施設の視察は厳しかったが、定例会を月1回計11回、臨時会を1回開催し、各議案、その他様々な教育課題について、議論を深めることができた。また、学校訪問により教育現場を実際に確認し、今後の教育行政に生かすことができた。</p> | <p>教育基本方針を毎年検討し策定している状況ではあるが、多年を通しての教育振興基本計画についての作成がまだ行われていない。(宮崎県教育振興基本計画は、令和元年度から令和4年度までの4年間)。今後も新型コロナウイルス感染症の影響により対面での研修会の開催は難しいと思われる。</p> | <p>引き続き、教育基本方針の検討を行うこととし、今後の教育振興基本計画(R5策定予定)に準じ、教育基本方針の具現化の為の長期的な教育振興基本計画の策定を行う。また、令和3年度に西郷ニューホープセンターにオンライン会議システムを導入したことから、積極的にWeb会議等に参加したい。</p> |

(2) 学校教育の充実

| | 事業名 | 現状と課題 | 本年度の目標 | 目標達成の為の取組内容 | 取組結果 | 評価・理由 | 今後の課題 | 改善策 |
|---|----------------------------|--|---|---|--|---|---|------------------------------------|
| 1 | 義務教育学校の充実 | 令和3年度4月から西郷地区と北郷地区に義務教育学校が開校した。それぞれの教育活動に支障が無いよう努めることが重要である。 | 義務教育学校の教育活動の充実を図る。 | 西郷義務教育学校 ○異学年との交流活動を充実させる。 ○学校における働き方改革のさらなる推進。 美郷北義務教育学校 ○目標となる9年生の活動の充実 ○11年間を見通した教育支援の推進。 | 西郷義務教育学校 ○上級生に対する憧れを抱くことができた。 ○ワーク、ライフ、バランスを意識した時差出勤を実施することができた。 美郷北義務教育学校 ○学校行事などにおいて9年生がリーダーシップを発揮することができた。 ○1つの学校の教職員として、連携が密となり教育活動を組織的に行うことができた。 | A (評価の理由) 西郷地区と北郷地区において、令和3年4月に義務教育学校を開校した。 | 現在、施設一体型小中一貫校の美郷南学園の義務教育学校化については、令和4年度から再度協議が始まり、令和5年度に準備が行われ翌年度の令和6年度の開校を目指す。とされている。(11月にPTAによる説明会が開催予定である。) | 先行する義務教育学校2校の検証と必要に応じて説明会へ出席する。 |
| | | 令和3年度に開校した西郷義務教育学校の施設の整備(繰越事業)を滞りなく実施させなければならない。 | 西郷義務教育学校新校舎の外構工事、校舎増設に伴う情報設備工事、遊具の設置工事を早期に完了させる。 | 令和元年度に作成した実施設計に基づき施工を実施する。 | 令和2年度からの繰越事業で実施した外構工事については、令和3年5月26日の工期内に完成した。(請負額17,690千円)校舎増築に伴う情報設備工事が令和3年6月30日の工期内に完成した。(請負額6,459千円)遊具等の設置工事が、令和3年10月20日の工期内に完成した。(請負額2,302千円) | A (評価の理由) 設備整備について遅滞なく整備することができた。 | 施設整備は完了したものの、今後実際稼働する中で見えてくる課題も出てくるものと思われる。 | 給食センターを含め施設の利用状況を検証し、適切に対応していく。 |
| | | これまで設置されていない学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の導入を行う。 | 保護者や地域住民の方に対する説明を行うとともに、学校運営協議会制(コミュニティ・スクール)を導入する。 | 西郷義務教育学校と美郷北義務教育学校において、教育委員会主導で2回、保護者や地区住民で組織する学校運営協議会を開催し浸透を図った。 | 西郷義務教育学校においては、令和3年5月25日と令和4年2月2日に、美郷北義務教育学校では令和3年5月13日と令和4年2月16日に地域とともにある学校づくりに向けた学校運営協議会を開催した。 | B (評価の理由) 学校運営協議会委員(ボランティアグループ)への組織図の説明が不足していた。 | 学校運営協議会の充実が課題とされる。また、美郷南学園の設置について検討が急がれる。 | 学校運営協議会委員の役割の周知(再確認)と、美郷南学園の設置を行う。 |
| 2 | 学習支援用備品購入(GIGAスクール対応タブレット) | 南郷地区と北郷地区においては、すでに学習支援用タブレットが配備されているが、西郷地区においては、未整備である。 | ICT教育の充実を図る為、西郷地区における児童生徒用のGIGAスクールに対応する環境の整備を行う。 | 施設の整備が完了した西郷義務教育学校のネットワークを構築する。 | 令和2年度で整備したGIGAスクール対応タブレット106台(西郷義務居育学校 購入費4,756千円)に対応した情報ネットワーク構築事業を実施した。(委託料1,540千円) | A (評価の理由) 遅滞なくネットワーク環境の整備が完了している。 | タブレットの導入について、先行して導入した美郷北義務教育学校と美郷南学園についてはGIGAスクール対応になっていない。令和4年度整備予定。 | ネットワークを含めダブル等解消の為のICT支援員を配置している。 |

| | 事業名 | 現状と課題 | 本年度の目標 | 目標達成の為の取組内容 | 取組結果 | 評価・理由 | 今後の課題 | 改善策 |
|---|-----------|---|---|---|--|---|---|---|
| 3 | 学校支援訪問 | 新型コロナウイルス感染症対策を考慮しながら学びを保障する。 | 新型コロナ感染症対策を行いながら、町内4校の支援訪問を実施する。 | 北部教育事務所の協力を得ながら、美郷北義務教育学校・西郷義務教育学校・南郷中学校・南郷小学校の学校支援訪問を実施し指導力の向上と学校の課題解決を目指す | 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、7月15日、11月17日に美郷北義務教育学校、9月8日に美郷南学園、10月19日に西郷義務教育学校の学校支援訪問を実施、また、美郷北義務教育学校においては、学校支援と共に2回の重点支援訪問を実施し授業における改善点や取り組みについて確認することができ指導力向上につながった。 | A ----- (評価の理由) 教職員一人一人が授業や学級経営を振り返るとともに、今後の授業改善に向けての課題や取り組みを明らかにする。 | 授業でICTを使う場面が多く見られたが、ICTを使うことが目的になっているところがあるので、何のために使うのかという目的を明確にして機器の活用を図って行く必要がある。 | ICTを活用する授業について研修等を実施し、教職員のスキルアップを図っていく。 |
| 4 | 特別支援教育の充実 | 近年、支援を必要とする児童・生徒が増加傾向にあるとともに、保護者への啓発も必要とする。 | 児童・生徒の個に応じた指導の実践を目指し、支援体制の充実と啓発活動を行う。 | 学校・保護者・関係機関との連携による支援体制の充実を図るとともに、町単独の通級指導教室を実施し児童・生徒の個に応じた指導を実践する。 | 県・町による連携した通級指導が実施され、一人一人に寄り添った指導が行われた。また、教育支援委員会を3回(7/29,11/11,2/17)開催し情報共有が図られた。 | A ----- (評価の理由) 園児・児童・生徒の実態に即した指導を行うことができた。 | 幼稚園教育との連携をさらに深め、継続的な教育支援体制の充実が必要である。 | 特別支援教育に関わる職員の指導力向上を目指した研修を充実させる。 |
| 5 | 就学前教育 | 令和3年度より町立幼稚園が年中・年長の2年間に統一されそれぞれ義務教育学校・小中一貫校の同一敷地内に設置される幼稚園となった。 | 幼小連携教育の内容を踏まえ、義務教育学校・小学校への移行が円滑に出来るよう努める。 | 園児と小中学生の合同での行事を実施し、指導力の向上を図る。また、教職員の働き方改革にもつなげる。 | 新型コロナウイルス感染症対策の為、時間短縮等を行いながらも運動会、また、3園の交流会を4回実施するなど教諭の指導力向上を図ることができた。 | A ----- (評価の理由) 新型コロナウイルス感染症により規模の縮小等があったが、工夫や改善を行い事業を実施できた。 | 幼稚園教諭と小学校教諭との連携のさらなる強化が求められる。 | 定期的に充実した合同研修会を実施する。 |
| 6 | 育英奨学金貸与事業 | 高校や大学等の就学生に対してして補助を実施する。 | 新規に奨学生を募集すると共に既存の奨学生に対して奨学金を貸与する。 | 新規の奨学生を募集し育英審議会において審査し貸与を行う。 | 令和3年度新規奨学生15名、既存奨学生31名に総額19,720千円の貸与を実施した。 高校生 月20,000円 大学生 月50,000円 | A ----- (評価の理由) 遅滞無く貸与を実施することができた。 | 育英奨学金における返還未納者への対策が必要である。 | 債権代行契約による回収等の取り組みの強化に努める。 |
| 7 | 高校生の就学支援 | 町内に高校が無いため高校に進学する生徒の負担を軽減する必要がある。 | 申請された高校生に対し就学支援補助金の交付を行う。 | 年度当初に募集を行い、申請があった高校生に対し遅滞無く就学支援補助金の交付を行う。 | 令和3年度は延66名に総額6,600千円を補助した。 1人に付き 月10,000円 (4月8月を除く) | A ----- (評価の理由) 遅滞無く就学支援補助金を交付することができた。 | 高校を退学した場合の届出が遅れるケースがある。 | 補助申請の時の説明の徹底を行う。 |
| | | 日向・門川への通学生の交通手段を確保する。 | 高校生スクールバスの安全な運行。 | 往路、早バス・遅バス、復路、早バス・遅バスの4便を運行する。 | 15名/日の利用があり、2,245千円の利用料金収入があった。一方でバスの老朽化が進んでおり年間の維持費も膨らんでいる。 | B ----- (評価の理由) 過年度分に寄付金の未納がある。安全に運行した。 | スクールバス路線外の南郷地区、北郷地区に不公平感がある。また、費用対効果の検証が必要である。 | スクールバスの廃止も含めた検討を急ぐ。 |

| | 事業名 | 現状と課題 | 本年度の目標 | 目標達成の為の取組内容 | 取組結果 | 評価・理由 | 今後の課題 | 改善策 |
|----|------------------------|--|--|---|---|--|--|--|
| 8 | 新型コロナウイルス感染症対策消耗品購入事業 | 新型コロナウイルス感染症対策の為に消耗品が不足しないよう対策をとらなくてはならない。 | 町内の学校等の新型コロナウイルス感染症対策消耗品が常時不足しないよう対策を行う。 | 予算を確保し不足が考えられる消耗品を事前に調査して、購入を行い各学校等に配付する。 | 除菌スプレー、ハンドソープ、ペーパータオル等の購入を行い。新型コロナウイルス感染症対策を実施した。(購入総額1,207,213円/県補助金600千円) | A (評価の理由) 感染防止消耗品等を購入し配布することができた。 | 今後も新型コロナウイルス感染症対策が必要とされる。 | 予算の確保に努め適切に対応する。 |
| 9 | 県産食材等の学校給食への無償提供事業 | 国県の補助により新型コロナウイルス感染症の影響で消費が大幅に落ち込んだ県産食材の給食での無償提供を行う。 | 国県の補助と町の予算により宮崎牛や地鶏肉、水産物(カンパチ・マダイ・うなぎ)の県産材を購入し給食での提供を行う。 | 県産食材や美郷産の食材の調達を行う。また、美郷産の食材については生産者に講話をしていただく。 | 美郷牛・地鶏肉・水産物(カンパチ・マダイ・うなぎ)の提供を行った。総額819千円(内国県補助719千円)特に和牛については、美郷牛を調達することができた。 | A (評価の理由) 県産食材を提供でき生産者の講話を実施できた。 | 令和3年度も県の補助により提供することができたが、次年度以降も美郷町産のものを積極的に提供していきたい。 | 予算の確保を行い提供する美郷町産の食材の調達し提供していく。 |
| 10 | 美郷町小・中学教職員教育研究論文 | 美郷町内の小・中学校の教職員の資質の向上を図る。 | 美郷町内の小・中学校教職員教育研究論文の募集を行いその実践により教職員の資質の向上を目指す。 | 美郷の現状と課題を把握し、各教職員が実践した研究を論文にして提出し、審査講評を行う。 | 令和3年度は6編の応募があり最終結果として1席1名、2席1名、3席2名、入選2名の結果であった。各学校で受賞者の表彰を行った。 | B (評価の理由) 6編の応募があったが、今後の継続については慎重に協議する必要がある。 | 作成、評価が負担となっている。働き方改革の観点による見直しが必要である。 | 県の弘済会「教育実践研究論文」を各学校に周知を図り応募を勧める。町としては令和4年度で終了とする。 |
| 11 | 子どもたちへの安全な教育環境の整備 | 子どもを取り巻く環境は常に変化しており、それに的確に対応する必要がある。 | 子どもたちの学びの保証と教育環境の整備・充実を図る。 | いじめへの早急で適切な対応と、不登校に対する校内での情報共有と専門機関との連携強化に努めた。さらに、命を守る取り組みとして、要保護児童等対策協議会との連携協働、スクールバスに関する安全運行に対する指導を行った。 | 不登校に関しては、医療機関との連携により適切に対応することができた。必要に応じ要保護対策協議会のケース会議が開催され各組織連携し対応した。 | A (評価の理由) 各課題に組織的に対応することができた。 | 多様化する諸課題に対し、関係機関等との連携を強化し組織的に対応することが必要である。 | 定期的な連絡会議により、各種課題等の情報の共有を行う。 |
| 12 | 学校教育における新型コロナウイルス感染症対策 | 新型コロナウイルス感染症への対策に努め、家庭等への感染拡大防止に努めなければならない。 | 十分な感染対策を講じ、感染の拡大を防ぐよう学校教育活動を支援する。 | 国や県、美郷町新型インフルエンザ対策本部会議の感染防止マニュアルに従い、状況に応じた対応を実施していく。また、保護者には早急な情報提供を行い対応への協力を依頼する。 | 参観日を含む各種行事の見直しや精選を行い、運動会については10月に半日開催とした。修学旅行については、県外の予定を県内に変更して実施した。家庭においても毎日の検温や健康観察などの体調管理を行い対策に努めた。 | A (評価の理由) 感染防止マニュアルを徹底し、感染の拡大を阻止した。 | 臨時休校中の家庭での学習にタブレット等のICT機器が有効であると思われるが、ネット環境等が十分でない。 | タブレットの整備は令和3年度で完了したので、家庭での活用ができるようネットワーク設備等の整備を行う。 |

(3) 家庭教育の振興

| | 事業名 | 現状と課題 | 本年度の目標 | 目標達成の為の取組内容 | 取組結果 | 評価・理由 | 今後の課題 | 改善策 |
|---|------------|--|--|---|---|---|---|--|
| 1 | 家庭教育の充実 | 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら家庭教育学級を実施していく。 | 各幼稚園・学校において発達年齢に応じた家庭教育学級を開設する。 | 各幼稚園・学校の特色を生かし、学級委員長を中心に魅力ある事業計画を作成し参加者の増員を図る。 | 新型コロナウイルス感染症の影響で各幼稚園・学校における開催回数が3～4回と減少したが、町内の幼稚園・義務教育学校・小中一貫校において特色のある活動が行われた。 | B (評価の理由) 家庭教育学級のマンネリ化や参加者の固定化がみられる。 | 魅力的な内容とするための検討と、参観日に開催するなど参加しやすい家庭教育学級運営が課題とされる。 | 北部教育事務所から講師を招聘し、家庭教育学級連絡会議(学級委員長と教頭が出席)を開催することで各学級の充実に努める。 |
| | | 家庭教育学級生の課題の共有と交流の場とする、町教育委員会主催の家庭教育推進大会を開催する必要がある。 | 家庭教育の支援を目的とした学習の機会のある場である家庭教育推進大会を開催する。 | 家庭教育は、「生きる力」「心の教育」の基盤を確立するため、全ての教育の出発点であることの認識を深めるとともに、家庭が本来果たすべき役割を見据え、家庭の教育力の向上を目指し事業を実施する。 | 新型コロナウイルス感染症の影響により、会場における家庭教育推進大会は開催できなかったが、ビデオによるオンデマンドで元体育教師の腰塚 勇人 氏の講演を配信することができた。 | B (評価の理由) オンデマンドによる家庭教育推進大会としたが感想を把握できなかった。 | 新たな開催方法を模索しながら継続していきたい。 | 家庭教育の重要性を鑑み、充実した家庭教育推進大会の実施に努める。 |
| 2 | 成人証書授与式 | 新型コロナウイルス感染症と令和4年4月施行成人年齢引き下げに対応した成人証書授与式の開催の検討をしなければならない。 | 新型コロナウイルス感染症の感染状況を的確に判断し、新しい生活様式による式典を計画する。 | 成人者や保護者に対し事前に協議・説明を行い、開催の可否について早めに判断し通知を行うこととした。 | 例年実施している1月3日の成人証書授与式については感染状況により中止することとし、12月26日(日)に県内の成人者代表による成人証書授与(セレモニー)を行いその模様をインスタライブにより配信した。欠席者に対しては式前に成人証書等を届け、自宅等で祝っていただいた。 | A (評価の理由) 新型コロナウイルス感染症に対応し開催することができた。 | 改正民法の施行に向け、成人証書授与式の在り方(成人式の意義等)について、町の姿勢を早急に定める必要がある。 | 成人者やその保護者とも意見を交わし、本来の成人式の在り方・意義等について検討を行う。 |
| 3 | 地域学校協働活動事業 | 地域と学校のより深い連携を目指す。 | 次世代を担う人材育成と持続可能な地域社会の実現を目的に「学校を核とした地域づくり」を目指す。 | 学校関係者・PTA・行政関係・社会教育関係団体・自治会等の8名の委員による委員会を開催し体制の構築を図る。具体的な取組としては、読書活動支援員を配置し地域や学校に本を届けることで町内における本の循環を図る。 | 新型コロナウイルス感染症の影響で委員会の開催が当初の予定より減少し2回となったが、読書活動支援員を配置(西郷図書館)し、地域(図書館)と児童・生徒をつなぐことができた。 | A (評価の理由) 読書活動支援員1名を西郷図書館に配置することができた。 | 今後の学校運営協議会との連携協働が重要である。 | 学校運営協議会に地域学校協働活動本部の委員が参画し、連携強化を図る。 |

(4) 社会教育の振興、生涯学習の充実

| 事業名 | 現状と課題 | 本年度の目標 | 目標達成の為の取組内容 | 取組結果 | 評価・理由 | 今後の課題 | 改善策 |
|--------------|---|--|--|--|---|---|--|
| 1 生涯学習の充実 | 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら生きがい教室を開催する。 | 町民がいつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができる生きがい教室を開催する。 | 新型コロナウイルス感染症の感染状況を適切に判断しながら生きがい教室の開催を計画する。 | 新型コロナウイルス感染症の影響で、例年より回数は、減少したが、112回の生きがい教室を開催し延べ546人が参加した。 | B ----- (評価の理由) 参加者の固定化がみられる。さらに魅力ある講座の検討が必要である。 | 次年度以降も新型コロナウイルス感染症の影響で開催が制限されることが考えられる。 | 状況に応じた適切な判断を行い、町民のニーズに応じた生きがい教室の運営に努める。さらにオンラインによる講座の検討。 |
| | 青少年派遣交流事業として、沖縄県豊見城市と、また、青少年韓親善交流事業として、韓国扶餘との交流を行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響で実施が困難な状況にある。 | 新型コロナウイルス感染症の感染状況を的確に判断しながら対応を行う。 | 往來による交流は困難であることから、ICT機器を活用した交流を構築する。 | 沖縄県豊見城市との交流は、昨年同様オンラインでのWEB交流を実施した。美郷町での参加者は美郷北義務教育学校6名、西郷義務教育学校1名であった。日韓親善交流事業もオンラインによるWEB交流で8年生12名が参加した。 | B ----- (評価の理由) 往來による交流実施できなかったが、オンラインで開催することにより草の根の交流は継続できた。 | 韓国との交流は、政治的状況もあり、今後も往來による交流は難しい状況にある。 | 今後もWEB交流等を実施し交流を継続し、さらなる発展を期す。 |
| 2 公民館活動支援 | 各公民館から要望のある施設の維持補修の対応が必要である。(公民館・集会所施設維持補修事業) | 地域コミュニティの核たる施設である公民館施設の維持補修について補助交付要綱に基づき、予算の範囲内で補助金を交付する。 | 各公民館よりの補助の申請に対し改修費用については、2/3、備品購入費用については、1/3を補助する。 | 6公民館に対し公民館・集会所維持補修費用等の補助金を交付した。総額1,076千円 | A ----- (評価の理由) 要望のあった維持補修について補助金を交付することができた。 | 今後も老朽化等により維持補修の要望が増加すると考えられる。 | 要望に対し、緊急性等も考慮しながら計画的に対応していく。 |
| | 各公民館から要望のある公民館に類する施設等の整備に関する対応が必要である。(公民館施設に類する施設整備事業) | 地域住民が管理する公民館施設に類する地域活動(地域コミュニティ)施設等を整備する際、その施設を管理する自治公民館に対し補助金を交付する。 | 公民館に類する施設を管理する自治公民館の補助申請に対し整備に要する燃料費や原材料費の1/2以内を補助する。 | 長谷野公民館が管理する薬師公園相撲場の屋根及び柱(鉄骨部)の塗装修繕に要する費用に対し補助金を交付した。総額473千円 | A ----- (評価の理由) 要望のあった維持補修について補助金を交付することができた。 | 今後も老朽化等により維持補修の要望が増加すると考えられる。 | 要望に対し、緊急性等も考慮しながら計画的に対応していく。 |
| 3 図書館の充実 | 令和2年度に移転を完了した西郷図書館の充実化を図る。 | 完全稼働した西郷図書館の利便性を向上させる。 | 同施設の大集会室を整備し、各種会議時や避難時において有効に活用される図書館を目指す。 | 木の温かみを感じられる施設として利用者の声が聞かれる。(大集会室改修費 32,890千円) 移転後の利用者数が若干減少傾向にある。 | B ----- (評価の理由) 利用者の利便性の向上は図られたが、利用者数の減がみられる。 | 新型コロナウイルス感染症の影響で閉館することもあったが、来館者を増やしていきたい。 | 広報等を活用し来館者の増加に努めたい。 |
| | 新型コロナウイルス感染症の影響で閉館する期間もあり読書の機会の減少が危惧される為、読書の機会を増やす対策を講じなければならない。 | 生涯学習の拠点として図書館を位置づけ、読書活動推進事業を展開する。 | 美郷町読書活動推進事業「美郷町本活事業【美さ本】」を実施し図書館利用が困難な方へ社会福祉協議会の事業「ふれあい・いきいきサロン」の会場に図書館職員が出向き、本の貸し出しを行う等、読書推進につとめる。読書活動推進員の配置。 | 新型コロナウイルス感染症の影響で閉館の期間等があったが、図書館職員が選書した「本の宝箱」などの取組を継続した。美郷町読書活動推進事業 新規利用者数 15名増 貸出冊数 783冊(前年比38冊増) | B ----- (評価の理由) 閉館の期間があった為、貸出冊数が減少した。令和3年度の購入冊数19,889冊、令和2年度14,546冊。 | 次年度以降も新型コロナウイルス感染症の影響で閉館等になることが考えられる。 | 町民のニーズに即した新たな図書館運営について検討する。 |

| | 事業名 | 現状と課題 | 本年度の目標 | 目標達成の為の取組内容 | 取組結果 | 評価・理由 | 今後の課題 | 改善策 |
|---|--|---|----------------------|--|--|---|------------------------|--------------------|
| 4 | 家庭教育・社会教育の振興、生涯学習の充実における新型コロナウイルス感染症対策 | 未だに収束の気配すら見えない新型コロナウイルス感染症に対し、その対策に努め感染拡大防止に努めなければならない。 | 十分な感染対策を講じて、感染拡大を防ぐ。 | 感染症対策の周知を徹底すると共に、状況に応じて事業の開催の方法や開催の有無についての検討を行い対策を講じる。学びを止めない、新たな運営方式等を検討する。 | 公民館研究大会等各種研修会が中止やオンライン開催となった。また、生きがい教室の開催減少や青少年交流事業等の内容変更や中止の対応も行ったが、その時期の感染状況に応じて適切な対応がとれていた。 | A ----- (評価の理由) 新しい生活様式やその時期の状況による対応が適切にできていた。 | ウィズ・コロナへの適切な対応が必要とされる。 | 状況に応じた適切な対応を行っていく。 |

(5) 健康の増進と生涯スポーツの振興

| | 事業名 | 現状と課題 | 本年度の目標 | 目標達成の為の取組内容 | 取組結果 | 評価・理由 | 今後の課題 | 改善策 |
|---|-------------------------------------|---|--------------------------------------|---|--|--|---|-----------------------------------|
| 1 | 健康の増進と生涯スポーツの振興(各種スポーツ大会・スポーツ少年団活動) | 新型コロナウイルス感染症の影響により各種スポーツ大会の開催が困難な状況が続いている。 | 状況に応じて適切な判断を行い各種スポーツ大会を開催する。 | 感染状況に応じて適切な判断を行い、各種スポーツ大会を開催する際は、検温等、各種スポーツ大会に参加する町民の健康観察を実施し、消毒等感染対策を徹底し大会を実施する。 | 軟式野球・グランドゴルフ競技等において感染症対策を徹底しながら、総計10回各種大会が開催され延べ728名の町民が参加した。 | B ----- (評価の理由) 新しい生活様式によるスポーツ大会の開催(参加)を模索する。 | 次年度以降も新型コロナウイルス感染症の影響が継続されることが予想される。開催方法の検討を重ねたい。 | 状況に応じ適切な対応を行い、感染症対策を徹底し各種大会を開催する。 |
| | | 新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ少年団の活動やスポーツ教室の開催が困難な状況が続いている。 | 状況に応じて適切な判断を行いスポーツ少年団活動やスポーツ教室を開催する。 | 感染状況に応じて適切な判断を行い、スポーツ少年団の活動やスポーツ教室の実施について判断し、活動を行う時は、検温等の健康観察を実施し、消毒等感染対策を徹底する。 | スポーツ少年団の活動については、中学校部活動との整合性をとりながら活動休止期間の判断を行った。県のスポーツ少年団中央大会を始め殆どの大会が、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となった。例年行っていた、スポーツ教室については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。 | B ----- (評価の理由) 新しい生活様式によるスポーツ大会の開催(参加)を模索する。 | 次年度以降も新型コロナウイルス感染症の影響が継続されることが予想される。開催(参加)方法の検討を重ねたい。 | 状況に応じ適切な対応を行い、感染症対策を徹底し各種大会を開催する。 |
| 2 | 健康の増進と生涯スポーツの振興における新型コロナウイルス感染症対策 | 未だに収束の気配すら見えない新型コロナウイルス感染症に対し、その対策に努め感染拡大防止に努めなければならない。 | 十分な感染対策を講じて、感染拡大を防ぐ。 | 感染症対策の周知を徹底すると共に、状況に応じてスポーツイベントや大会等の開催の方法や開催の有無についての検討を行い対策を講じていく。 | 令和3年度開催予定であった美郷町民スポーツ祭については、新型コロナウイルス感染症の影響により翌年度に延期、みやざき県民総合スポーツ祭について、一部競技は開催されたが、本町からの選手参加は1名。第11回宮崎県市町村駅伝大会については、選手選考及び結団式を実施したが、新型コロナウイルス感染症の影響で大会前々日に出場棄権を決定した。第25回ロードレースIn百済の里は新型コロナウイルス感染症の影響で令和4年度に延期した。 | A ----- (評価の理由) 大幅に大会の開催が減少したが、感染症対策を徹底し大会による感染拡大は無かった。一部については賛否両論あったが、その時期の状況による判断が適切にできた。 | 次年度以降も新型コロナウイルス感染症の影響が継続されることが予想される。開催方法の検討を重ねたい。 | 状況に応じた適切な判断を行っていく。 |

(6)文化の高揚

| | 事業名 | 現状と課題 | 本年度の目標 | 目標達成の為の取組内容 | 取組結果 | 評価・理由 | 今後の課題 | 改善策 |
|----------------------------|--|---|---|---|---|---|---|-------------------------|
| 1 | 文化財の指定 | 令和3年2月に「美郷町備長炭製炭技術保存会の備長炭製炭」が宮崎県無形民俗文化財に指定されたことを受け、さらに、本町の有する他の文化財についてその魅力の発信し文化財保護意識の高揚を図る必要がある。 | 町民の文化財保護意識の高揚 | 文化財に関する講演会の開催と町広報誌で指定文化財を照会する。 | 文化財保護調査委員への説明会の開催と町広報誌での指定文化財の照会(指定文化財12件)を行った。 | A ----- (評価の理由) 文化財を知ることにより郷土愛の醸成が図られた。 | 国・県・町指定の文化財91件の適正な保護(保存)・継承・活用が求められる。 | 本町文化財に関する冊子の作成を検討する。 |
| 2 | 文化・芸術事業の推進 | 第35回国文祭・第20回全国芸文祭みやざき分野別フェスティバル事業「森林文化サミット」を開催する。 | 森林文化サミットを開催し、貴重な森林文化や伝統技術の歴史や製炭等、「日向備長炭」に携わる方々の現在の取り組みを紹介し、美郷町の魅力として多くの方に再認識する。 | 宮崎民俗学会の地村光広 氏を講師に迎え、本町の備長炭製炭技術と森林文化やその歴史について講話いただいた。 | 令和3年9月18日(土)に森林文化サミットを開催した。「伝えたい、守りたい、里山の文化と暮らし～美郷町備長炭製炭技術保存会の備長炭製炭～」と題し、宮崎民俗学会の地村光広氏による記念講演を行い、オンライン配信を行った。併せて町の公式YouTubeチャンネルでも視聴可能とした。 | A ----- (評価の理由) 本町固有の貴重な文化である美郷町備長炭製炭技術保存会の備長炭製炭を広くPRすることができた。 | 今後は、原木の育成・伐採など備長炭製炭技術がSDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けた大きなヒントであることを広く紹介していきたい。 | 今後も継続して本町の備長炭製炭をPRしていく。 |
| | 第35回国文祭・第20回全国芸文祭みやざき分野別フェスティバル事業「耳川音楽祭」を開催する。 | 20周年を記念し、第35回国文祭・第20回全国芸文祭みやざき分野別フェスティバル事業として「耳川音楽祭」を開催し、町民の文化意識の高揚を図る。 | 耳川流域を中心にアマチュアバンドに声掛けを行い、屋外での音楽祭を開催する。また併せて、特別ゲストに車椅子のシンガーソングライターの真北聖子氏とアルケミストを招聘する。 | 準備はすべて整っていたが、急激な新型コロナウイルスの感染拡大により中止を余儀なくされた。 | C ----- (評価の理由) 事前収録等によるオンライン開催の検討が不足した。 | 20周年記念事業としての開催が待たれる。 | 開催へ向けて関係機関と協議を行う。 | |
| | 新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮しながら郷土の歌人「小野葉桜」の顕彰活動を継続する。 | 葉桜短歌賞の募集を実施し、葉桜まつり・葉桜短歌賞表彰式を行う。 | 葉桜短歌賞の募集を5月から8月にかけて広く行い、新型コロナウイルス感染症の感染状況を適切に判断しながら、表彰式等を開催する。 | 葉桜短歌賞の募集については、応募者数1,642名・2,027首(前年1,196名・1,541首)の応募があった。新型コロナウイルス感染症の影響で表彰式は、開催できなかったが、入賞者には賞状等を送付した。「葉桜まつり」については、11月3日に神事のみ実施した。 | A ----- (評価の理由) 町内外からの多くの応募があった。 | 今後も新型コロナウイルス感染症の影響はあると思われるが、顕彰活動は粛々と継続していく。 | 新型コロナウイルス感染症の感染状況を適正に判断すると共に表彰式をWEB開催にする等の検討を行う。 | |
| 町内における、芸術文化に触れる機会に恵まれていない。 | 芸術文化振興事業とする「優秀映画鑑賞事業」を実施する。 | 国立美術館「国立映画アーカイブ」からの依頼を受け県生涯学習課が公募を行う「優秀映画鑑賞推進事業」に、本町の芸術文化振興事業として事業実施申請を行う。 | 令和3年12月12日(日)に西郷ニューホープセンターにおいて「芸術文化振興事業 優秀映画鑑賞推進事業[美郷キネマ]」を開催した。昭和11年から平成23年度にかけて制作された日本映画の中から映画史を代表する作品や当時の国民から多くの好評を得た4作品を選出した。(「張込み」、「真昼の暗黒」、「白い巨塔」、「悪い奴ほどよく眠る」を上映した。) | B ----- (評価の理由) 多くの町民が本物の芸術文化作品に触れることができた。また、青年団による「おしるこ」のふるまいが行われるなど、地域と連携した文化事業となった。今後さらなる充実を期す。 | 日程について時間配分や昼食等に課題がある。 | 今後も要望を続けるとともに、会場を変えながら文化意識の醸成に努める。 | | |

| | 事業名 | 現状と課題 | 本年度の目標 | 目標達成の為の取組内容 | 取組結果 | 評価・理由 | 今後の課題 | 改善策 |
|---|-------------------------|---|------------------------|---|---|---------------------------------------|---|---------------|
| 3 | 文化の高揚における新型コロナウイルス感染症対策 | 未だに収束の気配すら見えない新型コロナウイルス感染症に対し、その対策に努め感染拡大防止に努めなければならない。 | 十分な感染対策を講じ、感染の拡大を防止する。 | 文化協会発表会などのイベントについては、感染状況の適切な判断を行い開催の有無について検討する。実施にあたっては、十分な感染対策を行う。 | 葉桜かるた大会・美郷町音楽祭・美郷町文化協会発表会・美郷町文化協会おさらい会・日向田植唄全国大会・ひえちぎり唄全国大会については、新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止した。 | A (評価の理由) 高齢者も多いことから感染防止を最優先した。 | 今後も新型コロナウイルス感染症の影響が考えられ、開催へ向けた取り組みについても十分協議を行う。 | 感染防止対策の徹底を図る。 |

総合評価

教育委員会の「自己点検及び評価」は、教育委員会の活動や管理・執行の内容について再確認し、その進捗状況を振り返る良い機会となっている。

教育委員会の活動については、新型コロナウイルス感染症の影響で各種研修会の開催がなかったものの、各種議案について熱心に討論が行われ、点検結果としては、達成していると判断している。

学校教育の充実について、令和3年度は4月に西郷義務教育学校と美郷北義務教育学校が順調なスタートを切ることができた。今後もさらに、幼稚園教育との連携を深め充実化を図りたい。また、学校教育については新型コロナウイルス感染症の影響により臨時休業とはならずとも学級(学年)閉鎖が必要とされたが、感染症の状況により対応を迅速に行うとともに、感染症対策の消耗品を準備するなどし、集団感染や家庭への感染の拡大防止に努めた。ICT教育に関しては、タブレット未整備だった西郷地区においても整備が完了し、さらにGIGAスクール対応タブレットや周辺機器も整備されるなど、今後のICT教育充実へ向けた取り組みも概ね達成したものと評価している。特別支援教育についても、町単独の通級指導(「言語聴覚士」)と県派遣による通級指導の連携が深まり多くの成果が得られている。

生涯学習全体において、新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの事業が中止される中、成人証書授与式や青少年交流事業、家庭教育推進大会などを、インスタライブやWEB交流、オンデマンド等を活用した新しいスタイルで確立したことにより事業を継続できた。文化面においては、宮崎県無形民俗文化財に指定された「美郷町備長炭製炭技術保存会の備長炭製炭」を中心に、第35回国民文化祭、第20回全国障害者芸術・文化祭の分野別フェスティバルで、「森林文化サミット」を開催し、オンライン配信や町公式のYouTubeチャンネルで情報の発信を行った。さらに令和3年度には、町中央公民館(西郷ニューホープセンター)のネットワーク構築が完了し、それらの活用と、それぞれに特性を持つ町立図書館を核に生涯学習の充実と振興が図られている。コロナ禍にあっても町民の学びを止めることはなく、生涯学習の推進に関し、ある程度達成したものと評価している。

知見の活用

令和 年 月 日

外部評価者氏名

㊞

議案第 7 1 号

日向東臼杵広域連合規約の一部を改正する規約

日向東臼杵広域連合規約（平成 13 年 3 月 23 日宮崎県シレイ 217-1310）の一部を次のように改正する。
次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|---|---|
| <p>（広域連合の議会の組織）</p> <p>第 7 条 広域連合の議会の議員（以下「広域連合議員」という。）の定数は、<u>17 人</u>とする。</p> <p>（広域連合議員の選挙の方法）</p> <p>第 8 条 広域連合議員は、関係市町村の議会の議員のうちから、関係市町村の議会において選挙する。</p> <p>2 関係市町村において選挙すべき広域連合議員の定数は、次のとおりとする。</p> <p>（1） 日向市 <u>8 人</u></p> <p>（2） 門川町 3 人</p> <p>（3） 美郷町 2 人</p> <p>（4） 諸塚村 2 人</p> <p>（5） 椎葉村 2 人</p> | <p>（広域連合の議会の組織）</p> <p>第 7 条 広域連合の議会の議員（以下「広域連合議員」という。）の定数は、<u>16 人</u>とする。</p> <p>（広域連合議員の選挙の方法）</p> <p>第 8 条 広域連合議員は、関係市町村の議会の議員のうちから、関係市町村の議会において選挙する。</p> <p>2 関係市町村において選挙すべき広域連合議員の定数は、次のとおりとする。</p> <p>（1） 日向市 <u>7 人</u></p> <p>（2） 門川町 3 人</p> <p>（3） 美郷町 2 人</p> <p>（4） 諸塚村 2 人</p> <p>（5） 椎葉村 2 人</p> |

附 則

この規約は、宮崎県知事の許可のあった日から施行する。

令和 4 年 1 2 月 6 日提出

美郷町長 田 中 秀 俊

提案理由

令和 4 年 1 0 月 1 日の現住人口を確認したところ日向市の人口が 6 万人を下回っているため、申し合わせ事項（令和 3 年 1 月 25 日付議会運営委員会）のとおり改正することについて、地方自治法第 2 9 1 条の 1 1 の規定により議会の議決を求める。

議案第72号

職員の高齢者部分休業に関する条例

(趣旨)

第1条 この条例は、地方公務員法（昭和25年法律第261号。以下「法」という。）第26条の3の規定に基づき、職員の高齢者部分休業に関し必要な事項を定めるものとする。

(高齢者部分休業の承認)

第2条 任命権者は、第3項に規定する年齢に達した職員（臨時的に任用される職員その他の法律及び条例により任期を定めて任用される職員及び非常勤職員を除く。以下同じ。）が申請した場合において、公務の運営に支障がないと認めるときは、当該職員が同項に規定する年齢に達した日後の最初の4月1日以後の日で当該申請において示した日から当該職員に係る定年退職日（職員の定年等に関する条例（平成18年美郷町条例第30号）第2条に規定する定年退職日をいう。）までの期間中、1週間の勤務時間の一部について勤務しないこと（以下「高齢者部分休業」という。）を承認することができる。

2 前項の規定による承認（以下「高齢者部分休業の承認」という。）は、当該職員の1週間当たりの通常の勤務時間の2分の1を超えない範囲内で、5分を単位として行うものとする。

3 法第26条の3第1項の高年齢として条例で定める年齢は、55歳とする。

(給与の減額)

第3条 職員が高齢者部分休業の承認を受けて勤務しない場合には、一般職の職員の給与に関する条例（平成18年美郷町条例第50号。以下「給与条例」という。）第26条の規定にかかわらず、その勤務しない1時間につき、給料の月額及び規則で定める額の合計額に12を乗じ、その額を1週間当たりの勤務時間に52を乗じたものから規則で定める時間を減じたもので除して得た額を減額して支給する。

2 高齢者部分休業をしている職員に対する給与条例第14条第2項第2号の規定の適用については、同号中「定年前再任用短時間勤務職員」とあるのは、「職員の高齢者部分休業に関する条例（令和4年美郷町条例第 号）第2条第1項の規定により高齢者部分休業をしている職員」とする。

(退職手当の取扱い)

第4条 高齢者部分休業の承認を受けて職員が1週間の勤務時間の一部について勤務しなかった場合には、その勤務しなかった期間の2分の1に相当する期間を市町村職員の退職手当に関する条例（平成元年宮崎縣市町村総合事務組合条例第23号）第7条第1項から第6項までの規定により計算した在職期間から除算する。この場合において、同条第7項中「前各項」とあるのは「前各項及び職員の高齢者部分休業に関する条例（令和4年美郷町条例第 号）第4条」と、同条第9項中「前各項」とあるのは「前各項及び職員の高齢者部分休業に関する条例第4条」とする。

(高齢者部分休業の承認の取消し等)

第5条 任命権者は、高齢者部分休業をしている職員の業務を処理するための措置を

講ずることが著しく困難となった場合で当該職員の同意を得たときは、高齢者部分休業の承認を取り消し、又は休業時間（高齢者部分休業の承認を受けた1週間当たりの勤務しない時間をいう。以下同じ。）を短縮することができる。

（休業時間の延長の承認）

第6条 任命権者は、既に高齢者部分休業をしている職員から休業時間の延長の申出があった場合で公務の運営に支障がないと認めるときは、当該職員に係る休業時間の延長を承認することができる。

（委任）

第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

令和4年12月6日提出

美郷町長 田 中 秀 俊

提案理由

地方公務員法（昭和25年法律第261号）第26条の3に規定する、職員の高齢者部分休業に関し必要な事項を定めるため、新たに条例を定める。

議案第73号

美郷町個人情報保護法施行条例

(趣旨)

第1条 この条例は、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律第57号。以下「法」という。）の施行に関し必要な事項を定める。

(定義)

第2条 この条例において実施機関とは、町長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会及び固定資産評価審査委員会をいう。

2 この条例で使用する用語は、法及び個人情報の保護に関する法律施行令（平成15年政令第507号。以下「令」という。）で使用する用語の例による。

(開示請求に係る手数料)

第3条 法第89条第2項の規定により納付しなければならない手数料の額は、無料とする。ただし、当該写しの作成及び送付に要する費用は、開示請求者の負担とし、実費の範囲内において規則で定める。

(美郷町個人情報保護審査会への諮問)

第4条 実施機関は、次のいずれかに該当する場合において、個人情報の適正な取扱いを確保するため専門的な知見に基づき意見を聴くことが特に必要であると認めるときは、美郷町個人情報保護審査会に諮問することができる。

- (1) 法第66条第1項の規定に基づき講ずる措置の基準を定めようとする場合
- (2) 前号の場合のほか、町の機関における個人情報の取扱いに関する運用上の細則を定めようとする場合

附 則

(施行期日)

1 この条例は、令和5年4月1日から施行する。

(美郷町個人情報保護条例の廃止)

2 美郷町個人情報保護条例（平成18年美郷町条例第10号。以下「旧条例」という。）は、廃止する。

(経過措置)

3 次に掲げる者に係る旧条例第3条第2項又は第12条第3項の規定によるその業務に関して知り得た旧条例第2条第2項に規定する個人情報（以下「旧個人情報」という。）の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に利用してはならない義務については、前条の規定の施行後も、なお従前の例による。

- (1) この条例の施行の際現に旧条例第2条第1号に規定する実施機関（以下「旧実施機関」という。）の職員である者又はこの条例の施行前において旧実施機関の職員であった者のうち、この条例の施行前において旧個人情報の取扱いに従事していた者
- (2) この条例の施行前において旧実施機関から旧個人情報の取扱いの委託を受けた事務又は公の施設（地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条第1項に規定する公の施設をいう。）の管理の事務に従事していた者

4 この条例の施行前において、旧条例第29条第1項に規定する美郷町個人情報保護審査会の委員であったものに係る同条第5項の規定によるその職務に関して知りえた秘密を漏らしてならない義務については、この条例の施行後も、なお従前の例による。

(美郷町特定個人情報保護条例の一部改正)

5 美郷町特定個人情報保護条例（平成27年美郷町条例第29号）の一部を次の様に改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|---|--|
| (定義) 第2条 この条例において、次に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。 (1) 実施機関 <u>美郷町個人情報保護条例（平成18年条例第10号）第2条第1号</u> に規定する実施機関 (2)～(6) [略] | (定義) 第2条 この条例において、次に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。 (1) 実施機関 <u>美郷町個人情報保護法施行条例（令和4年美郷町条例第号）第2条第1号</u> に規定する実施機関 (2)～(6) [略] |

令和4年12月6日提出

美郷町長 田中秀俊

提案理由

個人情報保護法の改正に伴い、個人情報保護法が直接適用されることとなったため、美郷町個人情報保護条例を廃止し、改正後の個人情報保護法において必要な事項を定めるため、新たに条例を定める。

議案第74号

職員の定年等に関する条例等の一部を改正する条例

(職員の定年等に関する条例の一部改正)

第1条 職員の定年等に関する条例(平成18年美郷町条例第30号)の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|--|---|
| <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この条例は、地方公務員法(昭和25年法律第261号) <u>第28条の2第1項から第3項まで及び第28条の3の規定により、</u>職員の定年等に関し必要な事項を定めるものとする。</p> <p>第2条 [略]</p> <p>(定年)</p> <p>第3条 職員の定年は、年齢<u>60年</u>とする。<u>ただし、医療業務に従事する医師及び歯科医師の定年は、年齢65年とする。</u></p> <p>(定年による退職の特例)</p> | <p><u>目次</u></p> <p><u>第1章 総則(第1条)</u></p> <p><u>第2章 定年制度(第2条―第5条)</u></p> <p><u>第3章 管理監督職勤務上限年齢制(第6条―第11条)</u></p> <p><u>第4章 定年前再任用短時間勤務制(第12条)</u></p> <p><u>第5章 雑則(第13条)</u></p> <p><u>附則</u></p> <p><u>第1章 総則</u></p> <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この条例は、地方公務員法(昭和25年法律第261号。 <u>以下「法」という。)</u>第22条の4第1項及び第2項、第22条の5第1項、<u>第28条の2、第28条の5、第28条の6第1項から第3項まで並びに第28条の7の規定に基づき、</u>職員の定年等に関し必要な事項を定めるものとする。</p> <p><u>第2章 定年制度</u></p> <p>第2条 [略]</p> <p>(定年)</p> <p>第3条 職員の定年は、年齢<u>65年</u>とする。</p> <p><u>2 前項の規定にかかわらず、医療業務に従事する医師の定年は、年齢70年とする。</u></p> <p>(定年による退職の特例)</p> |

第4条 任命権者は、定年に達した職員が第2条の規定により退職すべきこととなる場合において、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、その職員に係る定年退職日の翌日から起算して1年を超えない範囲内で期限を定め、その職員を当該職務に従事させるため引き続き勤務させることができる。

- (1) 当該職務が高度の知識、技能又は経験を必要とするものであるため、その職員の退職により公務の運営に著しい支障が生ずるとき。
- (2) 当該職務に係る勤務環境その他の勤務条件に特殊性があるため、その職員の退職による欠員を容易に補充することができないとき。
- (3) 当該職務を担当する者の交替がその業務の遂行上重大な障害となる特別の事情があるため、その職員の退職により公務の運営に著しい支障が生ずるとき。

2 任命権者は、前項の期限又はこの項の規定により延長された期限が到来する場合において、前項の事由が引き続き存すると認めるときは、1年を超えない範囲内で期限を延長することができる。ただし、その期限は、その職員に係る定年退職日の翌日から起算して3年を超えることができない。

第4条 任命権者は、定年に達した職員が第2条の規定により退職すべきこととなる場合において、次に掲げる事由があると認めるときは、同条の規定にかかわらず、当該職員に係る定年退職日の翌日から起算して1年を超えない範囲内で期限を定め、当該職員を当該定年退職日において従事している職務に従事させるため、引き続き勤務させることができる。ただし、第9条第1項から第4項までの規定により異動期間（同条第1項に規定する異動期間をいう。以下この項及び次項において同じ。）（同条第1項又は第2項の規定により延長された異動期間を含む。）を延長した職員であって、定年退職日において管理監督職（第6条に規定する職をいう。以下この条及び第3章において同じ。）を占めている職員については、第9条第1項又は第2項の規定により当該異動期間を延長した場合に限るものとし、当該期限は、当該職員が占めている管理監督職に係る異動期間の末日の翌日から起算して3年を超えることができない。

- (1) 当該職務が高度の知識、技能又は経験を必要とするものであるため、当該職員の退職により生じる欠員を容易に補充することができず公務の運営に著しい支障が生じること。
- (2) 当該職務に係る勤務環境その他の勤務条件に特殊性があるため、当該職員の退職による欠員を容易に補充することができず公務の運営に著しい支障が生じること。
- (3) 当該職務を担当する者の交替が当該業務の遂行上重大な障害となる特別の事情があるため、当該職員の退職により公務の運営に著しい支障が生じること。

2 任命権者は、前項の期限又はこの項の規定により延長された期限が到来する場合において、前項各号に掲げる事由が引き続きあると認めるときは、これらの期限の翌日から起算して1年を超えない範囲内で期限を延長することができる。ただし、当該期限は、当該職員に係る定年退職日（同項ただし書に規定する職

3 任命権者は、第1項の規定により職員を引き続いて勤務させる場合、又は前項の規定により期限を延長する場合には、当該職員の同意を得なければならない。

4 任命権者は、第1項の期限又は第2項の規定により延長された期限が到来する前に第1項の事由が存しなくなつたと認めるときは、当該職員の同意を得て、期日を定めてその期限を繰り上げて退職させることができる。

5 [略]

第5条 [略]

員にあつては、当該職員が占めている管理監督職に係る異動期間の末日の翌日から起算して3年を超えることができない。

3 任命権者は、第1項の規定により職員を引き続き勤務させる場合又は前項の規定により期限を延長する場合には、当該職員の同意を得なければならない。

4 任命権者は、第1項の規定により引き続き勤務することとされた職員及び第2項の規定により期限が延長された職員について、第1項の期限又は第2項の規定により延長された期限が到来する前に第1項各号に掲げる事由がなくなつたと認めるときは、当該職員の同意を得て、期日を定めて当該期限を繰り上げるものとする。

5 [略]

第5条 [略]

第3章 管理監督職勤務上限年齢制

(管理監督職勤務上限年齢制の対象となる管理監督職)

第6条 法第28条の2第1項に規定する条例で定める職(以下この章において「管理監督職」という。)は、一般職の職員の給与に関する条例(平成18年美郷町条例第50号)第9条第1項の規定により管理職手当を支給される職員の職(医療業務に従事する医師が占める職を除く。)とする。

(管理監督職勤務上限年齢)

第7条 法第28条の2第1項に規定する管理監督職勤務上限年齢は、年齢60年とする。

(他の職への降任等を行うに当たって遵守すべき基準)

第8条 任命権者は、法第28条の2第4項に規定する他の職への降任等(以下この章において「他の職への降任等」という。)を行うに当たっては、法第13条、第15条、第23条の3、第27条第1項及び第56条に定めるもののほか、次に掲げる基準を遵守しなければならない。

(1) 当該職員の人事評価の結果又は勤務の状況及び職務経歴等に基づき、降任又は転任（降給を伴う転任に限る。）（以下この条及び第10条において「降任等」という。）をしようとする職の属する職制上の段階の標準的な職に係る法第15条の2第1項第5号に規定する標準職務遂行能力（次条第3項において「標準職務遂行能力」という。）及び当該降任等をしようとする職についての適性を有すると認められる職に、降任等をする。

(2) 人事の計画その他の事情を考慮した上で、管理監督職以外の職又は管理監督職勤務上限年齢が当該職員の年齢を超える管理監督職のうちできる限り上位の職制上の段階に属する職に、降任等をする。

(3) 当該職員の他の職への降任等をする際に、当該職員が占めていた管理監督職が属する職制上の段階より上位の職制上の段階に属する管理監督職を占める職員（以下この号において「上位職職員」という。）の他の職への降任等もする場合には、第1号に掲げる基準に従った上での状況その他の事情を考慮してやむを得ないと認められる場合を除き、上位職職員の降任等をした職が属する職制上の段階と同じ職制上の段階又は当該職制上の段階より下位の職制上の段階に属する職に、降任等をする。

（管理監督職勤務上限年齢による降任等及び管理監督職への任用の制限の特例）

第9条 任命権者は、他の職への降任等をすべき管理監督職を占める職員について、次に掲げる事由があると認めるときは、当該職員が占める管理監督職に係る異動期間（当該管理監督職に係る管理監督職勤務上限年齢に達した日の翌日から同日以後における最初の4月1日までの間をいう。以下この章において同じ。）の末日の翌日から起算して1年を超えない期間内（当該期

間内に定年退職日がある職員にあっては、当該異動期間の末日の翌日から定年退職日までの期間内。第3項において同じ。）で当該異動期間を延長し、引き続き当該管理監督職を占める職員に、当該管理監督職を占めたまま勤務をさせることができる。

(1) 当該職務が高度の知識、技能又は経験を必要とするものであるため、当該職員の他の職への降任等により生じる欠員を容易に補充することができず公務の運営に著しい支障が生じること。

(2) 当該職務に係る勤務環境その他の勤務条件に特殊性があるため、当該職員の他の職への降任等による欠員を容易に補充することができず公務の運営に著しい支障が生じること。

(3) 当該職務を担当する者の交替が当該業務の遂行上重大な障害となる特別の事情があるため、当該職員の他の職への降任等により公務の運営に著しい支障が生じること。

2 任命権者は、前項又はこの項の規定により異動期間（これらの規定により延長された期間を含む。）が延長された管理監督職を占める職員について、前項各号に掲げる事由が引き続きあると認めるときは、延長された当該異動期間の末日の翌日から起算して1年を超えない期間内（当該期間内に定年退職日がある職員にあっては、延長された当該異動期間の末日の翌日から定年退職日までの期間内。第4項において同じ。）で延長された当該異動期間を更に延長することができる。ただし、更に延長される当該異動期間の末日は、当該職員が占める管理監督職に係る異動期間の末日の翌日から起算して3年を超えることができない。

3 任命権者は、第1項の規定により異動期間を延長することができる場合を除き、他の職への降任等をすべき特定管理監督職群（職務の内容が相互に類似する複数の管理監督職であって、これらの欠員を容易に補充することができない年齢別構成その他

の特別の事情がある管理監督職として規則で定める管理監督職をいう。以下この項において同じ。）に属する管理監督職を占める職員について、当該特定管理監督職群に属する管理監督職の属する職制上の段階の標準的な職に係る標準職務遂行能力及び当該管理監督職についての適性を有すると認められる職員（当該管理監督職に係る管理監督職勤務上限年齢に達した職員を除く。）の数が当該管理監督職の数に満たない等の事情があるため、当該職員の他の職への降任等により当該管理監督職に生じる欠員を容易に補充することができず業務の遂行に重大な障害が生じると認めるときは、当該職員が占める管理監督職に係る異動期間の末日の翌日から起算して1年を超えない期間内で当該異動期間を延長し、引き続き当該管理監督職を占めている職員に当該管理監督職を占めたまま勤務をさせ、又は当該職員を当該管理監督職が属する特定管理監督職群の他の管理監督職に降任し、若しくは転任することができる。

4 任命権者は、第1項若しくは第2項の規定により異動期間（これらの規定により延長された期間を含む。）が延長された管理監督職を占める職員について前項に規定する事由があると認めるとき（第2項の規定により延長された当該異動期間を更に延長することができるときを除く。）、又は前項若しくはこの項の規定により異動期間（前3項又はこの項の規定により延長された期間を含む。）が延長された管理監督職を占める職員について前項に規定する事由が引き続きあると認めるときは、延長された当該異動期間の末日の翌日から起算して1年を超えない期間内で延長された当該異動期間を更に延長することができる。

（異動期間の延長等に係る職員の同意）

第10条 任命権者は、前条の規定により異動期間を延長する場合及び同条第3項の規定により他の管理監督職に降任等をする場合には、あらかじめ職員の同意を得なければならない。

(異動期間の延長事由が消滅した場合の措置)

第11条 任命権者は、第9条の規定により異動期間を延長した場合において、当該異動期間の末日の到来前に当該異動期間の延長の事由が消滅したときは、他の職への降任等をするものとする。

第4章 定年前再任用短時間勤務制

(定年前再任用短時間勤務職員の任用)

第12条 任命権者は、年齢60年に達した日以後に退職(臨時的に任用される職員その他の法律により任期を定めて任用される職員及び非常勤職員が退職する場合を除く。)をした者(以下この条において「年齢60年以上退職者」という。)を、従前の勤務実績その他の規則で定める情報に基づく選考により、短時間勤務の職(当該職を占める職員の1週間当たりの通常の勤務時間が、常時勤務を要する職でその職務が当該短時間勤務の職と同種の職を占める職員の1週間当たりの通常の勤務時間が、常時勤務を要する職でその職務が当該短時間勤務の職と同種の職を占める職員の1週間当たりの通常の勤務時間に比し短い時間である職をいう。以下この条において同じ。)に採用することができる。ただし、年齢60年以上退職者がその者を採用しようとする短時間勤務の職に係る定年退職日相当日(短時間勤務の職を占める職員が、常時勤務を要する職でその職務が当該短時間勤務の職と同種の職を占めているものとした場合における定年退職日をいう。)を経過した者であるときは、この限りでない。

第5章 雑則

(雑則)

第13条 この条例の実施に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

1・2 [略]

(定年に関する経過措置)

附 則

1・2 [略]

3 令和5年4月1日から令和13年3月31日までの間における第3条第1項の規定の適用については、次の表の左欄に掲げる期間の区分に応じ、同項中「65年」とあるのはそれぞれ同表の右欄に掲げる字句とする。

| | |
|--------------------------------|------------|
| <u>令和5年4月1日から令和7年3月31日まで</u> | <u>61年</u> |
| <u>令和7年4月1日から令和9年3月31日まで</u> | <u>62年</u> |
| <u>令和9年4月1日から令和11年3月31日まで</u> | <u>63年</u> |
| <u>令和11年4月1日から令和13年3月31日まで</u> | <u>64年</u> |

4 令和5年4月1日から令和13年3月31日までの間における第3条第2項の規定の適用については、次の表の左欄に掲げる期間の区分に応じ、同項中「70年」とあるのはそれぞれ同表の右欄に掲げる字句とする。

| | |
|--------------------------------|------------|
| <u>令和5年4月1日から令和7年3月31日まで</u> | <u>66年</u> |
| <u>令和7年4月1日から令和9年3月31日まで</u> | <u>67年</u> |
| <u>令和9年4月1日から令和11年3月31日まで</u> | <u>68年</u> |
| <u>令和11年4月1日から令和13年3月31日まで</u> | <u>69年</u> |

(情報の提供及び勤務の意思の確認)

5 任命権者は、当分の間、職員が年齢60年に達する日の属する年度の前年度（以下この項において「情報提供及び勤務の意思確認を行うべき年度」という。）（情報提供及び勤務の意思確認を行うべき年度に職員でなかった者で、当該情報提供及び勤務の意思確認を行うべき年度の末日後に採用された職員にあっては、当該職員が採用された日から同日の属する年度の末日までの期間）において、当該職員に対し、当該職員が年齢60年に達する日以後に適用される任用及び給与に関する措置の内容その他の必要な情報を提供するものとするとともに、同日の翌日以後における勤務の意思を確認するよう努めるものとする。

(公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正)

第2条 公益的法人等への職員の派遣等に関する条例(平成18年美郷町条例第27号)の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|--|--|
| (職員の派遣) 第2条 [略] 2 法第2条第1項に規定する条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。 (1)~(4) [略] (5) [略] 3 [略] | (職員の派遣) 第2条 [略] 2 法第2条第1項に規定する条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。 (1)~(4) [略] <u>(5) 職員の定年等に関する条例第9条の規定により異動期間(同条第1項に規定する異動期間をいう。)(同条の規定により延長された期間を含む。)を延長された管理監督職を占める職員</u> (6) [略] 3 [略] |

(美郷町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正)

第3条 美郷町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例(平成18年美郷町条例第28号)の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|--|--|
| (任命権者の報告) 第2条 任命権者は、毎年6月末までに、町長に対し、前年度における人事行政の運営の状況を報告しなければならない。 2 前項の規定により人事行政の運営の状況に関し、任命権者が報告しなければならない事項は、職員(臨時的に任用された職員及び非常勤職員(地方公務員法第28条の5第1項に規定する短時間勤務の職を占める職員及び同法第22条の2第1項第2号に掲げる職員を除く。))を除く。以下同じ。))に係る次に掲げる | (任命権者の報告) 第2条 任命権者は、毎年6月末までに、町長に対し、前年度における人事行政の運営の状況を報告しなければならない。 2 前項の規定により人事行政の運営の状況に関し、任命権者が報告しなければならない事項は、職員(臨時的に任用された職員及び非常勤職員(地方公務員法第22条の4第1項に規定する短時間勤務の職を占める職員及び同法第22条の2第1項第2号に掲げる職員を除く。))を除く。以下同じ。))に係る次に掲げる |

事項とする。
(1)～(7) [略]

事項とする。
(1)～(7) [略]

(職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部改正)

第4条 職員の分限に関する手続及び効果に関する条例（平成18年美郷町条例第29号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|--|--|
| <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この条例は、地方公務員法（昭和25年法律第261号。以下「法」という。）第28条第3項及び第4項の<u>規定により</u>、職員の意に反する降任、免職、休職及び降給の手続及び効果に関し定めるものとする。</p> | <p>(趣旨)</p> <p>第1条 この条例は、地方公務員法（昭和25年法律第261号。以下「法」という。）<u>第27条第2項並びに第28条第3項及び第4項の規定に基づき、職員の意に反する降給の事由</u>、職員の意に反する降任、免職、休職及び降給の手続及び効果に関し定めるものとする。</p> <p><u>(降給の種類)</u></p> <p>第2条 <u>降給の種類は、降格（職員の意に反して、当該職員の職務の級を同一給料表の下位の職務の級に変更することをいう。以下同じ。）及び降号（職員の意に反して、当該職員の号給を同一の職務の級の下位の職務の号給に変更することをいう。以下同じ。）並びに法第28条の2第1項に規定する降給（同項本文の規定による他の職への転任により現に属する職務の級より同一の給料表の下位の職務の級に分類されている職務を遂行することとなった場合において、降格することをいう。）とする。</u></p> <p><u>(降給の事由)</u></p> <p>第3条 <u>任命権者は、職員が降任により現に属する職務の級より同一の給料表の下位の職務の級に分類されている職務を遂行することとなった場合のほか、法第28条第1項各号に掲げる事由のいずれかに該当し、必要があると認める場合は、当該職員を降格するものとする。</u></p> |

(降任、免職、休職及び降給の手続)

第2条 任命権者は、法第28条第1項第2号の規定に該当するものとして職員を降任し、若しくは免職する場合又は同条第2項第1号の規定に該当するものとして職員を休職する場合には、医師2人を指定してあらかじめ診断を行わせなければならない。

2 [略]

第3条・第4条 [略]

(失職に関する特例)

第5条 任命権者は、職員が公務上等の事故により、禁錮この刑に処せられ、かつ、その刑の執行を猶予された場合、その罪が過失によるものであるときに限り、情状により当該職員がその職を失わないものとするができる。

(委任)

第6条 [略]

附 則

1～3 [略]

2 任命権者は、職員が法第28条第1項第1号に掲げる事由に該当し、必要があると認める場合は、当該職員を降号するものとする。

(降任、免職、休職及び降給の手続)

第4条 任命権者は、法第28条第1項第2号の規定に該当するものとして職員を降任し、若しくは免職する場合、同条第2項第1号の規定に該当するものとして職員を休職する場合又は前条第1項の規定に該当するもの(法第28条第1項第2号に掲げる事由に該当する場合に限る。)として降格する場合においては、医師2人を指定してあらかじめ診断を行わせなければならない。

2 [略]

第5条・第6条 [略]

(失職に関する特例)

第7条 任命権者は、職員が公務上等の事故により、禁錮以上の刑に処せられ、かつ、その刑の執行を猶予された場合、その罪が過失によるものであるときに限り、情状により当該職員がその職を失わないものとするができる。

(委任)

第8条 [略]

附 則

1～3 [略]

4 一般職の職員の給与に関する条例(平成18年美郷町条例第50号。次項において「給与条例」という。)附則第11項の規定の適用を受ける職員に対する第2条第1項の規定の適用については、当分の間、同項中「とする」とあるのは、「並びに一般職の職員の給与に関する条例(平成18年美郷町条例第50号)附則第11項の規定による降給とする」とする。

5 第4条第2項の規定は、給与条例附則第11項の規定による

| | |
|--|--|
| | <u>降給の場合には、適用しない。この場合において、同項の規定の適用を受ける職員には、同項の規定の適用により給料月額が異動することとなった旨の通知を行うものとする。</u> |
|--|--|

(職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部改正)

第5条 職員の懲戒の手続及び効果に関する条例（平成18年美郷町条例第34号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|---|---|
| <p>(減給の効果)</p> <p>第4条 減給は、1日以上6月以下の期間、<u>給料月額</u>（地方公務員法第22条の2第1項第1号に掲げる職員については、報酬の額）の10分の1以下を減ずるものとする。</p> | <p>(減給の効果)</p> <p>第4条 減給は、1日以上6月以下の期間、<u>その発令の日に受ける給料月額</u>（地方公務員法第22条の2第1項第1号に掲げる職員については、報酬の額）の10分の1以下を減ずるものとする。<u>この場合において、その減ずる額が現に受ける給料の月額の10分の1に相当する額を超えるときは、当該額を減ずるものとする。</u></p> |

(職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正)

第6条 職員の勤務時間、休暇等に関する条例（平成18年美郷町条例第37号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|---|---|
| <p>(勤務時間)</p> <p>第2条 職員の勤務時間は、休憩時間を除き、1週間について38時間45分を超えない範囲内において規則で定める。</p> <p>2 [略]</p> <p>3 <u>地方公務員法第28条の4第1項、第28条の5第1項の規定により採用された職員で同項に規定する短時間勤務の職を占める者又は第28条の6第2項の規定により採用された職員</u></p> | <p>(勤務時間)</p> <p>第2条 職員の勤務時間は、休憩時間を除き、1週間について38時間45分を超えない範囲内において規則で定める。</p> <p>2 [略]</p> <p>3 <u>地方公務員法第22条の4第1項の規定により採用された職員</u>（以下「<u>定年前再任用短時間勤務職員</u>」という。）の勤務時間は、第1項の規定にかかわらず、休憩時間を除き、4週間を超え</p> |

(以下「再任用短時間勤務職員」という。)の勤務時間は、第1項の規定にかかわらず、休憩時間を除き、4週間を超えない期間につき1週間当たり15時間30分から31時間の範囲内で、任命権者が定める。

4 [略]

(週休日及び勤務時間の割り振り)

第3条 日曜日及び土曜日は、週休日(勤務時間を割り振らない日をいう。以下同じ。)とする。ただし、任命権者は、育児短時間勤務職員等については、必要に応じ、当該育児短時間勤務等の内容に従いこれらの日に加えて月曜日から金曜日までの5日間において週休日を設けるものとし、再任用短時間勤務職員については、日曜日及び土曜日に加えて月曜日から金曜日までの5日間において週休日を設けることができる。

2 任命権者は、月曜日から金曜日までの5日間において、1日につき7時間45分を超えない範囲内で、勤務時間を割り振るものとする。ただし、育児短時間勤務職員等については、1週間ごとの期間について、当該育児短時間勤務等の内容に従い1日につき7時間45分を超えない範囲内で勤務時間を割り振るものとし、再任用短時間勤務職員については、1週間ごとの期間について、1日につき7時間45分を超えない範囲内で勤務時間を割り振るものとする。

3・4 [略]

第4条 [略]

2 任命権者は、前項の規定により週休日及び勤務時間の割り振りを定める場合には、規則の定めるところにより、4週間ごとの期間につき8日(再任用短時間勤務職員にあっては、8日以上)の週休日を設けなければならない。ただし、職務の特殊性又は当該公署の特殊の必要により、4週間ごとの期間につき8日(再任用短時間勤務職員にあっては、8日以上)の週休日を設けること

ない期間につき1週間当たり15時間30分から31時間の範囲内で、任命権者が定める。

4 [略]

(週休日及び勤務時間の割り振り)

第3条 日曜日及び土曜日は、週休日(勤務時間を割り振らない日をいう。以下同じ。)とする。ただし、任命権者は、育児短時間勤務職員等については、必要に応じ、当該育児短時間勤務等の内容に従いこれらの日に加えて月曜日から金曜日までの5日間において週休日を設けるものとし、定年前再任用短時間勤務職員については、日曜日及び土曜日に加えて月曜日から金曜日までの5日間において週休日を設けることができる。

2 任命権者は、月曜日から金曜日までの5日間において、1日につき7時間45分を超えない範囲内で、勤務時間を割り振るものとする。ただし、育児短時間勤務職員等については、1週間ごとの期間について、当該育児短時間勤務等の内容に従い1日につき7時間45分を超えない範囲内で勤務時間を割り振るものとし、定年前再任用短時間勤務職員については、1週間ごとの期間について、1日につき7時間45分を超えない範囲内で勤務時間を割り振るものとする。

3・4 [略]

第4条 [略]

2 任命権者は、前項の規定により週休日及び勤務時間の割り振りを定める場合には、規則の定めるところにより、4週間ごとの期間につき8日(定年前再任用短時間勤務職員にあっては、8日以上)の週休日を設けなければならない。ただし、職務の特殊性又は当該公署の特殊の必要により、4週間ごとの期間につき8日(定年前再任用短時間勤務職員にあっては、8日以上)の週休

が困難である職員について、町長と協議して、規則の定めるところにより、4週間を超えない期間につき1週間当たり1日以上の割合で週休日を設ける場合には、この限りでない。

第5条～第12条 [略]
(年次有給休暇)

第13条 年次有給休暇は、1の年ごとにおける休暇とし、その日数は1の年において、次の各号に掲げる職員の区分に応じて、当該各号に掲げる日数とする。

| | |
|--------------------------|--|
| (1) 次号から第3号までに掲げる職員以外の職員 | 20日(育児短時間勤務職員等及び再任用短時間勤務職員)にあつては、その者の勤務時間等を考慮し、20日を超えない範囲内で規則で定める日数) |
| [略] | |

第14条～第18条 [略]
(非常勤職員等の勤務時間、休暇等)

第19条 非常勤職員(再任用短時間勤務職員を除く。)及び臨時的任用職員の勤務時間、休暇等については、第2条から前条までの規定にかかわらず、その職務の性質等を考慮して、規則の定める基準に従い、任命権者が定める。

日を設けることが困難である職員について、町長と協議して、規則の定めるところにより、4週間を超えない期間につき1週間当たり1日以上の割合で週休日を設ける場合には、この限りでない。

第5条～第12条 [略]
(年次有給休暇)

第13条 年次有給休暇は、1の年ごとにおける休暇とし、その日数は1の年において、次の各号に掲げる職員の区分に応じて、当該各号に掲げる日数とする。

| | |
|--------------------------|---|
| (1) 次号から第3号までに掲げる職員以外の職員 | 20日(育児短時間勤務職員等及び定年前再任用短時間勤務職員)にあつては、その者の勤務時間等を考慮し、20日を超えない範囲内で規則で定める日数) |
| [略] | |

第14条～第18条 [略]
(非常勤職員等の勤務時間、休暇等)

第19条 非常勤職員(定年前再任用短時間勤務職員を除く。)及び臨時的任用職員の勤務時間、休暇等については、第2条から前条までの規定にかかわらず、その職務の性質等を考慮して、規則の定める基準に従い、任命権者が定める。

(職員の育児休業等に関する条例の一部改正)

第7条 職員の育児休業等に関する条例(平成18年美郷町条例第38号)の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|---|---|
| (育児休業をすることができない職員) 第2条 育児休業法第2条第1項の条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。 | (育児休業をすることができない職員) 第2条 育児休業法第2条第1項の条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。 |

(1) [略]

(2) 職員の定年等に関する条例（平成18年美郷町条例第30号）第4条第1項又は第2項の規定により引き続いて勤務している職員

(3)

第3条～第8条 [略]

（育児短時間勤務をすることができない職員）

第9条 育児休業法第10条第1項の条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。

(1) [略]

(2) 職員の定年等に関する条例第4条第1項又は第2項の規定により引き続いて勤務している職員

第10条～第18条 [略]

（部分休業の承認）

第19条 部分休業（育児休業法第19条第1項に規定する部分休業をいう。以下同じ。）の承認は、正規の勤務時間（非常勤職員（再任用短時間勤務職員等を除く。以下この条において同じ。）にあっては、当該非常勤職員について定められた勤務時間）の始め又は終わりにおいて、30分を単位として行うものとする。

2・3 [略]

(1) [略]

(2) 職員の定年等に関する条例（平成18年美郷町条例第30号。以下「定年条例」という。）第4条第1項又は第2項の規定により引き続いて勤務している職員

(3) 定年条例第9条の規定により異動期間（同条の規定により延長された期間を含む。）を延長された管理監督職を占める職員

(4)

第3条～第8条 [略]

（育児短時間勤務をすることができない職員）

第9条 育児休業法第10条第1項の条例で定める職員は、次に掲げる職員とする。

(1) [略]

(2) 職員条例第4条第1項又は第2項の規定により引き続いて勤務している職員

(3) 定年条例第9条の規定により異動期間（同条の規定により延長された期間を含む。）を延長された管理監督職を占める職員

第10条～第18条 [略]

（部分休業の承認）

第19条 部分休業（育児休業法第19条第1項に規定する部分休業をいう。以下同じ。）の承認は、正規の勤務時間（非常勤職員（定年前再任用短時間勤務職員等を除く。以下この条において同じ。）にあっては、当該非常勤職員について定められた勤務時間）の始め又は終わりにおいて、30分を単位として行うものとする。

2・3 [略]

（職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正）

第8条 職員の特殊勤務手当に関する条例（平成18年美郷町条例第52号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|---|---|
| <p>(再任用短時間勤務職員に係る特殊勤務手当の減額)</p> <p>第4条 地方公務員法(昭和25年法律第261号)第28条の5第1項又は第28条の6第1項に規定する短時間の勤務の職を占める職員(以下「再任用短時間勤務職員」という。)に特殊勤務手当を支給する場合に月額で支給額が定められている場合にあつては、その額に1週間の勤務日の日数を5日で除して得た数を乗じて得た額(1週間ごとの勤務日の日数又は勤務日ごとの勤務時間の時間数が同一でない職員にあつては、その額に職員の勤務時間、休暇等に関する条例(平成18年美郷町条例第37号)第2条第3項の規定に定められた再任用短時間勤務職員の勤務時間を38時間45分で除して得た数を乗じて得た額)とする。</p> | <p>(定年前提任用短時間勤務職員に係る特殊勤務手当の減額)</p> <p>第4条 地方公務員法(昭和25年法律第261号)第22条の4第1項に規定する短時間の勤務の職を占める職員(以下「定年前提任用短時間勤務職員」という。)に特殊勤務手当を支給する場合に月額で支給額が定められている場合にあつては、その額に1週間の勤務日の日数を5日で除して得た数を乗じて得た額(1週間ごとの勤務日の日数又は勤務日ごとの勤務時間の時間数が同一でない職員にあつては、その額に職員の勤務時間、休暇等に関する条例(平成18年美郷町条例第37号)第2条第3項の規定に定められた定年前提任用短時間勤務職員の勤務時間を38時間45分で除して得た数を乗じて得た額)とする。</p> |

(職員の修学部分休業に関する条例の一部改正)

第9条 職員の修学部分休業に関する条例（平成30年美郷町条例第6号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|--|---|
| <p>(修学部分休業取得中の給与)</p> <p>第8条 [略]</p> <p>2 修学部分休業をしている職員に対する給与条例第14条第2項第2号の規定の適用については、同号中「再任用短時間勤務職員」とあるのは、「職員の修学部分休業に関する条例(平成30年条例第6号)第2条第1項の規定により承認を受けて修学部分休業をしている職員」とする。</p> | <p>(修学部分休業取得中の給与)</p> <p>第8条 [略]</p> <p>2 修学部分休業をしている職員に対する給与条例第14条第2項第2号の規定の適用については、同号中「定年前提任用短時間勤務職員」とあるのは、「職員の修学部分休業に関する条例(平成30年条例第6号)第2条第1項の規定により承認を受けて修学部分休業をしている職員」とする。</p> |

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、令和5年4月1日から施行する。ただし、附則第22項の規定は、公布の日から施行する。
(職員の再任用に関する条例の廃止)
- 2 職員の再任用に関する条例(平成18年美郷町条例第32号)は、廃止する。
(勤務延長に関する経過措置)
- 3 任命権者は、この条例の施行の日(以下「施行日」をいう。)前に第1条の規定による改正前の職員の定年等に関する条例(以下「旧条例」という。)第4条第1項又は第2項の規定により勤務することとされ、かつ、旧条例勤務延長期限(同条第1項の期限又は同条第2項の規定により延長された期限をいう。以下この項において同じ。)が施行日以後に到来する職員(以下この項において「旧条例勤務延長職員」という。)について、旧条例勤務延長期限又はこの項の規定により延長された期限が到来する場合において、第1条の規定による改正後の職員の定年等に関する条例(以下「新条例」という。)第4条第1項各号に掲げる事由があると認めるときは、これらの期限の翌日から起算して1年を超えない範囲内で期限を延長することができる。ただし、当該期限は、当該旧条例勤務延長職員に係る旧条例第2条に規定する定年退職日の翌日から起算して3年を超えることができない。
- 4 任命権者は、基準日(施行日、令和7年4月1日、令和9年4月1日、令和11年4月1日及び令和13年4月1日をいう。以下この項において同じ。)から基準日の翌年の3月31日までの間、基準日における新条例定年(新条例第3条に規定する定年をいう。以下同じ。)が基準日の前日における新条例定年(基準日が施行日である場合には、施行日の前日における旧条例第2条に規定する定年)を超える職及びこれに相当する基準日以後に設置された職その他の規則で定める職に、基準日から基準日の翌年の3月31日までの間に新条例第4条第1項若しくは第2項の規定、地方公務員法の一部を改正する法律(令和3年法律第63号。以下「令和3年改正法」という。)附則第3条第5項又は前項の規定により勤務している職員のうち、基準日の前日において同日における当該職に係る新条例定年(基準日が施行日である場合には、施行日の前日における旧条例第2条に規定する定年)に達している職員(当該規則で定める職にあっては、規則で定める職員)を、昇任し、降任し、又は転任することができない。
- 5 新条例第4条第3項から第5項までの規定は、附則第3項の規定による勤務について準用する。
(定年退職者等の再任用に関する経過措置)
- 6 任命権者は、次に掲げる者のうち、年齢65年に達する日以後における最初の3月31日(以下「特定年齢到達年度の末日」という。)までの間にある者であって、当該者を採用しようとする常時勤務を要する職に係る旧条例定年(旧条例第3条に規定する定年をいう。以下同じ。)(施行日以後に新たに設置された職及び施行日以後に組織の変更等により名称が変更された職にあっては、当該職が施行日の前日に設置されていたものとした場合における旧条例定年に準じた当該職に係る年齢。附則第11項において同じ。)に達している者を、従前の勤務実績その他の規則で定める情報に基づく選考により、1年を超えない範囲内で任期を定め、当該常時勤務を要する職に採用することができる。

- (1) 施行日前に旧条例第2条の規定により退職した者
 - (2) 旧条例第4条第1項若しくは第2項、令和3年改正法附則第3条第5項又は附則第3項の規定により勤務した後退職した者
 - (3) 25年以上勤続して施行日前に退職した者（前2号に掲げる者を除く。）であって、当該退職の日の翌日から起算して5年を経過する日までの間にある者
 - (4) 25年以上勤続して施行日前に退職した者（前3号に掲げる者を除く。）であって、当該退職の日の翌日から起算して5年を経過する日までの間に、旧地方公務員法再任用（令和3年改正法による改正前の地方公務員法（昭和25年法律第261号）第28条の4第1項、第28条の5第1項の規定により採用することをいう。）又は暫定再任用（この項、次項、第11項又は第12項の規定により採用することをいう。次項第5号において同じ。）をされたことがある者
- 7 令和14年3月31日までの間、任命権者は、次に掲げる者のうち、特定年齢到達年度の末日までの間にある者であって、当該者を採用しようとする常時勤務を要する職に係る新条例定年に達している者を、従前の勤務実績その他の規則で定める情報に基づく選考により、1年を超えない範囲内で任期を定め、当該常時勤務を要する職に採用することができる。
- (1) 施行日以後に新条例第2条の規定により退職した者
 - (2) 施行日以後に新条例第4条第1項又は第2項の規定により勤務した後退職した者
 - (3) 施行日以後に新条例第12条の規定により採用された者のうち、令和3年改正法による改正後の地方公務員法（以下「新地方公務員法」という。）第22条の4第3項に規定する任期が満了したことにより退職した者
 - (4) 25年以上勤続して施行日以後に退職した者（前3号に掲げる者を除く。）であって、当該退職の日の翌日から起算して5年を経過する日までの間にある者
 - (5) 25年以上勤続して施行日以後に退職した者（前各号に掲げる者を除く。）であって、当該退職の日の翌日から起算して5年を経過する日までの間に、暫定再任用をされたことがある者
- 8 前2項の任期又はこの項の規定により更新された任期は、1年を超えない範囲内で更新することができる。ただし、当該任期の末日は、前2項の規定により採用する者又はこの項の規定により任期を更新する者の特定年齢到達年度の末日以前でなければならない。
- 9 暫定再任用職員（附則第6項、第7項、第11項又は第12項の規定により採用された職員をいう。以下この項及び次項において同じ。）の前項の規定による任期の更新は、当該暫定再任用職員の当該更新直前の任期における勤務実績が良好である場合に行うことができる。
- 10 任命権者は、暫定再任用職員の任期を更新する場合には、あらかじめ当該暫定再任用職員の同意を得なければならない。
- 11 任命権者は、新地方公務員法第22条の4第4項の規定にかかわらず、附則第6項各号に掲げる者のうち、特定年齢到達年度の末日までの間にある者であって、当該者を採用しようとする短時間勤務の職（新条例第12条に規定する短時間勤務の職をいう。以下同じ。）に係る旧条例定年相当年齢（短時間勤務の職を占める職員が、常時勤務を要する職でその職務が当該短時間勤務の職と同種の職を占めているものとした場合における旧条例定年（施行日以後に新たに設置された短時間勤務の職及び施行日以後に組織の変更等により名称が変更された短時間勤務の職にあっては、当該職が施行日の前日に設置されていたものとした場合において、当該職を

占める職員が、常時勤務を要する職でその職務が当該職と同種の職を占めているものとしたときにおける旧条例定年に準じた当該職に係る年齢)をいう。)に達している者を、従前の勤務実績その他の規則で定める情報に基づく選考により、1年を超えない範囲内で任期を定め、当該短時間勤務の職に採用することができる。

1 2 令和14年3月31日までの間、任命権者は、新地方公務員法第22条の4第4項の規定にかかわらず、附則第7項各号に掲げる者のうち、特定年齢到達年度の末日までの間にある者であって、当該者を採用しようとする短時間勤務の職に係る新条例定年相当年齢(短時間勤務の職を占める職員が、常時勤務を要する職でその職務が当該短時間勤務の職と同種の職を占めているものとした場合における新条例定年をいう。第24項において同じ。)に達している者(新条例第12条の規定により当該短時間勤務の職に採用することができる者を除く。)を、従前の勤務実績その他の規則で定める情報に基づく選考により、1年を超えない範囲内で任期を定め、当該短時間勤務の職に採用することができる。

1 3 前2項の場合においては、附則第8項から第10項までの規定を準用する。

(令和3年改正法附則第8条第3項の条例で定める職及び年齢)

1 4 令和3年改正法附則第8条第3項の条例で定める職は、次に掲げる職とする。

- (1) 施行日以後に新たに設置された職
- (2) 施行日以後に組織の変更等により名称が変更された職

1 5 令和3年改正法附則第8条第3項の条例で定める年齢は、前項に規定する職が施行日の前日に設置されていたものとした場合における旧条例第2条に規定する定年に準じた当該職に係る年齢とする。

(令和3年改正法附則第8条第4項の規定により読み替えて適用する新地方公務員法第22条の4第4項の条例で定める職及び年齢)

1 6 令和3年改正法附則第4条から第7条までの規定が適用される場合における令和3年改正法附則第8条第4項の規定により読み替えて適用する新地方公務員法第22条の4第4項の条例で定める職は、次に掲げる職とする。

- (1) 施行日以後に新たに設置された短時間勤務の職
- (2) 施行日以後に組織の変更等により名称が変更された短時間勤務の職

1 7 令和3年改正法附則第4条から第7条までの規定が適用される場合における令和3年改正法附則第8条第4項の規定により読み替えて適用する法第22条の4第4項の条例で定める年齢は、前項に規定する職が施行日の前日に設置されていたものとした場合において、当該職を占める職員が、常時勤務を要する職でその職務が前項に規定する職と同種の職を占めているものとしたときにおける旧条例定年に準じた前項に規定する職に係る年齢とする。

(令和3年改正法附則第8条第5項の条例で定める職並びに者及び職員)

1 8 令和3年改正法附則第8条第5項の条例で定める職は、次に掲げる職のうち、当該職が基準日(附則第7項、第12項、第15項又は第18項の規定が適用される間における各年の4月1日(施行日を除く。))をいう。以下この項から第26項までにおいて同じ。)の前日に設置されていたものとした場合において、基準日における新条例定年が基準日の前日における新条例定年を超える職とする。

- (1) 基準日以後に新たに設置された職(短時間勤務の職を含む。)

(2) 基準日以後に組織の変更等により名称が変更された職（短時間勤務の職を含む。）

19 令和3年改正法附則第8条第5項の条例で定める者は、前項に規定する職が基準日の前日に設置されていたものとした場合において、同日における当該職に係る新条例定年に達している者とする。

20 令和3年改正法附則第8条第5項の条例で定める職員は、附則第24項に規定する職が基準日の前日に設置されていたものとした場合において、同日における当該職に係る新条例定年に達している職員とする。

（定年前再任用短時間勤務職員に関する経過措置）

21 任命権者は、基準日（令和7年4月1日、令和9年4月1日、令和11年4月1日及び令和13年4月1日をいう。以下この項において同じ。）から基準日の翌年の3月31日までの間、基準日における新条例定年相当年齢が基準日の前日における新条例定年相当年齢を超える短時間勤務の職（基準日における新条例定年相当年齢が新条例第2条に規定する定年である短時間勤務の職に限る。）及びこれに相当する基準日以後に設置された短時間勤務の職その他の規則で定める短時間勤務の職（以下この項において「新条例原則定年相当年齢引上げ短時間勤務職」という。）に、基準日の前日までに新条例第12条に規定する年齢60年以上退職者（基準日前から新条例第4条第1項又は第2項の規定により勤務した後基準日以後に退職をした者を含む。）のうち基準日の前日において同日における当該新条例原則定年相当年齢引上げ短時間勤務職に係る新条例定年相当年齢に達している者（当該規則で定める短時間勤務の職にあつては、規則で定める者）を、新条例第12条又は第13条第1項の規定により採用することができず、新条例原則定年相当年齢引上げ短時間勤務職に、新条例第12条又は第13条第1項の規定により採用された職員（以下この項において「定年前再任用短時間勤務職員」という。）のうち基準日の前日において同日における当該新条例原則定年相当年齢引上げ短時間勤務職に係る新条例定年相当年齢に達している定年前再任用短時間勤務職員（当該規則で定める短時間勤務の職にあつては、規則で定める定年前再任用短時間勤務職員）を、昇任し、降任、又は転任することができない。

（令和3年改正法附則第2条第3項に規定する条例で定める年齢）

22 令和3年改正法附則第2条第3項に規定する条例で定める年齢は年齢60年とする。

（暫定再任用職員の勤務時間等に関する経過措置）

23 暫定再任用職員で新地方公務員法第22条の4第1項に規定する短時間勤務の職を占めるものは、第6条の規定による改正後の職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例（以下この条及び次条において「新勤務時間条例」という。）第2条第3項に規定する定年前再任用短時間勤務職員とみなして、新勤務時間条例の規定を適用する。

令和4年12月6日提出

美郷町長 田中 秀俊

提案理由

地方公務員法の一部改正に伴い、職員の定年年齢の段階的な引き上げ等関係条例の一部を改正する必要があるため、この条例案を提案する。

議案第 7 5 号

美郷町議会の議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例

美郷町議会の議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例（平成 1 8 年美郷町条例第 4 1 号）の一部を次のように改正する。
次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|---|---|
| <p>（期末手当）</p> <p>第 5 条 議会の議員の期末手当の額は、一般職の職員の給与に関する条例（平成 1 8 年美郷町条例第 5 0 号。以下「給与条例」という。）の適用を受ける職員の例により計算した額とする。ただし、給与条例第 2 2 条第 2 項中「<u>1 0 0 分の 1 2 0 . 0</u>」とあるのは「<u>1 0 0 分の 1 6 2 . 5</u>」とする。</p> <p>2 [略]</p> | <p>（期末手当）</p> <p>第 5 条 議会の議員の期末手当の額は、一般職の職員の給与に関する条例（平成 1 8 年美郷町条例第 5 0 号。以下「給与条例」という。）の適用を受ける職員の例により計算した額とする。ただし、給与条例第 2 2 条第 2 項中「<u>1 0 0 分の 1 2 0 . 0</u>」とあるのは「<u>1 0 0 分の 1 6 5 . 0</u>」とする。</p> <p>2 [略]</p> |

附 則

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

（令和 4 年 1 2 月に支給する期末手当に関する特例措置）

2 令和 4 年 1 2 月に支給する期末手当に関する第 5 条第 1 項の規定の適用については、同項中「「1 0 0 分の 1 2 0 . 0」とあるのは「1 0 0 分の 1 6 5 . 0」」とあるのは「「1 0 0 分の 1 2 0 . 0」とあるのは「1 0 0 分の 1 6 7 . 5」」とする。

令和 4 年 1 2 月 6 日提出

美郷町長 田 中 秀 俊

提案理由

特別職の職員の給与に関する法律（昭和 2 4 年法律第 2 5 2 号）の一部改正に準じて、美郷町議会議員の期末手当の改正を行うため、この条例案を提案する。

議案第 7 6 号

町長等の給料及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

町長等の給料及び旅費に関する条例（平成 1 8 年美郷町条例第 4 7 号）の一部を次のように改正する。
次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|---|---|
| <p>（期末手当）</p> <p>第 4 条 町長等の期末手当の額は、一般職の職員の給与に関する条例（平成 1 8 年美郷町条例第 5 0 号。以下「給与条例」という。）の適用を受ける職員の例により計算した額とする。ただし、給与条例第 2 2 条第 2 項中「<u>1 0 0 分の 1 2 0 . 0</u>」とあるのは「<u>1 0 0 分の 1 6 2 . 5</u>」とする。</p> <p>2 [略]</p> | <p>（期末手当）</p> <p>第 5 条 町長等の期末手当の額は、一般職の職員の給与に関する条例（平成 1 8 年美郷町条例第 5 0 号。以下「給与条例」という。）の適用を受ける職員の例により計算した額とする。ただし、給与条例第 2 2 条第 2 項中「<u>1 0 0 分の 1 2 0 . 0</u>」とあるのは「<u>1 0 0 分の 1 6 5 . 0</u>」とする。</p> <p>2 [略]</p> |

附 則

（施行期日）

1 この条例は、公布の日から施行する。

（令和 4 年 1 2 月に支給する期末手当に関する特例措置）

2 令和 4 年 1 2 月に支給する期末手当に関する第 5 条第 1 項の規定の適用については、同項中「「1 0 0 分の 1 2 0 . 0」とあるのは「1 0 0 分の 1 6 5 . 0」」とあるのは「「1 0 0 分の 1 2 0 . 0」とあるのは「1 0 0 分の 1 6 7 . 5」」とする。

令和 4 年 1 2 月 6 日提出

美郷町長 田 中 秀 俊

提案理由

特別職の職員の給与に関する法律（昭和 2 4 年法律第 2 5 2 号）の一部改正に準じて、美郷町議会議員の期末手当の改正を行うため、この条例案を提案する。

議案第 77 号

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

第 1 条 一般職の職員の給与に関する条例（平成 18 年美郷町条例第 50 号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|---|--|
| <p>(勤勉手当)</p> <p>第 25 条 [略]</p> <p>2 勤勉手当の額は、勤勉手当基礎額に、任命権者が町規則で定める基準に従って定める割合を乗じて得た額とする。この場合において、任命権者が支給する勤勉手当の額の、その者に所属する次の各号に掲げる職員の区分ごとの総額は、それぞれ当該各号に掲げる額を超えてはならない。</p> <p>(1) 前項の職員のうち再任用職員以外の職員 当該職員の勤勉手当基礎額に当該職員がそれぞれの基準日現在（退職し、若しくは失職し、又は死亡した職員にあっては、退職し、若しくは失職し、又は死亡した日現在。次項において同じ。）において受けるべき扶養手当の月額を加算した額に、<u>100分の95</u>を乗じて得た額の総額</p> <p>(2) 前項の職員のうち再任用職員 当該再任用職員の勤勉手当基礎額に<u>100分の45</u>を乗じて得た額の総額</p> <p>3～6 [略]</p> <p>第 26 条～第 30 条 [略]</p> | <p>(勤勉手当)</p> <p>第 25 条 [略]</p> <p>2 勤勉手当の額は、勤勉手当基礎額に、任命権者が町規則で定める基準に従って定める割合を乗じて得た額とする。この場合において、任命権者が支給する勤勉手当の額の、その者に所属する次の各号に掲げる職員の区分ごとの総額は、それぞれ当該各号に掲げる額を超えてはならない。</p> <p>(1) 前項の職員のうち再任用職員以外の職員 当該職員の勤勉手当基礎額に当該職員がそれぞれの基準日現在（退職し、若しくは失職し、又は死亡した職員にあっては、退職し、若しくは失職し、又は死亡した日現在。次項において同じ。）において受けるべき扶養手当の月額を加算した額に、<u>100分の105</u>を乗じて得た額の総額</p> <p>(2) 前項の職員のうち再任用職員 当該再任用職員の勤勉手当基礎額に<u>100分の50</u>を乗じて得た額の総額</p> <p>3～6 [略]</p> <p>第 26 条～第 30 条 [略]</p> |

別表第1（第3条関係）

一般行政職給料表

| 職員の区分 | 職務の級 号給 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 |
|------------|------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 |
| 再任用職員以外の職員 | 1 | 146,100 | 195,500 | 231,500 | 264,200 | 289,700 | 319,200 |
| | 2 | 147,200 | 197,300 | 233,100 | 266,000 | 291,900 | 321,400 |
| | 3 | 148,400 | 199,100 | 234,600 | 267,800 | 294,000 | 323,700 |
| | 4 | 149,500 | 200,900 | 236,200 | 269,900 | 296,000 | 325,900 |
| | 5 | 150,600 | 202,400 | 237,600 | 271,600 | 297,900 | 328,100 |
| | 6 | 151,700 | 204,200 | 239,300 | 273,400 | 300,000 | 330,100 |
| | 7 | 152,800 | 206,000 | 240,800 | 275,200 | 302,200 | 332,300 |
| | 8 | 153,900 | 207,800 | 242,400 | 277,200 | 304,200 | 334,500 |
| | 9 | 154,900 | 209,400 | 243,500 | 279,200 | 306,100 | 336,400 |
| | 10 | 156,300 | 211,200 | 245,000 | 281,200 | 308,400 | 338,600 |
| | 11 | 157,600 | 213,000 | 246,600 | 283,100 | 310,600 | 340,600 |
| | 12 | 158,900 | 214,800 | 247,900 | 285,000 | 312,900 | 342,800 |
| | 13 | 160,100 | 216,200 | 249,400 | 287,000 | 315,000 | 344,600 |
| | 14 | 161,600 | 218,000 | 250,800 | 288,900 | 317,100 | 346,600 |
| | 15 | 163,100 | 219,700 | 252,100 | 290,800 | 319,300 | 348,600 |
| | 16 | 164,700 | 221,500 | 253,500 | 292,600 | 321,400 | 350,600 |
| | 17 | 165,900 | 223,200 | 255,000 | 294,400 | 323,300 | 352,300 |
| | 18 | 167,400 | 224,900 | 256,500 | 296,400 | 325,300 | 354,300 |
| | 19 | 168,900 | 226,500 | 258,200 | 298,500 | 327,300 | 356,100 |
| | 20 | 170,400 | 228,100 | 260,000 | 300,500 | 329,300 | 358,000 |
| | 21 | 171,700 | 229,500 | 261,600 | 302,400 | 331,000 | 359,900 |
| | 22 | 174,400 | 231,200 | 263,300 | 304,500 | 333,100 | 361,800 |
| | 23 | 177,000 | 232,800 | 264,900 | 306,500 | 335,100 | 363,800 |

別表第1（第3条関係）

一般行政職給料表

| 職員の区分 | 職務の級 号給 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 |
|------------|------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| | | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 | 給料 月額 |
| 再任用職員以外の職員 | 1 | 150,100 | 198,500 | 234,400 | 266,000 | 290,700 | 319,200 |
| | 2 | 151,200 | 200,300 | 236,000 | 267,700 | 292,900 | 321,400 |
| | 3 | 152,400 | 202,100 | 237,500 | 269,200 | 295,000 | 323,700 |
| | 4 | 153,500 | 203,900 | 239,000 | 271,000 | 297,000 | 325,900 |
| | 5 | 154,600 | 205,400 | 240,300 | 272,700 | 298,800 | 328,100 |
| | 6 | 155,700 | 207,200 | 241,900 | 274,500 | 300,800 | 330,100 |
| | 7 | 156,800 | 209,000 | 243,400 | 276,300 | 302,600 | 332,300 |
| | 8 | 157,900 | 210,800 | 244,900 | 278,300 | 304,200 | 334,500 |
| | 9 | 158,900 | 212,400 | 246,000 | 280,200 | 306,100 | 336,400 |
| | 10 | 160,300 | 214,200 | 247,500 | 282,200 | 308,400 | 338,600 |
| | 11 | 161,600 | 216,000 | 249,000 | 284,100 | 310,600 | 340,600 |
| | 12 | 162,900 | 217,800 | 250,300 | 286,000 | 312,900 | 342,800 |
| | 13 | 164,100 | 219,200 | 251,800 | 287,900 | 315,000 | 344,600 |
| | 14 | 165,600 | 221,000 | 253,000 | 289,700 | 317,100 | 346,600 |
| | 15 | 167,100 | 222,700 | 254,300 | 291,200 | 319,300 | 348,600 |
| | 16 | 168,700 | 224,500 | 255,500 | 292,600 | 321,400 | 350,600 |
| | 17 | 169,800 | 226,100 | 256,800 | 294,400 | 323,300 | 352,300 |
| | 18 | 171,200 | 227,800 | 258,200 | 296,400 | 325,300 | 354,300 |
| | 19 | 172,600 | 229,400 | 259,600 | 298,500 | 327,300 | 356,100 |
| | 20 | 174,000 | 230,900 | 261,100 | 300,500 | 329,300 | 358,000 |
| | 21 | 175,300 | 232,200 | 262,700 | 302,400 | 331,000 | 359,900 |
| | 22 | 177,800 | 233,800 | 264,400 | 304,500 | 333,100 | 361,800 |
| | 23 | 180,300 | 235,400 | 266,000 | 306,500 | 335,100 | 363,800 |

| | | | | | | |
|----|----------------|----------------|----------------|---------|---------|---------|
| 24 | <u>179,600</u> | <u>234,400</u> | <u>266,500</u> | 308,600 | 337,200 | 365,700 |
| 25 | <u>182,200</u> | <u>235,400</u> | <u>268,400</u> | 310,300 | 338,600 | 367,700 |
| 26 | <u>183,900</u> | <u>236,900</u> | <u>270,200</u> | 312,400 | 340,500 | 369,600 |
| 27 | <u>185,500</u> | <u>238,300</u> | <u>271,900</u> | 314,400 | 342,400 | 371,600 |
| 28 | <u>187,200</u> | <u>239,500</u> | <u>273,600</u> | 316,400 | 344,300 | 373,600 |
| 29 | <u>188,700</u> | <u>240,700</u> | <u>275,300</u> | 318,100 | 345,900 | 375,100 |
| 30 | <u>190,400</u> | <u>241,900</u> | <u>277,000</u> | 320,100 | 347,800 | 376,900 |
| 31 | <u>192,200</u> | <u>242,900</u> | <u>278,800</u> | 322,200 | 349,700 | 378,700 |
| 32 | <u>193,900</u> | <u>244,100</u> | <u>280,300</u> | 324,300 | 351,500 | 380,300 |
| 33 | <u>195,500</u> | <u>245,400</u> | <u>281,800</u> | 325,500 | 353,400 | 382,100 |
| 34 | <u>196,900</u> | <u>246,400</u> | <u>283,700</u> | 327,500 | 355,200 | 383,500 |
| 35 | <u>198,400</u> | <u>247,600</u> | <u>285,500</u> | 329,400 | 357,000 | 385,000 |
| 36 | <u>199,900</u> | <u>248,900</u> | <u>287,400</u> | 331,500 | 358,700 | 386,600 |
| 37 | <u>201,200</u> | <u>249,800</u> | <u>289,000</u> | 333,400 | 360,100 | 388,000 |
| 38 | <u>202,500</u> | <u>251,100</u> | <u>290,700</u> | 335,300 | 361,400 | 389,200 |
| 39 | <u>203,700</u> | <u>252,300</u> | <u>292,500</u> | 337,300 | 362,800 | 390,400 |
| 40 | <u>205,000</u> | <u>253,600</u> | <u>294,300</u> | 339,200 | 364,200 | 391,500 |
| 41 | <u>206,300</u> | <u>255,000</u> | <u>295,800</u> | 341,100 | 365,500 | 392,600 |
| 42 | <u>207,600</u> | <u>256,400</u> | <u>297,500</u> | 343,000 | 366,400 | 393,800 |
| 43 | <u>208,900</u> | <u>257,600</u> | <u>299,000</u> | 344,800 | 367,500 | 395,000 |
| 44 | <u>210,200</u> | <u>258,800</u> | <u>300,600</u> | 346,700 | 368,600 | 396,100 |
| 45 | <u>211,300</u> | <u>260,000</u> | <u>302,200</u> | 348,200 | 369,400 | 396,800 |
| 46 | <u>212,600</u> | <u>261,200</u> | <u>303,900</u> | 349,600 | 370,300 | 397,500 |
| 47 | <u>213,900</u> | <u>262,500</u> | <u>305,500</u> | 351,100 | 371,200 | 398,200 |
| 48 | <u>215,200</u> | <u>263,600</u> | <u>307,200</u> | 352,600 | 372,100 | 398,900 |
| 49 | <u>216,300</u> | <u>264,700</u> | <u>308,100</u> | 354,200 | 373,000 | 399,500 |
| 50 | <u>217,400</u> | <u>265,800</u> | <u>309,600</u> | 355,000 | 373,800 | 400,100 |
| 51 | <u>218,400</u> | <u>267,100</u> | <u>311,100</u> | 356,200 | 374,600 | 400,600 |
| 52 | <u>219,500</u> | <u>268,400</u> | <u>312,700</u> | 357,200 | 375,400 | 401,000 |

| | | | | | | |
|----|----------------|----------------|----------------|---------|---------|---------|
| 24 | <u>182,800</u> | <u>236,900</u> | <u>267,600</u> | 308,600 | 337,200 | 365,700 |
| 25 | <u>185,200</u> | <u>237,900</u> | <u>269,400</u> | 310,300 | 338,600 | 367,700 |
| 26 | <u>186,900</u> | <u>239,400</u> | <u>271,200</u> | 312,400 | 340,500 | 369,600 |
| 27 | <u>188,500</u> | <u>240,700</u> | <u>272,900</u> | 314,400 | 342,400 | 371,600 |
| 28 | <u>190,200</u> | <u>241,900</u> | <u>274,600</u> | 316,400 | 344,300 | 373,600 |
| 29 | <u>191,700</u> | <u>243,100</u> | <u>276,200</u> | 318,100 | 345,900 | 375,100 |
| 30 | <u>193,400</u> | <u>244,100</u> | <u>277,900</u> | 320,100 | 347,800 | 376,900 |
| 31 | <u>195,200</u> | <u>245,100</u> | <u>279,700</u> | 322,200 | 349,700 | 378,700 |
| 32 | <u>196,900</u> | <u>246,100</u> | <u>281,200</u> | 324,300 | 351,500 | 380,300 |
| 33 | <u>198,500</u> | <u>247,200</u> | <u>282,400</u> | 325,500 | 353,400 | 382,100 |
| 34 | <u>199,900</u> | <u>248,100</u> | <u>284,100</u> | 327,500 | 355,200 | 383,500 |
| 35 | <u>201,400</u> | <u>249,000</u> | <u>285,700</u> | 329,400 | 357,000 | 385,000 |
| 36 | <u>202,900</u> | <u>250,000</u> | <u>287,400</u> | 331,500 | 358,700 | 386,600 |
| 37 | <u>204,200</u> | <u>250,900</u> | <u>289,000</u> | 333,400 | 360,100 | 388,000 |
| 38 | <u>205,500</u> | <u>252,200</u> | <u>290,700</u> | 335,300 | 361,400 | 389,200 |
| 39 | <u>206,700</u> | <u>253,400</u> | <u>292,500</u> | 337,300 | 362,800 | 390,400 |
| 40 | <u>208,000</u> | <u>254,700</u> | <u>294,300</u> | 339,200 | 364,200 | 391,500 |
| 41 | <u>209,300</u> | <u>256,000</u> | <u>295,800</u> | 341,100 | 365,500 | 392,600 |
| 42 | <u>210,600</u> | <u>257,400</u> | <u>297,500</u> | 343,000 | 366,400 | 393,800 |
| 43 | <u>211,900</u> | <u>258,600</u> | <u>299,000</u> | 344,800 | 367,500 | 395,000 |
| 44 | <u>213,200</u> | <u>259,800</u> | <u>300,600</u> | 346,700 | 368,600 | 396,100 |
| 45 | <u>214,300</u> | <u>260,900</u> | <u>302,200</u> | 348,200 | 369,400 | 396,800 |
| 46 | <u>215,600</u> | <u>262,100</u> | <u>303,900</u> | 349,600 | 370,300 | 397,500 |
| 47 | <u>216,900</u> | <u>263,400</u> | <u>305,500</u> | 351,100 | 371,200 | 398,200 |
| 48 | <u>218,200</u> | <u>264,500</u> | <u>307,200</u> | 352,600 | 372,100 | 398,900 |
| 49 | <u>219,200</u> | <u>265,600</u> | <u>308,100</u> | 354,200 | 373,000 | 399,500 |
| 50 | <u>220,300</u> | <u>266,600</u> | <u>309,600</u> | 355,000 | 373,800 | 400,100 |
| 51 | <u>221,300</u> | <u>267,800</u> | <u>311,100</u> | 356,200 | 374,600 | 400,600 |
| 52 | <u>222,300</u> | <u>268,900</u> | <u>312,700</u> | 357,200 | 375,400 | 401,000 |

| | | | | | | |
|----|----------------|----------------|---------|---------|---------|---------|
| 53 | <u>220,600</u> | <u>269,400</u> | 314,300 | 358,100 | 376,100 | 401,400 |
| 54 | <u>221,600</u> | <u>270,500</u> | 315,900 | 359,200 | 376,800 | 401,700 |
| 55 | <u>222,500</u> | <u>271,800</u> | 317,500 | 360,100 | 377,500 | 402,000 |
| 56 | <u>223,500</u> | 273,100 | 319,000 | 361,200 | 378,200 | 402,300 |
| 57 | <u>223,800</u> | 274,000 | 320,500 | 362,100 | 378,700 | 402,600 |
| 58 | <u>224,600</u> | 275,000 | 321,700 | 362,800 | 379,300 | 402,900 |
| 59 | <u>225,400</u> | 275,900 | 322,900 | 363,500 | 379,900 | 403,200 |
| 60 | <u>226,100</u> | 277,000 | 324,100 | 364,200 | 380,600 | 403,500 |
| 61 | <u>226,800</u> | 278,100 | 324,800 | 364,600 | 381,000 | 403,800 |
| 62 | <u>227,800</u> | 279,100 | 325,700 | 365,200 | 381,700 | 404,100 |
| 63 | <u>228,600</u> | 280,000 | 326,500 | 365,900 | 382,300 | 404,400 |
| 64 | <u>229,400</u> | 281,000 | 327,300 | 366,600 | 382,900 | 404,700 |
| 65 | <u>230,100</u> | 281,500 | 328,200 | 366,900 | 383,300 | 405,000 |
| 66 | <u>230,800</u> | 282,400 | 328,600 | 367,600 | 383,900 | 405,300 |
| 67 | <u>231,700</u> | 283,100 | 329,300 | 368,300 | 384,500 | 405,600 |
| 68 | <u>232,700</u> | 284,000 | 330,100 | 369,000 | 385,100 | 405,900 |
| 69 | <u>233,400</u> | 285,000 | 330,900 | 369,300 | 385,500 | 406,100 |
| 70 | <u>234,000</u> | 285,800 | 331,600 | 369,900 | 386,000 | 406,400 |
| 71 | <u>234,500</u> | 286,600 | 332,300 | 370,600 | 386,500 | 406,700 |
| 72 | <u>235,200</u> | 287,400 | 333,000 | 371,200 | 387,100 | 407,000 |
| 73 | <u>236,000</u> | 288,200 | 333,500 | 371,500 | 387,400 | 407,200 |
| 74 | <u>236,600</u> | 288,700 | 334,100 | 372,100 | 387,800 | 407,500 |
| 75 | <u>237,200</u> | 289,100 | 334,600 | 372,800 | 388,200 | 407,800 |
| 76 | <u>237,700</u> | 289,600 | 335,200 | 373,400 | 388,600 | 408,000 |
| 77 | <u>238,400</u> | 289,800 | 335,500 | 373,800 | 388,900 | 408,200 |
| 78 | <u>239,100</u> | 290,100 | 336,000 | 374,300 | 389,200 | 408,500 |
| 79 | <u>239,800</u> | 290,300 | 336,400 | 374,900 | 389,500 | 408,800 |
| 80 | <u>240,300</u> | 290,700 | 336,900 | 375,400 | 389,800 | 409,000 |
| 81 | <u>240,800</u> | 290,900 | 337,300 | 375,900 | 390,000 | 409,200 |

| | | | | | | |
|----|----------------|----------------|---------|---------|---------|---------|
| 53 | <u>223,300</u> | <u>269,900</u> | 314,300 | 358,100 | 376,100 | 401,400 |
| 54 | <u>224,200</u> | <u>270,900</u> | 315,900 | 359,200 | 376,800 | 401,700 |
| 55 | <u>225,100</u> | <u>272,000</u> | 317,500 | 360,100 | 377,500 | 402,000 |
| 56 | <u>226,000</u> | 273,100 | 319,000 | 361,200 | 378,200 | 402,300 |
| 57 | <u>226,300</u> | 274,000 | 320,500 | 362,100 | 378,700 | 402,600 |
| 58 | <u>227,100</u> | 275,000 | 321,700 | 362,800 | 379,300 | 402,900 |
| 59 | <u>227,800</u> | 275,900 | 322,900 | 363,500 | 379,900 | 403,200 |
| 60 | <u>228,500</u> | 277,000 | 324,100 | 364,200 | 380,600 | 403,500 |
| 61 | <u>229,200</u> | 278,100 | 324,800 | 364,600 | 381,000 | 403,800 |
| 62 | <u>230,000</u> | 279,100 | 325,700 | 365,200 | 381,700 | 404,100 |
| 63 | <u>230,700</u> | 280,000 | 326,500 | 365,900 | 382,300 | 404,400 |
| 64 | <u>231,300</u> | 281,000 | 327,300 | 366,600 | 382,900 | 404,700 |
| 65 | <u>231,900</u> | 281,500 | 328,200 | 366,900 | 383,300 | 405,000 |
| 66 | <u>232,500</u> | 282,400 | 328,600 | 367,600 | 383,900 | 405,300 |
| 67 | <u>233,100</u> | 283,100 | 329,300 | 368,300 | 384,500 | 405,600 |
| 68 | <u>233,800</u> | 284,000 | 330,100 | 369,000 | 385,100 | 405,900 |
| 69 | <u>234,500</u> | 285,000 | 330,900 | 369,300 | 385,500 | 406,100 |
| 70 | <u>235,100</u> | 285,800 | 331,600 | 369,900 | 386,000 | 406,400 |
| 71 | <u>235,600</u> | 286,600 | 332,300 | 370,600 | 386,500 | 406,700 |
| 72 | <u>236,300</u> | 287,400 | 333,000 | 371,200 | 387,100 | 407,000 |
| 73 | <u>237,000</u> | 288,200 | 333,500 | 371,500 | 387,400 | 407,200 |
| 74 | <u>237,600</u> | 288,700 | 334,100 | 372,100 | 387,800 | 407,500 |
| 75 | <u>238,200</u> | 289,100 | 334,600 | 372,800 | 388,200 | 407,800 |
| 76 | <u>238,700</u> | 289,600 | 335,200 | 373,400 | 388,600 | 408,000 |
| 77 | <u>239,300</u> | 289,800 | 335,500 | 373,800 | 388,900 | 408,200 |
| 78 | <u>240,000</u> | 290,100 | 336,000 | 374,300 | 389,200 | 408,500 |
| 79 | <u>240,700</u> | 290,300 | 336,400 | 374,900 | 389,500 | 408,800 |
| 80 | <u>241,200</u> | 290,700 | 336,900 | 375,400 | 389,800 | 409,000 |
| 81 | <u>241,700</u> | 290,900 | 337,300 | 375,900 | 390,000 | 409,200 |

| | | | | | | |
|-----|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 82 | <u>241,500</u> | 291,100 | 337,800 | 376,500 | 390,300 | 409,500 |
| 83 | <u>242,200</u> | 291,500 | 338,300 | 377,000 | 390,600 | 409,800 |
| 84 | <u>242,900</u> | 291,800 | 338,800 | 377,300 | 390,800 | 410,000 |
| 85 | <u>243,500</u> | 292,100 | 339,100 | 377,700 | 391,000 | 410,200 |
| 86 | <u>244,200</u> | 292,400 | 339,500 | 378,200 | 391,300 | |
| 87 | <u>244,900</u> | 292,700 | 340,000 | 378,600 | 391,600 | |
| 88 | 245,600 | 293,100 | 340,400 | 379,000 | 391,800 | |
| 89 | 246,100 | 293,400 | 340,700 | 379,400 | 392,000 | |
| 90 | 246,600 | 293,800 | 341,100 | 379,900 | 392,300 | |
| 91 | 246,900 | 294,100 | 341,600 | 380,300 | 392,600 | |
| 92 | 247,300 | 294,500 | 342,000 | 380,700 | 392,800 | |
| 93 | 247,600 | 294,700 | 342,200 | 381,000 | 393,000 | |
| 94 | | 294,900 | 342,600 | 381,500 | 393,300 | |
| 95 | | 295,200 | 343,100 | 381,900 | 393,600 | |
| 96 | | 295,600 | 343,500 | 382,300 | 393,800 | |
| 97 | | 295,800 | 343,700 | 382,600 | 394,000 | |
| 98 | | 296,100 | 344,100 | 383,100 | 394,300 | |
| 99 | | 296,500 | 344,500 | 383,500 | 394,600 | |
| 100 | | 296,900 | 344,800 | 383,900 | 394,800 | |
| 101 | | 297,100 | 345,100 | 384,200 | 395,000 | |
| 102 | | 297,400 | 345,500 | 384,500 | | |
| 103 | | 297,800 | 345,900 | 384,800 | | |
| 104 | | 298,100 | 346,300 | 385,100 | | |
| 105 | | 298,300 | 346,800 | 385,400 | | |
| 106 | | 298,600 | 347,200 | 385,700 | | |
| 107 | | 299,000 | 347,600 | 386,000 | | |
| 108 | | 299,300 | 348,000 | 386,300 | | |
| 109 | | 299,500 | 348,500 | 386,600 | | |
| 110 | | 299,900 | 348,900 | 386,900 | | |

| | | | | | | |
|-----|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 82 | <u>242,300</u> | 291,100 | 337,800 | 376,500 | 390,300 | 409,500 |
| 83 | <u>242,900</u> | 291,500 | 338,300 | 377,000 | 390,600 | 409,800 |
| 84 | <u>243,400</u> | 291,800 | 338,800 | 377,300 | 390,800 | 410,000 |
| 85 | <u>243,900</u> | 292,100 | 339,100 | 377,700 | 391,000 | 410,200 |
| 86 | <u>244,500</u> | 292,400 | 339,500 | 378,200 | 391,300 | |
| 87 | <u>245,100</u> | 292,700 | 340,000 | 378,600 | 391,600 | |
| 88 | 245,600 | 293,100 | 340,400 | 379,000 | 391,800 | |
| 89 | 246,100 | 293,400 | 340,700 | 379,400 | 392,000 | |
| 90 | 246,600 | 293,800 | 341,100 | 379,900 | 392,300 | |
| 91 | 246,900 | 294,100 | 341,600 | 380,300 | 392,600 | |
| 92 | 247,300 | 294,500 | 342,000 | 380,700 | 392,800 | |
| 93 | 247,600 | 294,700 | 342,200 | 381,000 | 393,000 | |
| 94 | | 294,900 | 342,600 | 381,500 | 393,300 | |
| 95 | | 295,200 | 343,100 | 381,900 | 393,600 | |
| 96 | | 295,600 | 343,500 | 382,300 | 393,800 | |
| 97 | | 295,800 | 343,700 | 382,600 | 394,000 | |
| 98 | | 296,100 | 344,100 | 383,100 | 394,300 | |
| 99 | | 296,500 | 344,500 | 383,500 | 394,600 | |
| 100 | | 296,900 | 344,800 | 383,900 | 394,800 | |
| 101 | | 297,100 | 345,100 | 384,200 | 395,000 | |
| 102 | | 297,400 | 345,500 | 384,500 | | |
| 103 | | 297,800 | 345,900 | 384,800 | | |
| 104 | | 298,100 | 346,300 | 385,100 | | |
| 105 | | 298,300 | 346,800 | 385,400 | | |
| 106 | | 298,600 | 347,200 | 385,700 | | |
| 107 | | 299,000 | 347,600 | 386,000 | | |
| 108 | | 299,300 | 348,000 | 386,300 | | |
| 109 | | 299,500 | 348,500 | 386,600 | | |
| 110 | | 299,900 | 348,900 | 386,900 | | |

| | | | | | | | |
|--------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 111 | | 300,300 | 349,200 | 387,200 | | |
| | 112 | | 300,600 | 349,500 | 387,500 | | |
| | 113 | | 300,800 | 350,000 | 387,800 | | |
| | 114 | | 301,000 | | | | |
| | 115 | | 301,300 | | | | |
| | 116 | | 301,700 | | | | |
| | 117 | | 301,900 | | | | |
| | 118 | | 302,100 | | | | |
| | 119 | | 302,400 | | | | |
| | 120 | | 302,700 | | | | |
| | 121 | | 303,100 | | | | |
| | 122 | | 303,300 | | | | |
| | 123 | | 303,600 | | | | |
| | 124 | | 303,900 | | | | |
| | 125 | | 304,200 | | | | |
| 再任用の職員 | | 187,700 | 215,200 | 255,200 | 274,600 | 289,700 | 315,100 |

別表第2（第3条関係）
医療職給料表（一）

| 職員の区分 | 職務の級 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 |
|----------|------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 号給 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 |
| 再任用職員以外の | 1 | 249,800 | 335,000 | 399,000 | 471,700 | 566,500 |
| | 2 | 252,300 | 338,000 | 401,900 | 474,000 | 569,600 |
| | 3 | 254,800 | 340,900 | 404,500 | 476,200 | 572,700 |
| | 4 | 257,300 | 343,800 | 407,200 | 478,500 | 575,800 |

| | | | | | | | |
|--------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 111 | | 300,300 | 349,200 | 387,200 | | |
| | 112 | | 300,600 | 349,500 | 387,500 | | |
| | 113 | | 300,800 | 350,000 | 387,800 | | |
| | 114 | | 301,000 | | | | |
| | 115 | | 301,300 | | | | |
| | 116 | | 301,700 | | | | |
| | 117 | | 301,900 | | | | |
| | 118 | | 302,100 | | | | |
| | 119 | | 302,400 | | | | |
| | 120 | | 302,700 | | | | |
| | 121 | | 303,100 | | | | |
| | 122 | | 303,300 | | | | |
| | 123 | | 303,600 | | | | |
| | 124 | | 303,900 | | | | |
| | 125 | | 304,200 | | | | |
| 再任用の職員 | | 187,700 | 215,200 | 255,200 | 274,600 | 289,700 | 315,100 |

別表第2（第3条関係）
医療職給料表（一）

| 職員の区分 | 職務の級 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 |
|----------|------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 号給 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 |
| 再任用職員以外の | 1 | 253,600 | 338,400 | 400,400 | 471,700 | 566,500 |
| | 2 | 256,100 | 341,400 | 403,300 | 474,000 | 569,600 |
| | 3 | 258,600 | 344,200 | 405,900 | 476,200 | 572,700 |
| | 4 | 261,100 | 347,100 | 408,600 | 478,500 | 575,800 |

| | | | | | | |
|----|----|----------------|----------------|----------------|---------|---------|
| 職員 | 5 | <u>259,500</u> | <u>346,500</u> | <u>409,800</u> | 480,700 | 578,700 |
| | 6 | <u>263,300</u> | <u>349,700</u> | <u>412,200</u> | 482,900 | 581,100 |
| | 7 | <u>267,100</u> | <u>352,800</u> | <u>414,900</u> | 485,100 | 583,500 |
| | 8 | <u>270,900</u> | <u>355,900</u> | 417,300 | 487,300 | 585,900 |
| | 9 | <u>274,500</u> | <u>358,700</u> | 419,500 | 489,300 | 588,100 |
| | 10 | <u>278,500</u> | <u>361,400</u> | 422,200 | 491,400 | 589,600 |
| | 11 | <u>282,500</u> | <u>364,500</u> | 424,800 | 493,500 | 591,100 |
| | 12 | <u>286,500</u> | <u>367,700</u> | 427,500 | 495,600 | 592,600 |
| | 13 | <u>290,300</u> | <u>370,600</u> | 429,900 | 497,700 | 594,100 |
| | 14 | <u>294,300</u> | <u>374,100</u> | 432,400 | 499,800 | 595,200 |
| | 15 | <u>298,200</u> | <u>377,100</u> | 434,800 | 501,900 | 596,300 |
| | 16 | <u>302,100</u> | <u>380,700</u> | 437,300 | 504,000 | 597,200 |
| | 17 | <u>305,800</u> | <u>384,300</u> | 439,300 | 506,100 | 598,400 |
| | 18 | <u>309,400</u> | <u>387,000</u> | 441,700 | 508,100 | 599,400 |
| | 19 | <u>312,900</u> | <u>389,500</u> | 444,000 | 510,100 | 600,400 |
| | 20 | <u>316,500</u> | <u>392,100</u> | 446,400 | 512,100 | 601,400 |
| | 21 | <u>320,100</u> | <u>394,900</u> | 447,900 | 513,900 | 602,400 |
| | 22 | <u>323,800</u> | <u>397,200</u> | 450,300 | 515,700 | |
| | 23 | <u>327,300</u> | <u>399,700</u> | 452,600 | 517,600 | |
| | 24 | <u>330,600</u> | 401,800 | 454,900 | 519,500 | |
| | 25 | <u>334,100</u> | 403,800 | 456,900 | 521,200 | |
| | 26 | <u>336,800</u> | 406,100 | 459,200 | 523,000 | |
| | 27 | <u>339,400</u> | 408,300 | 461,400 | 524,800 | |
| | 28 | <u>342,000</u> | 410,600 | 463,700 | 526,600 | |
| | 29 | <u>344,800</u> | 412,900 | 465,800 | 528,200 | |
| | 30 | <u>346,700</u> | 415,000 | 468,100 | 530,000 | |
| | 31 | <u>348,900</u> | 417,000 | 470,400 | 531,800 | |
| | 32 | <u>351,300</u> | 419,100 | 472,600 | 533,600 | |
| | 33 | <u>353,500</u> | 421,000 | 474,600 | 535,200 | |

| | | | | | | |
|----|----|----------------|----------------|----------------|---------|---------|
| 職員 | 5 | <u>263,300</u> | <u>349,800</u> | <u>411,000</u> | 480,700 | 578,700 |
| | 6 | <u>267,100</u> | <u>352,800</u> | <u>413,300</u> | 482,900 | 581,100 |
| | 7 | <u>270,900</u> | <u>355,900</u> | <u>415,400</u> | 485,100 | 583,500 |
| | 8 | <u>274,700</u> | <u>358,700</u> | 417,300 | 487,300 | 585,900 |
| | 9 | <u>278,300</u> | <u>361,100</u> | 419,500 | 489,300 | 588,100 |
| | 10 | <u>282,300</u> | <u>363,700</u> | 422,200 | 491,400 | 589,600 |
| | 11 | <u>286,300</u> | <u>366,400</u> | 424,800 | 493,500 | 591,100 |
| | 12 | <u>290,300</u> | <u>369,200</u> | 427,500 | 495,600 | 592,600 |
| | 13 | <u>294,000</u> | <u>372,100</u> | 429,900 | 497,700 | 594,100 |
| | 14 | <u>298,000</u> | <u>375,600</u> | 432,400 | 499,800 | 595,200 |
| | 15 | <u>301,900</u> | <u>378,600</u> | 434,800 | 501,900 | 596,300 |
| | 16 | <u>305,700</u> | <u>382,200</u> | 437,300 | 504,000 | 597,200 |
| | 17 | <u>309,300</u> | <u>385,600</u> | 439,300 | 506,100 | 598,400 |
| | 18 | <u>312,800</u> | <u>388,300</u> | 441,700 | 508,100 | 599,400 |
| | 19 | <u>316,300</u> | <u>390,800</u> | 444,000 | 510,100 | 600,400 |
| | 20 | <u>319,800</u> | <u>393,400</u> | 446,400 | 512,100 | 601,400 |
| | 21 | <u>323,400</u> | <u>396,100</u> | 447,900 | 513,900 | 602,400 |
| | 22 | <u>327,100</u> | <u>398,300</u> | 450,300 | 515,700 | |
| | 23 | <u>330,500</u> | <u>400,200</u> | 452,600 | 517,600 | |
| | 24 | <u>333,800</u> | 401,800 | 454,900 | 519,500 | |
| | 25 | <u>337,300</u> | 403,800 | 456,900 | 521,200 | |
| | 26 | <u>339,800</u> | 406,100 | 459,200 | 523,000 | |
| | 27 | <u>342,400</u> | 408,300 | 461,400 | 524,800 | |
| | 28 | <u>344,700</u> | 410,600 | 463,700 | 526,600 | |
| | 29 | <u>347,100</u> | 412,900 | 465,800 | 528,200 | |
| | 30 | <u>348,900</u> | 415,000 | 468,100 | 530,000 | |
| | 31 | <u>350,700</u> | 417,000 | 470,400 | 531,800 | |
| | 32 | <u>352,700</u> | 419,100 | 472,600 | 533,600 | |
| | 33 | <u>354,900</u> | 421,000 | 474,600 | 535,200 | |

| | | | | | |
|----|----------------|---------|---------|---------|--|
| 34 | <u>355,800</u> | 422,800 | 476,700 | 537,000 | |
| 35 | <u>357,900</u> | 424,600 | 478,800 | 538,700 | |
| 36 | <u>360,200</u> | 426,600 | 480,900 | 540,500 | |
| 37 | <u>362,400</u> | 428,500 | 483,000 | 542,100 | |
| 38 | <u>364,800</u> | 430,500 | 484,800 | 543,700 | |
| 39 | <u>367,000</u> | 432,400 | 486,600 | 545,100 | |
| 40 | <u>369,000</u> | 434,400 | 488,400 | 546,700 | |
| 41 | <u>371,300</u> | 436,200 | 490,100 | 548,200 | |
| 42 | <u>372,500</u> | 438,000 | 491,900 | 549,600 | |
| 43 | <u>373,900</u> | 439,700 | 493,700 | 551,000 | |
| 44 | 375,000 | 441,500 | 495,500 | 552,300 | |
| 45 | 376,200 | 443,300 | 497,100 | 553,500 | |
| 46 | 377,600 | 445,100 | 498,800 | 554,500 | |
| 47 | 379,100 | 446,900 | 500,600 | 555,500 | |
| 48 | 380,600 | 448,600 | 502,400 | 556,500 | |
| 49 | 381,700 | 450,400 | 504,000 | 557,500 | |
| 50 | 382,700 | 452,100 | 505,300 | 558,400 | |
| 51 | 383,700 | 453,900 | 506,600 | 559,300 | |
| 52 | 384,500 | 455,700 | 507,900 | 560,200 | |
| 53 | 385,400 | 457,600 | 508,900 | 561,000 | |
| 54 | 386,300 | 458,800 | 510,200 | 561,900 | |
| 55 | 387,000 | 460,000 | 511,500 | 562,800 | |
| 56 | 387,900 | 461,200 | 512,800 | 563,700 | |
| 57 | 388,600 | 462,400 | 513,800 | 564,600 | |
| 58 | 389,500 | 463,400 | 514,600 | 565,500 | |
| 59 | 390,300 | 464,400 | 515,400 | 566,400 | |
| 60 | 391,100 | 465,400 | 516,200 | 567,100 | |
| 61 | 391,600 | 466,200 | 517,100 | 568,000 | |
| 62 | 392,100 | 466,900 | 517,900 | 568,900 | |

| | | | | | |
|----|----------------|---------|---------|---------|--|
| 34 | <u>357,200</u> | 422,800 | 476,700 | 537,000 | |
| 35 | <u>359,300</u> | 424,600 | 478,800 | 538,700 | |
| 36 | <u>361,600</u> | 426,600 | 480,900 | 540,500 | |
| 37 | <u>363,700</u> | 428,500 | 483,000 | 542,100 | |
| 38 | <u>366,100</u> | 430,500 | 484,800 | 543,700 | |
| 39 | <u>368,300</u> | 432,400 | 486,600 | 545,100 | |
| 40 | <u>370,300</u> | 434,400 | 488,400 | 546,700 | |
| 41 | <u>372,500</u> | 436,200 | 490,100 | 548,200 | |
| 42 | <u>373,500</u> | 438,000 | 491,900 | 549,600 | |
| 43 | <u>374,300</u> | 439,700 | 493,700 | 551,000 | |
| 44 | 375,000 | 441,500 | 495,500 | 552,300 | |
| 45 | 376,200 | 443,300 | 497,100 | 553,500 | |
| 46 | 377,600 | 445,100 | 498,800 | 554,500 | |
| 47 | 379,100 | 446,900 | 500,600 | 555,500 | |
| 48 | 380,600 | 448,600 | 502,400 | 556,500 | |
| 49 | 381,700 | 450,400 | 504,000 | 557,500 | |
| 50 | 382,700 | 452,100 | 505,300 | 558,400 | |
| 51 | 383,700 | 453,900 | 506,600 | 559,300 | |
| 52 | 384,500 | 455,700 | 507,900 | 560,200 | |
| 53 | 385,400 | 457,600 | 508,900 | 561,000 | |
| 54 | 386,300 | 458,800 | 510,200 | 561,900 | |
| 55 | 387,000 | 460,000 | 511,500 | 562,800 | |
| 56 | 387,900 | 461,200 | 512,800 | 563,700 | |
| 57 | 388,600 | 462,400 | 513,800 | 564,600 | |
| 58 | 389,500 | 463,400 | 514,600 | 565,500 | |
| 59 | 390,300 | 464,400 | 515,400 | 566,400 | |
| 60 | 391,100 | 465,400 | 516,200 | 567,100 | |
| 61 | 391,600 | 466,200 | 517,100 | 568,000 | |
| 62 | 392,100 | 466,900 | 517,900 | 568,900 | |

| | | | | | |
|----|---------|---------|---------|---------|--|
| 63 | 392,500 | 467,600 | 518,800 | 569,800 | |
| 64 | 393,000 | 468,300 | 519,600 | 570,700 | |
| 65 | 393,300 | 469,000 | 520,500 | 571,600 | |
| 66 | | 469,700 | 521,400 | | |
| 67 | | 470,400 | 522,100 | | |
| 68 | | 471,000 | 523,000 | | |
| 69 | | 471,300 | 523,900 | | |
| 70 | | 472,000 | 524,700 | | |
| 71 | | 472,700 | 525,600 | | |
| 72 | | 473,400 | 526,500 | | |
| 73 | | 473,800 | 527,300 | | |
| 74 | | 474,400 | 528,200 | | |
| 75 | | 475,100 | 529,100 | | |
| 76 | | 475,800 | 529,800 | | |
| 77 | | 476,200 | 530,600 | | |
| 78 | | 476,800 | 531,500 | | |
| 79 | | 477,400 | 532,400 | | |
| 80 | | 477,900 | 533,300 | | |
| 81 | | 478,500 | 534,100 | | |
| 82 | | 479,000 | 535,000 | | |
| 83 | | 479,500 | 535,900 | | |
| 84 | | 480,000 | 536,800 | | |
| 85 | | 480,400 | 537,600 | | |
| 86 | | 481,000 | 538,500 | | |
| 87 | | 481,400 | 539,400 | | |
| 88 | | 481,900 | 540,300 | | |
| 89 | | 482,400 | 541,100 | | |
| 90 | | 483,000 | | | |
| 91 | | 483,600 | | | |

| | | | | | |
|----|---------|---------|---------|---------|--|
| 63 | 392,500 | 467,600 | 518,800 | 569,800 | |
| 64 | 393,000 | 468,300 | 519,600 | 570,700 | |
| 65 | 393,300 | 469,000 | 520,500 | 571,600 | |
| 66 | | 469,700 | 521,400 | | |
| 67 | | 470,400 | 522,100 | | |
| 68 | | 471,000 | 523,000 | | |
| 69 | | 471,300 | 523,900 | | |
| 70 | | 472,000 | 524,700 | | |
| 71 | | 472,700 | 525,600 | | |
| 72 | | 473,400 | 526,500 | | |
| 73 | | 473,800 | 527,300 | | |
| 74 | | 474,400 | 528,200 | | |
| 75 | | 475,100 | 529,100 | | |
| 76 | | 475,800 | 529,800 | | |
| 77 | | 476,200 | 530,600 | | |
| 78 | | 476,800 | 531,500 | | |
| 79 | | 477,400 | 532,400 | | |
| 80 | | 477,900 | 533,300 | | |
| 81 | | 478,500 | 534,100 | | |
| 82 | | 479,000 | 535,000 | | |
| 83 | | 479,500 | 535,900 | | |
| 84 | | 480,000 | 536,800 | | |
| 85 | | 480,400 | 537,600 | | |
| 86 | | 481,000 | 538,500 | | |
| 87 | | 481,400 | 539,400 | | |
| 88 | | 481,900 | 540,300 | | |
| 89 | | 482,400 | 541,100 | | |
| 90 | | 483,000 | | | |
| 91 | | 483,600 | | | |

| | | | | | | |
|--------|----|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 92 | | 484,000 | | | |
| | 93 | | 484,500 | | | |
| | 94 | | 485,100 | | | |
| | 95 | | 485,700 | | | |
| | 96 | | 486,300 | | | |
| | 97 | | 486,800 | | | |
| 再任用の職員 | | 296,200 | 338,600 | 393,000 | 466,000 | 565,900 |

| | | | | | | |
|--------|----|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 92 | | 484,000 | | | |
| | 93 | | 484,500 | | | |
| | 94 | | 485,100 | | | |
| | 95 | | 485,700 | | | |
| | 96 | | 486,300 | | | |
| | 97 | | 486,800 | | | |
| 再任用の職員 | | 296,200 | 338,600 | 393,000 | 466,000 | 565,900 |

別表第3 (第3条関係)
医療職給料表 (二)

| 職員の区分 | 職務の級 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 | 6級 | 7級 |
|------------|------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 号給 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 |
| 再任用職員以外の職員 | 1 | 151,000 | 188,400 | 223,600 | 249,600 | 281,000 | 327,000 | 371,100 |
| | 2 | 152,400 | 190,000 | 225,200 | 250,800 | 282,900 | 329,000 | 373,800 |
| | 3 | 153,800 | 191,600 | 226,800 | 252,000 | 285,000 | 331,200 | 376,400 |
| | 4 | 155,200 | 193,200 | 228,400 | 253,400 | 287,000 | 333,400 | 379,100 |
| | 5 | 156,400 | 194,700 | 229,800 | 254,600 | 289,100 | 335,200 | 381,500 |
| | 6 | 158,200 | 196,200 | 231,400 | 255,800 | 291,200 | 337,400 | 384,200 |
| | 7 | 159,900 | 197,800 | 232,900 | 257,000 | 293,100 | 339,400 | 386,800 |
| | 8 | 161,500 | 199,300 | 234,500 | 258,000 | 295,100 | 341,600 | 389,500 |
| | 9 | 163,100 | 200,900 | 235,600 | 259,300 | 297,100 | 343,400 | 391,600 |
| | 10 | 164,800 | 202,600 | 237,100 | 260,100 | 299,100 | 345,500 | 393,900 |
| | 11 | 166,400 | 204,200 | 238,500 | 261,100 | 301,100 | 347,600 | 396,100 |
| | 12 | 168,200 | 205,900 | 239,700 | 262,100 | 303,100 | 349,700 | 398,300 |
| | 13 | 169,700 | 207,300 | 241,300 | 263,400 | 305,100 | 351,200 | 400,400 |

別表第3 (第3条関係)
医療職給料表 (二)

| 職員の区分 | 職務の級 | 1級 | 2級 | 3級 | 4級 | 5級 |
|------------|------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | 号給 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 | 給料月額 |
| 再任用職員以外の職員 | 1 | 155,100 | 191,500 | 226,800 | 252,400 | 282,100 |
| | 2 | 156,500 | 193,100 | 228,400 | 253,500 | 284,000 |
| | 3 | 157,900 | 194,700 | 230,000 | 254,700 | 286,100 |
| | 4 | 159,300 | 196,300 | 231,600 | 256,000 | 288,100 |
| | 5 | 160,500 | 197,800 | 233,000 | 257,200 | 290,200 |
| | 6 | 162,300 | 199,300 | 234,600 | 258,400 | 292,300 |
| | 7 | 164,000 | 200,900 | 236,100 | 259,500 | 294,200 |
| | 8 | 165,600 | 202,400 | 237,700 | 260,500 | 296,200 |
| | 9 | 167,200 | 204,000 | 238,600 | 261,800 | 298,000 |
| | 10 | 168,900 | 205,700 | 240,000 | 262,500 | 299,900 |
| | 11 | 170,500 | 207,300 | 241,400 | 263,400 | 301,500 |
| | 12 | 172,300 | 209,000 | 242,500 | 264,200 | 303,100 |
| | 13 | 173,700 | 210,400 | 244,000 | 265,300 | 305,100 |

| | | | | | | | |
|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 14 | <u>171,600</u> | <u>208,900</u> | <u>242,700</u> | <u>264,600</u> | <u>307,000</u> | <u>353,200</u> | <u>402,400</u> |
| 15 | <u>173,600</u> | <u>210,500</u> | <u>243,900</u> | <u>266,200</u> | <u>309,100</u> | <u>355,100</u> | <u>404,400</u> |
| 16 | <u>175,500</u> | <u>212,100</u> | <u>245,300</u> | <u>267,600</u> | <u>311,100</u> | <u>357,100</u> | <u>406,500</u> |
| 17 | <u>177,400</u> | <u>213,500</u> | <u>246,100</u> | <u>269,100</u> | <u>313,100</u> | <u>358,900</u> | <u>408,300</u> |
| 18 | <u>179,200</u> | <u>215,100</u> | <u>247,300</u> | <u>270,800</u> | <u>315,100</u> | <u>360,900</u> | <u>410,300</u> |
| 19 | <u>181,000</u> | <u>216,800</u> | <u>248,500</u> | <u>272,500</u> | <u>317,200</u> | <u>362,900</u> | <u>412,200</u> |
| 20 | <u>182,900</u> | <u>218,500</u> | <u>249,600</u> | <u>274,200</u> | <u>319,300</u> | <u>364,900</u> | <u>414,300</u> |
| 21 | <u>184,700</u> | <u>219,800</u> | <u>251,000</u> | <u>276,000</u> | <u>321,100</u> | <u>366,700</u> | <u>416,100</u> |
| 22 | <u>186,200</u> | <u>221,300</u> | <u>251,900</u> | <u>277,700</u> | <u>323,100</u> | <u>368,700</u> | <u>417,700</u> |
| 23 | <u>187,700</u> | <u>222,700</u> | <u>252,900</u> | <u>279,400</u> | <u>324,900</u> | <u>370,800</u> | <u>419,300</u> |
| 24 | <u>189,200</u> | <u>224,200</u> | <u>254,000</u> | <u>281,000</u> | <u>326,900</u> | <u>372,900</u> | <u>420,800</u> |
| 25 | <u>190,800</u> | <u>225,600</u> | <u>255,200</u> | <u>282,800</u> | <u>328,600</u> | <u>374,300</u> | <u>422,300</u> |
| 26 | <u>192,100</u> | <u>227,000</u> | <u>256,400</u> | <u>284,500</u> | <u>330,500</u> | <u>376,100</u> | <u>423,600</u> |
| 27 | <u>193,600</u> | <u>228,300</u> | <u>257,800</u> | <u>286,300</u> | <u>332,500</u> | <u>377,900</u> | <u>424,900</u> |
| 28 | <u>195,000</u> | <u>229,600</u> | <u>259,300</u> | <u>287,900</u> | <u>334,500</u> | <u>379,600</u> | <u>426,200</u> |
| 29 | <u>196,500</u> | <u>230,900</u> | <u>260,700</u> | <u>289,600</u> | <u>335,800</u> | <u>381,400</u> | <u>427,500</u> |
| 30 | <u>197,700</u> | <u>232,300</u> | <u>262,300</u> | <u>291,400</u> | <u>337,600</u> | <u>382,900</u> | <u>428,700</u> |
| 31 | <u>199,000</u> | <u>233,800</u> | <u>263,900</u> | <u>293,200</u> | <u>339,300</u> | <u>384,500</u> | <u>429,900</u> |
| 32 | <u>200,300</u> | <u>235,200</u> | <u>265,400</u> | <u>295,100</u> | <u>341,100</u> | <u>386,200</u> | <u>431,000</u> |
| 33 | <u>201,700</u> | <u>236,200</u> | <u>266,800</u> | <u>296,800</u> | <u>342,800</u> | <u>387,500</u> | <u>432,200</u> |
| 34 | <u>203,100</u> | <u>237,500</u> | <u>268,500</u> | <u>298,500</u> | <u>344,600</u> | <u>388,800</u> | <u>433,400</u> |
| 35 | <u>204,400</u> | <u>238,500</u> | <u>270,100</u> | <u>300,300</u> | <u>346,500</u> | <u>390,100</u> | <u>434,600</u> |
| 36 | <u>205,800</u> | <u>239,700</u> | <u>271,700</u> | <u>302,100</u> | <u>348,300</u> | <u>391,300</u> | <u>435,800</u> |
| 37 | <u>206,900</u> | <u>241,000</u> | <u>273,200</u> | <u>303,400</u> | <u>350,100</u> | <u>392,400</u> | <u>437,100</u> |
| 38 | <u>208,200</u> | <u>242,300</u> | <u>274,700</u> | <u>305,100</u> | <u>351,800</u> | <u>393,600</u> | <u>437,900</u> |
| 39 | <u>209,500</u> | <u>243,400</u> | <u>276,300</u> | <u>306,600</u> | <u>353,400</u> | <u>394,700</u> | <u>438,300</u> |
| 40 | <u>210,800</u> | <u>244,700</u> | <u>277,700</u> | <u>308,200</u> | <u>355,100</u> | <u>395,800</u> | <u>439,000</u> |
| 41 | <u>211,900</u> | <u>246,000</u> | <u>279,200</u> | <u>309,900</u> | <u>356,300</u> | <u>396,600</u> | <u>439,500</u> |
| 42 | <u>213,100</u> | <u>247,000</u> | <u>280,800</u> | <u>311,600</u> | <u>357,400</u> | <u>397,400</u> | <u>439,900</u> |

| | | | | | | | |
|----|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|--|--|
| 14 | <u>175,500</u> | <u>212,000</u> | <u>245,300</u> | <u>266,400</u> | <u>307,000</u> | | |
| 15 | <u>177,400</u> | <u>213,600</u> | <u>246,500</u> | <u>267,600</u> | <u>309,100</u> | | |
| 16 | <u>179,200</u> | <u>215,200</u> | <u>247,800</u> | <u>268,700</u> | <u>311,100</u> | | |
| 17 | <u>181,100</u> | <u>216,600</u> | <u>248,600</u> | <u>270,200</u> | <u>313,100</u> | | |
| 18 | <u>182,600</u> | <u>218,200</u> | <u>249,800</u> | <u>271,900</u> | <u>315,100</u> | | |
| 19 | <u>184,400</u> | <u>219,900</u> | <u>250,900</u> | <u>273,600</u> | <u>317,200</u> | | |
| 20 | <u>186,200</u> | <u>221,600</u> | <u>252,000</u> | <u>275,300</u> | <u>319,300</u> | | |
| 21 | <u>187,700</u> | <u>222,900</u> | <u>253,400</u> | <u>277,000</u> | <u>321,100</u> | | |
| 22 | <u>189,200</u> | <u>224,400</u> | <u>254,200</u> | <u>278,700</u> | <u>323,100</u> | | |
| 23 | <u>190,700</u> | <u>225,800</u> | <u>255,100</u> | <u>280,400</u> | <u>324,900</u> | | |
| 24 | <u>192,200</u> | <u>227,300</u> | <u>256,000</u> | <u>282,000</u> | <u>326,900</u> | | |
| 25 | <u>193,800</u> | <u>228,500</u> | <u>257,000</u> | <u>283,700</u> | <u>328,600</u> | | |
| 26 | <u>195,100</u> | <u>229,900</u> | <u>258,100</u> | <u>285,400</u> | <u>330,500</u> | | |
| 27 | <u>196,600</u> | <u>231,200</u> | <u>259,200</u> | <u>287,200</u> | <u>332,500</u> | | |
| 28 | <u>198,000</u> | <u>232,400</u> | <u>260,400</u> | <u>288,800</u> | <u>334,500</u> | | |
| 29 | <u>199,500</u> | <u>233,600</u> | <u>261,800</u> | <u>290,200</u> | <u>335,800</u> | | |
| 30 | <u>200,700</u> | <u>234,900</u> | <u>263,400</u> | <u>291,800</u> | <u>337,600</u> | | |
| 31 | <u>202,000</u> | <u>236,400</u> | <u>265,000</u> | <u>293,400</u> | <u>339,300</u> | | |
| 32 | <u>203,300</u> | <u>237,700</u> | <u>266,500</u> | <u>295,100</u> | <u>341,100</u> | | |
| 33 | <u>204,700</u> | <u>238,700</u> | <u>267,800</u> | <u>296,800</u> | <u>342,800</u> | | |
| 34 | <u>206,100</u> | <u>240,000</u> | <u>269,500</u> | <u>298,500</u> | <u>344,600</u> | | |
| 35 | <u>207,400</u> | <u>240,900</u> | <u>271,100</u> | <u>300,300</u> | <u>346,500</u> | | |
| 36 | <u>208,800</u> | <u>242,100</u> | <u>272,700</u> | <u>302,100</u> | <u>348,300</u> | | |
| 37 | <u>209,900</u> | <u>243,400</u> | <u>274,100</u> | <u>303,400</u> | <u>350,100</u> | | |
| 38 | <u>211,200</u> | <u>244,500</u> | <u>275,600</u> | <u>305,100</u> | <u>351,800</u> | | |
| 39 | <u>212,500</u> | <u>245,600</u> | <u>277,200</u> | <u>306,600</u> | <u>353,400</u> | | |
| 40 | <u>213,800</u> | <u>246,700</u> | <u>278,600</u> | <u>308,200</u> | <u>355,100</u> | | |
| 41 | <u>214,900</u> | <u>247,800</u> | <u>279,800</u> | <u>309,900</u> | <u>356,300</u> | | |
| 42 | <u>216,100</u> | <u>248,700</u> | <u>281,200</u> | <u>311,600</u> | <u>357,400</u> | | |

| | | | | | | | |
|----|----------------|----------------|---------|---------|---------|----------------|----------------|
| 43 | <u>214,300</u> | <u>248,200</u> | 282,500 | 313,200 | 358,600 | <u>398,200</u> | <u>440,300</u> |
| 44 | <u>215,500</u> | <u>249,300</u> | 284,200 | 314,900 | 359,800 | <u>399,000</u> | <u>440,700</u> |
| 45 | <u>216,700</u> | <u>250,400</u> | 285,700 | 315,800 | 361,000 | <u>399,400</u> | <u>441,100</u> |
| 46 | <u>217,800</u> | <u>251,700</u> | 287,400 | 317,200 | 361,800 | <u>400,000</u> | <u>441,500</u> |
| 47 | <u>218,800</u> | <u>253,000</u> | 289,100 | 318,700 | 363,000 | <u>400,500</u> | <u>441,900</u> |
| 48 | <u>219,900</u> | <u>254,200</u> | 290,700 | 320,300 | 364,100 | <u>400,900</u> | <u>442,200</u> |
| 49 | <u>220,900</u> | <u>255,800</u> | 291,900 | 321,700 | 365,100 | <u>401,300</u> | <u>442,500</u> |
| 50 | <u>221,900</u> | <u>257,200</u> | 293,500 | 323,000 | 366,100 | <u>401,600</u> | <u>442,900</u> |
| 51 | <u>222,800</u> | <u>258,400</u> | 294,800 | 324,200 | 367,100 | <u>401,900</u> | <u>443,200</u> |
| 52 | <u>223,800</u> | <u>259,600</u> | 296,400 | 325,500 | 368,100 | <u>402,200</u> | <u>443,500</u> |
| 53 | <u>224,100</u> | <u>260,700</u> | 297,700 | 326,600 | 368,900 | <u>402,500</u> | <u>443,800</u> |
| 54 | <u>224,900</u> | <u>262,000</u> | 299,200 | 327,600 | 369,700 | <u>402,800</u> | |
| 55 | <u>225,600</u> | <u>263,300</u> | 300,600 | 328,700 | 370,600 | <u>403,100</u> | |
| 56 | <u>226,400</u> | <u>264,400</u> | 302,100 | 329,700 | 371,500 | <u>403,400</u> | |
| 57 | <u>227,100</u> | <u>265,200</u> | 303,100 | 330,200 | 372,000 | <u>403,700</u> | |
| 58 | <u>228,000</u> | <u>266,500</u> | 304,300 | 331,100 | 372,800 | <u>404,000</u> | |
| 59 | <u>228,700</u> | <u>267,800</u> | 305,500 | 331,900 | 373,600 | <u>404,300</u> | |
| 60 | <u>229,400</u> | <u>269,100</u> | 306,900 | 332,800 | 374,400 | <u>404,700</u> | |
| 61 | <u>230,300</u> | <u>270,000</u> | 308,200 | 333,600 | 374,800 | <u>404,900</u> | |
| 62 | <u>231,000</u> | <u>271,200</u> | 309,400 | 333,900 | 375,500 | <u>405,200</u> | |
| 63 | <u>231,900</u> | <u>272,500</u> | 310,700 | 334,500 | 376,200 | <u>405,500</u> | |
| 64 | <u>232,900</u> | <u>273,800</u> | 311,900 | 335,200 | 376,900 | <u>405,800</u> | |
| 65 | <u>233,500</u> | <u>274,600</u> | 313,300 | 335,800 | 377,300 | <u>406,000</u> | |
| 66 | <u>234,200</u> | <u>275,700</u> | 314,100 | 336,500 | 377,900 | | |
| 67 | <u>234,900</u> | <u>276,600</u> | 314,900 | 337,200 | 378,600 | | |
| 68 | <u>235,600</u> | <u>277,700</u> | 315,700 | 337,900 | 379,200 | | |
| 69 | <u>236,300</u> | <u>278,700</u> | 316,300 | 338,600 | 379,600 | | |
| 70 | <u>236,900</u> | <u>279,700</u> | 317,000 | 339,100 | 380,100 | | |
| 71 | <u>237,500</u> | <u>280,800</u> | 317,700 | 339,700 | 380,600 | | |

| | | | | | | | |
|----|----------------|----------------|----------------|---------|---------|--|--|
| 43 | <u>217,300</u> | <u>249,600</u> | <u>282,700</u> | 313,200 | 358,600 | | |
| 44 | <u>218,500</u> | <u>250,400</u> | 284,200 | 314,900 | 359,800 | | |
| 45 | <u>219,600</u> | <u>251,500</u> | 285,700 | 315,800 | 361,000 | | |
| 46 | <u>220,700</u> | <u>252,800</u> | 287,400 | 317,200 | 361,800 | | |
| 47 | <u>221,700</u> | <u>254,100</u> | 289,100 | 318,700 | 363,000 | | |
| 48 | <u>222,700</u> | <u>255,300</u> | 290,700 | 320,300 | 364,100 | | |
| 49 | <u>223,600</u> | <u>256,800</u> | 291,900 | 321,700 | 365,100 | | |
| 50 | <u>224,500</u> | <u>258,200</u> | 293,500 | 323,000 | 366,100 | | |
| 51 | <u>225,400</u> | <u>259,400</u> | 294,800 | 324,200 | 367,100 | | |
| 52 | <u>226,300</u> | <u>260,600</u> | 296,400 | 325,500 | 368,100 | | |
| 53 | <u>226,600</u> | <u>261,600</u> | 297,700 | 326,600 | 368,900 | | |
| 54 | <u>227,400</u> | <u>262,900</u> | 299,200 | 327,600 | 369,700 | | |
| 55 | <u>228,000</u> | <u>264,200</u> | 300,600 | 328,700 | 370,600 | | |
| 56 | <u>228,800</u> | <u>265,300</u> | 302,100 | 329,700 | 371,500 | | |
| 57 | <u>229,500</u> | <u>266,100</u> | 303,100 | 330,200 | 372,000 | | |
| 58 | <u>230,200</u> | <u>267,300</u> | 304,300 | 331,100 | 372,800 | | |
| 59 | <u>230,800</u> | <u>268,500</u> | 305,500 | 331,900 | 373,600 | | |
| 60 | <u>231,400</u> | <u>269,600</u> | 306,900 | 332,800 | 374,400 | | |
| 61 | <u>232,100</u> | <u>270,500</u> | 308,200 | 333,600 | 374,800 | | |
| 62 | <u>232,700</u> | <u>271,600</u> | 309,400 | 333,900 | 375,500 | | |
| 63 | <u>233,300</u> | <u>272,700</u> | 310,700 | 334,500 | 376,200 | | |
| 64 | <u>234,000</u> | <u>273,800</u> | 311,900 | 335,200 | 376,900 | | |
| 65 | <u>234,600</u> | <u>274,600</u> | 313,300 | 335,800 | 377,300 | | |
| 66 | <u>235,300</u> | <u>275,700</u> | 314,100 | 336,500 | 377,900 | | |
| 67 | <u>236,000</u> | <u>276,600</u> | 314,900 | 337,200 | 378,600 | | |
| 68 | <u>236,700</u> | <u>277,700</u> | 315,700 | 337,900 | 379,200 | | |
| 69 | <u>237,300</u> | <u>278,700</u> | 316,300 | 338,600 | 379,600 | | |
| 70 | <u>237,900</u> | <u>279,700</u> | 317,000 | 339,100 | 380,100 | | |
| 71 | <u>238,500</u> | <u>280,800</u> | 317,700 | 339,700 | 380,600 | | |

| | | | | | | | |
|-----|----------------|---------|---------|---------|---------|--|--|
| 72 | <u>238,000</u> | 281,900 | 318,300 | 340,300 | 381,100 | | |
| 73 | <u>238,700</u> | 282,500 | 319,000 | 340,600 | 381,700 | | |
| 74 | <u>239,400</u> | 283,200 | 319,200 | 341,200 | 382,200 | | |
| 75 | <u>240,100</u> | 283,700 | 319,800 | 341,700 | 382,800 | | |
| 76 | <u>240,600</u> | 284,500 | 320,400 | 342,300 | 383,400 | | |
| 77 | <u>241,000</u> | 285,300 | 321,000 | 342,800 | 383,900 | | |
| 78 | <u>241,600</u> | 285,900 | 321,500 | 343,300 | 384,400 | | |
| 79 | <u>242,200</u> | 286,500 | 322,000 | 343,800 | 384,900 | | |
| 80 | <u>242,800</u> | 287,100 | 322,500 | 344,200 | 385,400 | | |
| 81 | <u>243,100</u> | 287,800 | 323,100 | 344,500 | 385,700 | | |
| 82 | <u>243,500</u> | 288,300 | 323,600 | 344,800 | 386,200 | | |
| 83 | <u>243,900</u> | 288,700 | 324,000 | 345,200 | 386,600 | | |
| 84 | <u>244,200</u> | 289,100 | 324,500 | 345,500 | 387,000 | | |
| 85 | <u>244,500</u> | 289,300 | 325,000 | 346,000 | 387,400 | | |
| 86 | | 289,500 | 325,400 | 346,300 | 387,900 | | |
| 87 | | 289,700 | 325,600 | 346,600 | 388,300 | | |
| 88 | | 289,900 | 326,000 | 346,900 | 388,700 | | |
| 89 | | 290,300 | 326,400 | 347,300 | 389,100 | | |
| 90 | | 290,500 | 326,800 | 347,600 | 389,600 | | |
| 91 | | 290,700 | 327,200 | 348,000 | 390,000 | | |
| 92 | | 290,900 | 327,600 | 348,300 | 390,400 | | |
| 93 | | 291,300 | 327,900 | 348,700 | 390,800 | | |
| 94 | | 291,500 | 328,100 | 349,000 | | | |
| 95 | | 291,700 | 328,500 | 349,300 | | | |
| 96 | | 292,000 | 328,800 | 349,600 | | | |
| 97 | | 292,400 | 329,000 | 349,900 | | | |
| 98 | | 292,700 | 329,300 | 350,300 | | | |
| 99 | | 292,900 | 329,600 | 350,700 | | | |
| 100 | | 293,200 | 329,900 | 351,100 | | | |

| | | | | | | | |
|-----|----------------|---------|---------|---------|---------|--|--|
| 72 | <u>239,000</u> | 281,900 | 318,300 | 340,300 | 381,100 | | |
| 73 | <u>239,600</u> | 282,500 | 319,000 | 340,600 | 381,700 | | |
| 74 | <u>240,300</u> | 283,200 | 319,200 | 341,200 | 382,200 | | |
| 75 | <u>241,000</u> | 283,700 | 319,800 | 341,700 | 382,800 | | |
| 76 | <u>241,500</u> | 284,500 | 320,400 | 342,300 | 383,400 | | |
| 77 | <u>241,900</u> | 285,300 | 321,000 | 342,800 | 383,900 | | |
| 78 | <u>242,400</u> | 285,900 | 321,500 | 343,300 | 384,400 | | |
| 79 | <u>242,900</u> | 286,500 | 322,000 | 343,800 | 384,900 | | |
| 80 | <u>243,200</u> | 287,100 | 322,500 | 344,200 | 385,400 | | |
| 81 | <u>243,500</u> | 287,800 | 323,100 | 344,500 | 385,700 | | |
| 82 | <u>243,800</u> | 288,300 | 323,600 | 344,800 | 386,200 | | |
| 83 | <u>244,100</u> | 288,700 | 324,000 | 345,200 | 386,600 | | |
| 84 | <u>244,400</u> | 289,100 | 324,500 | 345,500 | 387,000 | | |
| 85 | <u>244,700</u> | 289,300 | 325,000 | 346,000 | 387,400 | | |
| 86 | | 289,500 | 325,400 | 346,300 | 387,900 | | |
| 87 | | 289,700 | 325,600 | 346,600 | 388,300 | | |
| 88 | | 289,900 | 326,000 | 346,900 | 388,700 | | |
| 89 | | 290,300 | 326,400 | 347,300 | 389,100 | | |
| 90 | | 290,500 | 326,800 | 347,600 | 389,600 | | |
| 91 | | 290,700 | 327,200 | 348,000 | 390,000 | | |
| 92 | | 290,900 | 327,600 | 348,300 | 390,400 | | |
| 93 | | 291,300 | 327,900 | 348,700 | 390,800 | | |
| 94 | | 291,500 | 328,100 | 349,000 | | | |
| 95 | | 291,700 | 328,500 | 349,300 | | | |
| 96 | | 292,000 | 328,800 | 349,600 | | | |
| 97 | | 292,400 | 329,000 | 349,900 | | | |
| 98 | | 292,700 | 329,300 | 350,300 | | | |
| 99 | | 292,900 | 329,600 | 350,700 | | | |
| 100 | | 293,200 | 329,900 | 351,100 | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | 101 | | 293,500 | 330,100 | 351,600 | | | | | | | | | | | | | |
| | 102 | | 293,700 | 330,400 | 352,000 | | | | | | | | | | | | | |
| | 103 | | 293,900 | 330,800 | 352,400 | | | | | | | | | | | | | |
| | 104 | | 294,200 | 331,000 | 352,800 | | | | | | | | | | | | | |
| | 105 | | 294,500 | 331,200 | 353,300 | | | | | | | | | | | | | |
| | 106 | | | 331,400 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 107 | | | 331,800 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 108 | | | 332,000 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 109 | | | 332,200 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 110 | | | 332,600 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 111 | | | 333,000 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 112 | | | 333,400 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 113 | | | 333,600 | | | | | | | | | | | | | | |
| 再任用の職員 | | 188,700 | 215,300 | 243,500 | 256,900 | 282,100 | 322,800 | 365,000 | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-----|---------|---------|---------|---------|---------|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| | 101 | | 293,500 | 330,100 | 351,600 | | | | | | | | | | | | | |
| | 102 | | 293,700 | 330,400 | 352,000 | | | | | | | | | | | | | |
| | 103 | | 293,900 | 330,800 | 352,400 | | | | | | | | | | | | | |
| | 104 | | 294,200 | 331,000 | 352,800 | | | | | | | | | | | | | |
| | 105 | | 294,500 | 331,200 | 353,300 | | | | | | | | | | | | | |
| | 106 | | | 331,400 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 107 | | | 331,800 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 108 | | | 332,000 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 109 | | | 332,200 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 110 | | | 332,600 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 111 | | | 333,000 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 112 | | | 333,400 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 113 | | | 333,600 | | | | | | | | | | | | | | |
| 再任用の職員 | | 188,700 | 215,300 | 243,500 | 256,900 | 282,100 | | | | | | | | | | | | |

第2条 一般職の職員の給与に関する条例の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|---|---|
| (昇格、初任給、昇給の基準) | (昇格、初任給、昇給の基準) |
| 第4条 職員を昇格（職員の職務の級をその上位の級に変更することをいう。以下同じ。）させるには、昇格させようとする職務の級の定数に欠員があり、これを補充しようとする場合であつて、かつ、昇格させようとする職務の級に適すると認められる場合に限るものとする。 | 第4条 職員を昇格（職員の職務の級をその上位の級に変更することをいう。以下同じ。）させるには、昇格させようとする職務の級の定数に欠員があり、これを補充しようとする場合であつて、かつ、昇格させようとする職務の級に適すると認められる場合に限るものとする。 |
| 2・3 [略] | 2・3 [略] |
| 4 職員の昇給は、規則で定める日に、同日前1年間における <u>その</u> | 4 職員の昇給は、規則で定める日に、同日前1年間における <u>その</u> |

者の勤務成績に応じて、行うものとする。

5 [略]

6 55歳を超える職員に関する前項の規定の適用については、同項中「4号」とあるのは「2号」とする。

7～9 [略]

10 法第28条の4第1項、第28条の5第1項又は第28条の6第1項若しくは第2項の規定により採用された職員（以下「再任用職員」という。）の給料月額は、その者に適用される給料表の再任用職員の欄に掲げる給料月額のうち、その者の属する職務の級に応じた額とする。

（再任用短時間職員の給料月額）

第5条 法第28条の4第1項、第28条の5第1項の規定により採用された職員で同項に規定する短時間勤務の職を占めるもの又は第28条の6第2項の規定により採用された職員（以下「再任用短時間勤務職員」という。）の給料月額は、前条第9項の規定にかかわらず、同条同項の規定による給料月額に、勤務時間条例第2条第3項の規定により定められたその者の勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数を乗じて得た額とする。

第6条～第11条 [略]

（扶養手当の支給方法）

第12条 [略]

2 扶養手当の支給は、新たに職員となった者に扶養親族がある

者の勤務成績に応じて、行うものとする。

5 [略]

6 次の各号の年齢を超える職員に関する前項の規定の適用については、当該各号に定めるところによる。

(1) 55歳を超える職員 前項中「4号」とあるのは「2号」とする。

(2) 60歳（医療職給料表（一）の適用を受ける職員を除く）を超える職員 前項の規定にかかわらず、第4項に規定する期間の全部を特に良好な成績で勤務した場合に限るものとし、昇給させる場合の昇給の号給数は、町長が別に定める。

7～9 [略]

（定年前再任用短時間勤務職員の給料月額）

第5条 法第22条の4第1項の規定により採用された職員（以下「定年前再任用短時間勤務職員」という。）の給料月額は、当該職員に適用される給料表の定年前再任用短時間勤務職員の欄に掲げる基準給料月額のうち、当該職員の属する職務の級に応じた額に、勤務時間条例第2条第3項の規定により定められた当該職員の勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数を乗じて得た額とする。

第6条～第11条 [略]

（扶養手当の支給方法）

第12条 [略]

2 扶養手当の支給は、新たに職員となった者に扶養親族がある

場合においてはその者が職員となった日、職員に扶養親族で前項の規定による届出に係る者が不在の場合においてその職員に同項第1号に掲げる事実が生じたときは、その事実が生じた日の属する月の翌月（これらの日が月の初日であるときは、その日の属する月）から開始し、扶養手当を受けている職員が離職し、又は死亡した場合においては、それぞれその者が離職し、又は死亡した日、扶養手当を受けている職員の扶養親族で同項の規定による届出に係るものの全てが扶養親族たる要件を欠くに至った場合においてその事実が生じた日の属する月（これらの日が月の初日であるときは、その日の属する月の前月）をもって終わる。ただし、扶養手当の支給の開始については同項の規定による届出が、これに係る事実の生じた日から15日を経過した後にされたときは、その届出を受理した日の属する月の翌月（その日が月の初日であるときは、その日の属する月）から行うものとする。

3 [略]

第13条 [略]

(通勤手当)

第14条 [略]

2 通勤手当の額は、次の各号に掲げる職員の区分に応じ、当該各号に定める額とする。

(1) 前項第1号に掲げる職員 支給単位期間につき、規則で定めるところにより算出したその者の支給単位期間の通勤に要する運賃等の額に相当する額（以下「運賃等相当額」という。）。ただし、運賃等相当額を支給単位期間の月数で除して得た額（以下「1箇月当たりの運賃等相当額」という。）が5万5,000円を超えるときは、支給単位期間の月数を乗じて得た額（その者が2以上の交通機関等を利用するものとして当該運賃等の額を算出する場合において、1箇月当たりの運賃等

場合においては当該職員が職員となった日、職員に扶養親族で前項の規定による届出に係る者が不在の場合においてその職員に同項第1号に掲げる事実が生じたときは、その事実が生じた日の属する月の翌月（これらの日が月の初日であるときは、その日の属する月）から開始し、扶養手当を受けている職員が離職し、又は死亡した場合においては、それぞれ当該職員が離職し、又は死亡した日、扶養手当を受けている職員の扶養親族で同項の規定による届出に係るものの全てが扶養親族たる要件を欠くに至った場合においてその事実が生じた日の属する月（これらの日が月の初日であるときは、その日の属する月の前月）をもって終わる。ただし、扶養手当の支給の開始については同項の規定による届出が、これに係る事実の生じた日から15日を経過した後にされたときは、その届出を受理した日の属する月の翌月（その日が月の初日であるときは、その日の属する月）から行うものとする。

3 [略]

第13条 [略]

(通勤手当)

第14条 [略]

2 通勤手当の額は、次の各号に掲げる職員の区分に応じ、当該各号に定める額とする。

(1) 前項第1号に掲げる職員 支給単位期間につき、規則で定めるところにより算出した当該職員の支給単位期間の通勤に要する運賃等の額に相当する額（以下「運賃等相当額」という。）。ただし、運賃等相当額を支給単位期間の月数で除して得た額（以下「1箇月当たりの運賃等相当額」という。）が5万5,000円を超えるときは、支給単位期間の月数を乗じて得た額（当該職員が2以上の交通機関等を利用するものとして当該運賃等の額を算出する場合において、1箇月当たりの運

相当額の合計額が5万5,000円を超えるときは、その者の通勤手当に係る支給単位期間のうち最も長い支給単位期間につき、5万5,000円に当該支給単位期間の月数を乗じて得た額)

- (2) 前項第2号に掲げる職員 次に掲げる職員の区分に応じ、支給単位期間につき、それぞれ次に定める額 (再任用短時間勤務職員のうち、支給単位期間当たりの通勤回数を考慮して規則で定める職員にあつては、その額から、その額に規則で定める割合を乗じて得た額を減じた額)

ア～ス [略]

- (3) 前項第3号に掲げる職員 交通機関等を利用せず、かつ、自動車等を使用しないで徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離、交通機関等の利用距離、自動車等の使用距離等の事情を考慮して町規則で定める区分に応じ、前2号に定める額 (1箇月当たりの運賃相当額及び前号に定める額の合計額が5万5,000円を超えるときは、その者の通勤手当に係る支給単位期間のうち最も長い支給単位期間につき、5万5,000円に当該支給単位期間の月数を乗じて得た額)、第1号に定める額又は前号に定める額

3 [略]

第15条 [略]

(時間外勤務手当)

第16条 [略]

(1)・(2) [略]

- 2 再任用短時間勤務職員が正規の勤務時間が割り振られた日において、正規の勤務時間を超えてした勤務のうち、その勤務の時間とその勤務をした日における正規の勤務時間との合計が7時間45分に達するまでの間の勤務に対する前項の規定については、同項中「正規の勤務時間を超えてした次に掲げる勤務の区分

賃等相当額の合計額が5万5,000円を超えるときは、当該職員の通勤手当に係る支給単位期間のうち最も長い支給単位期間につき、5万5,000円に当該支給単位期間の月数を乗じて得た額)

- (2) 前項第2号に掲げる職員 次に掲げる職員の区分に応じ、支給単位期間につき、それぞれ次に定める額 (定年前再任用短時間勤務職員のうち、支給単位期間当たりの通勤回数を考慮して規則で定める職員にあつては、その額から、その額に規則で定める割合を乗じて得た額を減じた額)

ア～ス [略]

- (3) 前項第3号に掲げる職員 交通機関等を利用せず、かつ、自動車等を使用しないで徒歩により通勤するものとした場合の通勤距離、交通機関等の利用距離、自動車等の使用距離等の事情を考慮して町規則で定める区分に応じ、前2号に定める額 (1箇月当たりの運賃相当額及び前号に定める額の合計額が5万5,000円を超えるときは、当該職員の通勤手当に係る支給単位期間のうち最も長い支給単位期間につき、5万5,000円に当該支給単位期間の月数を乗じて得た額)、第1号に定める額又は前号に定める額

3 [略]

第15条 [略]

(時間外勤務手当)

第16条 [略]

(1)・(2) [略]

- 2 定年前再任用短時間勤務職員が正規の勤務時間が割り振られた日において、正規の勤務時間を超えてした勤務のうち、その勤務の時間とその勤務をした日における正規の勤務時間との合計が7時間45分に達するまでの間の勤務に対する前項の規定については、同項中「正規の勤務時間を超えてした次に掲げる勤務

に応じてそれぞれ100分の125から100分の150までの範囲内で規則で定める額」とあるのは、「100分の100」とする。

3～6 [略]

第17条～第21条 [略]

(期末手当)

第22条 [略]

2 期末手当の額は、期末手当基礎額に、100分の120.0を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。

(1)～(4) [略]

3 再任用職員に対する前項の規定の適用については、同項中「100分の120」とあるのは「100分の67.5」とする。

4～7 [略]

第23条 [略]

(支給の一時差止め)

第24条 [略]

(1) 離職した日から当該支給日の前日までの間に、その者の在職期間中の行為に係る刑事事件に関して、その者が起訴(当該起訴に係る犯罪について禁錮(こ)以上の刑が定められているものに限り、刑事訴訟法(昭和23年法律第131号)第6編に規定する略式手続によるものを除く。第3項において同じ。)をされその判決が確定していない場合

(2) 離職した日から当該支給日の前日までの間に、その者の在職期間中の行為に係る刑事事件に関して、その者が逮捕された場合又はその者から聴取した事項若しくは調査により判明した事実に基づきその者に犯罪があると思料するに至った場

の区分に応じてそれぞれ100分の125から100分の150までの範囲内で規則で定める額」とあるのは、「100分の100」とする。

3～6 [略]

第17条～第21条 [略]

(期末手当)

第22条 [略]

2 期末手当の額は、期末手当基礎額に、100分の120.0を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間における当該職員の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。

(1)～(4) [略]

3 定年前再任用短時間勤務職員に対する前項の規定の適用については、同項中「100分の120」とあるのは「100分の67.5」とする。

4～7 [略]

第23条 [略]

(支給の一時差止め)

第24条 [略]

(1) 離職した日から当該支給日の前日までの間に、当該職員の在職期間中の行為に係る刑事事件に関して、当該職員が起訴(当該起訴に係る犯罪について禁錮(こ)以上の刑が定められているものに限り、刑事訴訟法(昭和23年法律第131号)第6編に規定する略式手続によるものを除く。第3項において同じ。)をされその判決が確定していない場合

(2) 離職した日から当該支給日の前日までの間に、当該職員の在職期間中の行為に係る刑事事件に関して、当該職員が逮捕された場合又は当該職員から聴取した事項若しくは調査により判明した事実に基づき当該職員に犯罪があると思料するに

合であって、その者に対し期末手当を支給することが、公務に対する信頼を確保し、期末手当に関する制度の適正かつ円滑な実施を維持する上で重大な支障を生ずると認められるとき。

2 [略]

3 任命権者は、一時差止処分について、次の各号のいずれかに該当するに至った場合には、速やかに当該一時差止処分を取り消さなければならない。ただし、第3号に該当する場合において、一時差止処分を受けた者がその者の在職期間中の行為に係る刑事事件に関し現に逮捕されているときその他これを取り消すことが一時差止処分の目的に明らかに反すると認めるときは、この限りでない。

(1)・(2) [略]

(3) 一時差止処分を受けた者がその者の在職期間中の行為に係る刑事事件に関し起訴をされることなく当該一時差止処分に係る期末手当の基準日から起算して1年を経過した場合

4～6 [略]

(勤勉手当)

第25条 勤勉手当は、6月1日及び12月1日(以下この条においてこれらの日を「基準日」という。)にそれぞれ在職する職員に対し、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の勤務成績に応じて、それぞれ基準日の属する月の町規則で定める日に支給する。これらの基準日前1箇月以内に退職し、若しくは法第16条第1項に該当して法第28条第4項の規定により失職し、又は死亡した職員(町規則で定める職員を除く。)についても同様とする。

2 勤勉手当の額は、勤勉手当基礎額に、任命権者が町規則で定める基準に従って定める割合を乗じて得た額とする。この場合において、任命権者が支給する勤勉手当の額の、その者に所属する

至った場合であって、当該職員に対し期末手当を支給することが、公務に対する信頼を確保し、期末手当に関する制度の適正かつ円滑な実施を維持する上で重大な支障を生ずると認められるとき。

2 [略]

3 任命権者は、一時差止処分について、次の各号のいずれかに該当するに至った場合には、速やかに当該一時差止処分を取り消さなければならない。ただし、第3号に該当する場合において、一時差止処分を受けた者が当該職員の在職期間中の行為に係る刑事事件に関し現に逮捕されているときその他これを取り消すことが一時差止処分の目的に明らかに反すると認めるときは、この限りでない。

(1)・(2) [略]

(3) 一時差止処分を受けた者が当該職員の在職期間中の行為に係る刑事事件に関し起訴をされることなく当該一時差止処分に係る期末手当の基準日から起算して1年を経過した場合

4～6 [略]

(勤勉手当)

第25条 勤勉手当は、6月1日及び12月1日(以下この条においてこれらの日を「基準日」という。)にそれぞれ在職する職員に対し、基準日以前6箇月以内の期間における当該職員の勤務成績に応じて、それぞれ基準日の属する月の町規則で定める日に支給する。これらの基準日前1箇月以内に退職し、若しくは法第16条第1項に該当して法第28条第4項の規定により失職し、又は死亡した職員(町規則で定める職員を除く。)についても同様とする。

2 勤勉手当の額は、勤勉手当基礎額に、任命権者が町規則で定める基準に従って定める割合を乗じて得た額とする。この場合において、任命権者が支給する勤勉手当の額の、当該職員に所属す

次の各号に掲げる職員の区分ごとの総額は、それぞれ当該各号に掲げる額を超えてはならない。

- (1) 前項の職員のうち再任用職員以外の職員 当該職員の勤勉手当基礎額に当該職員がそれぞれの基準日現在（退職し、若しくは失職し、又は死亡した職員にあつては、退職し、若しくは失職し、又は死亡した日現在。次項において同じ。）において受けるべき扶養手当の月額を加算した額に、100分の105を乗じて得た額の総額
- (2) 前項の職員のうち再任用職員 当該再任用職員の勤勉手当基礎額に100分の50を乗じて得た額の総額

3～6 [略]

第26条 [略]

（再任用職員についての適用除外）

第27条 第11条から第13条までの規定は、再任用職員には適用しない。

第28条～第30号 [略]

附則

1～10 [略]

次の各号に掲げる職員の区分ごとの総額は、それぞれ当該各号に掲げる額を超えてはならない。

- (1) 前項の職員のうち定年前再任用短時間勤務職員以外の職員 当該職員の勤勉手当基礎額に当該職員がそれぞれの基準日現在（退職し、若しくは失職し、又は死亡した職員にあつては、退職し、若しくは失職し、又は死亡した日現在。次項において同じ。）において受けるべき扶養手当の月額を加算した額に、100分の100を乗じて得た額の総額
- (2) 前項の職員のうち定年前再任用短時間勤務職員 当該定年前再任用短時間勤務職員の勤勉手当基礎額に100分の47.5を乗じて得た額の総額

3～6 [略]

第26条 [略]

（定年前再任用短時間勤務職員についての適用除外）

第27条 第11条から第13条までの規定は、定年前再任用短時間勤務職員には適用しない。

第28条～第30号 [略]

附則

1～10 [略]

11 当分の間、職員の給料月額は、当該職員が60歳に達した日後における最初の4月1日（附則第13項において「特定日」という。）以後、当該職員に適用される給料表の給料月額のうち、第3条第3項に規定する当該職員の属する職務の級並びに第4条第1項、第5項及び第6項の規定により当該職員が受ける号給に応じた額に100分の70を乗じて得た額（50円未満の端数があるときはこれを切り捨てた金額とし、50円以上100円未満の端数があるときはこれを100円に切り上げた金額とする。）とする。

12 前項の規定は、次に掲げる職員には適用しない。

(1) 臨時的に任用される職員その他の法律により任期を定めて任用される職員及び非常勤職員

(2) 医師

(3) 職員の定年等に関する条例第9条第1項又は第2項の規定により法地方公務員法(昭和25年法律第261号)第28条の2第1項に規定する異動期間(同条例第9条第1項又は第2項の規定により延長された期間を含む。)を延長された同条例第6条に規定する職を占める職員

(4) 職員の定年等に関する条例第4条第1項又は第2項の規定により勤務している職員(同条例第3条に規定する定年退職日において前項の規定が適用されていた職員を除く。)

1.3 地方公務員法第28条の2第4項に規定する他の職への降任等をされた職員であつて、当該他の職への降任等をされた日(以下この項及び附則第15項において「異動日」という。)の前日から引き続き同一の給料表の適用を受ける職員のうち、特定日に附則第11項の規定により当該職員の受ける給料月額(以下この項において「特定日給料月額」という。)が異動日の前日に当該職員が受けていた給料月額に100分の70を乗じて得た額(50円未満の端数があるときはこれを切り捨てた金額とし、50円以上100円未満の端数があるときはこれを100円に切り上げた金額とする。以下この項において「基礎給料月額」という。)に達しないこととなる職員(町長が別に定める職員を除く。)には、当分の間、特定日以後、附則第11項の規定により当該職員の受ける給料月額のほか、基礎給料月額と特定日給料月額との差額に相当する額を給料として支給する。

1.4 前項の規定による給料の額と当該給料を支給される職員の受ける給料月額との合計額が第3条第3項の規定により当該職員の属する職務の級における最高の号給の給料月額を超える場合における前項の規定の適用については、同項中「基礎給料月額

と特定日給料月額」とあるのは、「第3条第3項の規定により当該職員の属する職務の級における最高の号給の給料月額と当該職員の受ける給料月額」とする。

1.5 異動日の前日から引き続き給料表の適用を受ける職員（附則第1.1項の規定の適用を受ける職員に限り、附則第1.3項に規定する職員を除く。）であって、同項の規定による給料を支給される職員との権衡上必要があると認められる職員には、当分の間、当該職員の受ける給料月額のほか、町長が別に定めるところにより、前2項の規定に準じて算出した額を給料として支給する。

1.6 附則第1.3項又は前項の規定による給料を支給される職員以外の附則第1.1項の規定の適用を受ける職員であって、任用の事情を考慮して当該給料を支給される職員との権衡上必要があると認められる職員には、当分の間、当該職員の受ける給料月額のほか、町長が別に定めるところにより、前3項の規定に準じて算出した額を給料として支給する。

1.7 附則第1.1項から前項までに定めるもののほか、附則第1.1項の規定による給料月額、附則第1.3項の規定による給料その他附則第1.1項から前項までの規定の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

別表第1（第3条関係）
一般行政職給料表

| | |
|------------|-----|
| 職員の区分 | [略] |
| 再任用職員以外の職員 | |
| 再任用の職員 | |

別表第2（第3条関係）

別表第1（第3条関係）
一般行政職給料表

| | |
|--------------------|-----|
| 職員の区分 | [略] |
| 定年前再任用短時間勤務職員以外の職員 | |
| 定年前再任用短時間勤務職員 | |

別表第2（第3条関係）

医療職給料表（一）

| | |
|------------|-----|
| 職員の区分 | [略] |
| 再任用職員以外の職員 | |
| 再任用の職員 | |

別表第3（第3条関係）

医療職給料表（二）

| | |
|------------|-----|
| 職員の区分 | [略] |
| 再任用職員以外の職員 | |
| 再任用の職員 | |

別表第4（第3条関係）

1 行政職給料表

級別標準職務表

| 職務の級 | 職務の名称 |
|------|---|
| 1級 | 主事、技師、 <u>その他これらの職に準ずる職務</u> |
| 2級 | 主任主事、主任技師、 <u>その他これらの職に準ずる職務</u> |
| 3級 | 主査の職務 <u>又はこれに相当する職務</u> |
| 4級 | 課長補佐、室長補佐、主幹の職務 <u>又はこれに相当する職務</u> |
| 5級 | 課長、事務局長、室長、参事、困難な業務を行う課長補佐及び室長補佐 <u>又はこれに相当する職務</u> |
| 6級 | 困難な業務を行う課長、事務局長、室長、参事 <u>又はこれに相当する職務</u> |

医療職給料表（一）

| | |
|--------------------|-----|
| 職員の区分 | [略] |
| 定年前再任用短時間勤務職員以外の職員 | |
| 定年前再任用短時間勤務職員 | |

別表第3（第3条関係）

医療職給料表（二）

| | |
|--------------------|-----|
| 職員の区分 | [略] |
| 定年前再任用短時間勤務職員以外の職員 | |
| 定年前再任用短時間勤務職員 | |

別表第4（第3条関係）

1 行政職給料表

級別標準職務表

| 職務の級 | 職務の名称 |
|------|---|
| 1級 | 主事、技師 |
| 2級 | 主任主事、主任技師 |
| 3級 | 主査の職務 |
| 4級 | 課長補佐、室長補佐、主幹の職務、 <u>副看護師長</u> |
| 5級 | 課長、事務局長、室長、 <u>事務長</u> 、 <u>総看護師長</u> 、 <u>看護師長</u> 、参事困難な業務を行う課長補佐及び室長補佐 |
| 6級 | 困難な業務を行う課長、事務局長、室長、 <u>事務長</u> 、参事 |

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行し、令和4年4月1日から適用する。ただし、第2条の規定は令和5年4月1日から施行する。
(定年退職者等の再任用に関する経過措置)
- 2 地方公務員法の一部を改正する法律(令和3年法律第63号。以下「令和3年改正法」という。)附則第4条第1項又は第2項の規定により採用された職員(以下「暫定再任用職員」という。)の給料月額は、当該暫定再任用職員が定年前再任用短時間勤務職員であるものとした場合に適用される一般職の職員の給与に関する条例第3条第1項に規定する給料表の定年前再任用短時間勤務職員の項に掲げる基準給料月額のうち、当該暫定再任用職員の属する職務の級に応じた額とする。
- 3 令和3年改正法附則第6条第1項又は第2項の規定により採用された職員(以下「暫定再任用短時間勤務職員」という。)の給料月額は、当該暫定再任用短時間勤務職員が定年前再任用短時間勤務職員であるものとした場合に適用される改正後の条例第3条第1項に規定する給料表の定年前再任用短時間勤務職員の欄に掲げる基準給料月額のうち、当該暫定再任用短時間勤務職員の属する職務の級に応じた額に、職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例(平成18年美郷町条例第37号)第2条第3項の規定により定められた当該暫定再任用短時間勤務職員の勤務時間を同条第1項に規定する勤務時間で除して得た数を乗じて得た額とする。
- 4 改正後の一般職の職員の給与に関する条例附則第11条から17条までの規定は、令和3年改正法附則第3条第5項又は附則第6号の規定により勤務している職員には適用しない。
- 5 暫定再任用職員は、定年前再任用短時間勤務職員とみなして、改正後の一般職の職員の給与に関する条例第14条第2項第2号、第16条第2項、第22条第3項、第25条第2項第2号、第27条の規定を適用する。
- 6 前各項に定めるもののほか、暫定再任用職員及び暫定再任用短時間勤務職員に関し必要な事項は、規則で定める。

令和4年12月6日提出

美郷町長 田 中 秀 俊

提案理由

人事院勧告に基づく勤勉手当並びに給料表の改訂及び、地方公務員法の一部改正に伴う60歳を超える職員の給与の取扱いについて定めるため、この条例案を提案する。

議案第 7 8 号

美郷町税条例の一部を改正する条例

美郷町税条例（平成 1 8 年美郷町条例第 5 7 号）の一部を次のように改正する。
次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|--|---|
| 附 則 第 1 条～第 9 条の 2 [略] 第 1 0 条 [略] | 附 則 第 1 条～第 9 条の 2 [略] 第 1 0 条 [略] <u>（法附則第 6 4 条の条例で定める割合）</u> <u>第 1 0 条の 2 法附則第 6 4 条に規定する市町村の条例で定める</u> <u>割合は、零とする。</u> |

附 則
この条例は、公布の日から施行する。

令和 4 年 1 2 月 6 日提出

美郷町長 田 中 秀 俊

提案理由

地方税法附則第 6 4 条の規定に基づき、新型コロナウイルス感染症等に係る先端設備等に該当する家屋及び償却資産に対する固定資産税の課税標準の特例について定める必要があるため、この条例案を提案する。

議案第79号

美郷町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例

美郷町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例（令和2年美郷町条例第26号）の一部を次のように改正する。

次の表の改正前の欄に掲げる規定を同表の改正後の欄に掲げる規定に下線で示すように改正する。

| 改正前 | 改正後 |
|--|--|
| <p>(選挙運動用自動車の使用の公費の支払)</p> <p>第4条 町は、候補者（前条の規定による届出をした者に限る。）が同条の契約に基づき当該契約の相手方である一般乗用旅客自動車運送事業者その他の者（以下「一般乗用旅客自動車運送事業者等」という。）に支払うべき金額のうち、次の各号に掲げる区分に応じ当該各号に定める金額を、第2条ただし書に規定する要件に該当する場合に限り、当該一般乗用旅客自動車運送事業者等からの請求に基づき、当該一般乗用旅客自動車運送事業者等に対し支払う。</p> <p>(1) [略]</p> <p>(2) 当該契約が一般運送契約以外の契約である場合 次に掲げる区分に応じ、それぞれに定める金額</p> <p>ア 当該契約が選挙運動用自動車の借入れ契約（以下「自動車借入れ契約」という。）である場合 当該選挙運動用自動車（同一の日において自動車借入れ契約により2台以上の選挙運動用自動車を使用される場合には、当該候補者が指定するいずれか1台の選挙運動用自動車に限る。）のそれぞれにつき、選挙運動用自動車として使用された各日についてその使用に対し支払うべき金額（当該金額が<u>15,800円</u>を超える場合には、<u>15,800円</u>）の合計金額</p> <p>イ 当該契約が選挙運動用自動車の燃料の供給に関する契約</p> | <p>(選挙運動用自動車の使用の公費の支払)</p> <p>第4条 町は、候補者（前条の規定による届出をした者に限る。）が同条の契約に基づき当該契約の相手方である一般乗用旅客自動車運送事業者その他の者（以下「一般乗用旅客自動車運送事業者等」という。）に支払うべき金額のうち、次の各号に掲げる区分に応じ当該各号に定める金額を、第2条ただし書に規定する要件に該当する場合に限り、当該一般乗用旅客自動車運送事業者等からの請求に基づき、当該一般乗用旅客自動車運送事業者等に対し支払う。</p> <p>(1) [略]</p> <p>(2) 当該契約が一般運送契約以外の契約である場合 次に掲げる区分に応じ、それぞれに定める金額</p> <p>ア 当該契約が選挙運動用自動車の借入れ契約（以下「自動車借入れ契約」という。）である場合 当該選挙運動用自動車（同一の日において自動車借入れ契約により2台以上の選挙運動用自動車を使用される場合には、当該候補者が指定するいずれか1台の選挙運動用自動車に限る。）のそれぞれにつき、選挙運動用自動車として使用された各日についてその使用に対し支払うべき金額（当該金額が<u>16,100円</u>を超える場合には、<u>16,100円</u>）の合計金額</p> <p>イ 当該契約が選挙運動用自動車の燃料の供給に関する契約</p> |

| 改正前 | 改正後 |
|---|---|
| <p>である場合 当該契約に基づき当該選挙運動用自動車に供給した燃料の代金（当該選挙運動用自動車（これに代わり使用される他の選挙運動用自動車を含む。）が既に前条の規定による届出に係る契約に基づき供給を受けた燃料の代金と合算して、<u>7,560円</u>に当該候補者につき法第86条の4第1項、第2項、第5項、第6項又は第8項の規定による候補者の届出のあった日から当該選挙の期日の前日（法第100条第4項の規定により投票を行わないこととなったときは、その事由が生じた日。第6条において同じ。）までの日数から前号の契約が締結されている日数を除いた日数を乗じて得た金額に達するまでの部分の金額であることにつき、委員会が定めるところにより、当該候補者からの申請に基づき、委員会が確認したものに限る。）</p> <p>ウ [略]</p> <p>第5条～第8条 [略]</p> <p>（選挙運動用ビラの作成の公費の支払）</p> <p>第9条 町は、候補者（前条の規定による届出をした者に限る。）が同条の契約に基づき当該契約の相手方であるビラ作成業者に支払うべき金額のうち、当該契約に基づき作成された選挙運動用ビラの1枚当たりの作成単価（当該作成単価が<u>7円51銭</u>を超える場合には、<u>7円51銭</u>。次条において「単価の限度額」という。）に当該選挙運動用ビラの作成枚数（当該候補者を通じて、選挙の区分に応じ法第142条第1項第7号に定める選挙運動用ビラの枚数の範囲内であることにつき、委員会が定めるところにより、当該候補者からの申請に基づき、委員会が確認したものに限る。）を乗じて得た金額を、第7条後段において準用する第2条ただし書に規定する要件に該当する場合に限り、当該ビラ作成業者からの請求に基づき、当該ビラ作成業者</p> | <p>である場合 当該契約に基づき当該選挙運動用自動車に供給した燃料の代金（当該選挙運動用自動車（これに代わり使用される他の選挙運動用自動車を含む。）が既に前条の規定による届出に係る契約に基づき供給を受けた燃料の代金と合算して、<u>7,700円</u>に当該候補者につき法第86条の4第1項、第2項、第5項、第6項又は第8項の規定による候補者の届出のあった日から当該選挙の期日の前日（法第100条第4項の規定により投票を行わないこととなったときは、その事由が生じた日。第6条において同じ。）までの日数から前号の契約が締結されている日数を除いた日数を乗じて得た金額に達するまでの部分の金額であることにつき、委員会が定めるところにより、当該候補者からの申請に基づき、委員会が確認したものに限る。）</p> <p>ウ [略]</p> <p>第5条～第8条 [略]</p> <p>（選挙運動用ビラの作成の公費の支払）</p> <p>第9条 町は、候補者（前条の規定による届出をした者に限る。）が同条の契約に基づき当該契約の相手方であるビラ作成業者に支払うべき金額のうち、当該契約に基づき作成された選挙運動用ビラの1枚当たりの作成単価（当該作成単価が<u>7円73銭</u>を超える場合には、<u>7円73銭</u>。次条において「単価の限度額」という。）に当該選挙運動用ビラの作成枚数（当該候補者を通じて、選挙の区分に応じ法第142条第1項第7号に定める選挙運動用ビラの枚数の範囲内であることにつき、委員会が定めるところにより、当該候補者からの申請に基づき、委員会が確認したものに限る。）を乗じて得た金額を、第7条後段において準用する第2条ただし書に規定する要件に該当する場合に限り、当該ビラ作成業者からの請求に基づき、当該ビラ作成業者</p> |

| 改正前 | 改正後 |
|--|---|
| <p>に対し支払う。</p> <p>第10条～第12条 [略]</p> <p>(選挙運動用ポスターの作成の公費の支払)</p> <p>第13条 町は、候補者（前条の規定による届出をした者に限る。）が同条の契約に基づき当該契約の相手方であるポスター作成業者に支払うべき金額のうち、当該契約に基づき作成された選挙運動用ポスターの1枚当たりの作成単価（当該作成単価が、<u>525円6銭</u>に当該選挙が行われる区域におけるポスター掲示場の数を乗じて得た金額に<u>310,500円</u>を加えた金額を当該選挙が行われる区域におけるポスター掲示場の数で除して得た金額（1円未満の端数がある場合には、その端数は、1円とする。以下この条において「単価の限度額」という。）を超える場合には、当該単価の限度額）に当該選挙運動用ポスターの作成枚数（当該候補者を通じて、当該選挙が行われる区域におけるポスター掲示場の数に相当する数の範囲内のものであることにつき、委員会が定めるところにより、当該候補者からの申請に基づき、委員会が確認したものに限る。）を乗じて得た金額を、第11条後段において準用する第2条ただし書に規定する要件に該当する場合に限り、当該ポスター作成業者からの請求に基づき、当該ポスター作成業者に対し支払う。</p> | <p>に対し支払う。</p> <p>第10条～第12条 [略]</p> <p>(選挙運動用ポスターの作成の公費の支払)</p> <p>第13条 町は、候補者（前条の規定による届出をした者に限る。）が同条の契約に基づき当該契約の相手方であるポスター作成業者に支払うべき金額のうち、当該契約に基づき作成された選挙運動用ポスターの1枚当たりの作成単価（当該作成単価が、<u>541円31銭</u>に当該選挙が行われる区域におけるポスター掲示場の数を乗じて得た金額に<u>316,250円</u>を加えた金額を当該選挙が行われる区域におけるポスター掲示場の数で除して得た金額（1円未満の端数がある場合には、その端数は、1円とする。以下この条において「単価の限度額」という。）を超える場合には、当該単価の限度額）に当該選挙運動用ポスターの作成枚数（当該候補者を通じて、当該選挙が行われる区域におけるポスター掲示場の数に相当する数の範囲内のものであることにつき、委員会が定めるところにより、当該候補者からの申請に基づき、委員会が確認したものに限る。）を乗じて得た金額を、第11条後段において準用する第2条ただし書に規定する要件に該当する場合に限り、当該ポスター作成業者からの請求に基づき、当該ポスター作成業者に対し支払う。</p> |

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、公布の日から施行する。

(経過措置)

- 2 改正後の美郷町の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の規定は、この条例の施行の日以後その期日を告示される選挙について適用し、この条例の施行の日の前日までにその期日を告示された選挙については、なお従前の例による。

令和4年12月6日提出

美郷町長 田 中 秀 俊

提案理由

公職選挙法施行令の一部を改正する政令（令和4年政令第172号）の施行に伴い、選挙運動の公営に要する経費に係る限度額を引き上げるため、この条例案を提案する。

議案第 80 号

令和 4 年度美郷町一般会計補正予算（第 8 号）

令和 4 年度美郷町一般会計補正予算（第 8 号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第 1 条 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ 1, 772, 978 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 11, 085, 889 千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

（繰越明許費）

第 2 条 地方自治法第 213 条第 1 項の規定により、翌年度に繰越して使用することができる経費は、「第 2 表 繰越明許費」による。

（地方債の補正）

第 3 条 地方債の変更は、「第 3 表 地方債補正」による。

令和 4 年 1 2 月 6 日 提出

美郷町長 田中秀俊

第 1 表 歳入歳出予算補正

1 歳 入

(単位：千円)

| 款 | 項 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 |
|-------------|----------|-----------|-----------|------------|
| 13 分担金及び負担金 | | 53,030 | 16,788 | 69,818 |
| | 1 分 担 金 | 3,954 | 16,788 | 20,742 |
| 15 国庫支出金 | | 938,057 | 467,924 | 1,405,981 |
| | 1 国庫負担金 | 410,095 | 466,911 | 877,006 |
| | 2 国庫補助金 | 526,965 | 1,013 | 527,978 |
| 16 県支出金 | | 648,555 | 460,714 | 1,109,269 |
| | 1 県負担金 | 130,049 | 5 | 130,054 |
| | 2 県補助金 | 482,154 | 460,709 | 942,863 |
| 17 財産収入 | | 43,330 | 7,700 | 51,030 |
| | 2 財産売払収入 | 1 | 7,700 | 7,701 |
| 19 繰 入 金 | | 934,669 | 416,432 | 1,351,101 |
| | 2 基金繰入金 | 920,010 | 416,432 | 1,336,442 |
| 21 諸 収 入 | | 64,249 | 2,220 | 66,469 |
| | 5 雑 入 | 42,934 | 2,220 | 45,154 |
| 22 町 債 | | 689,956 | 401,200 | 1,091,156 |
| | 1 町 債 | 689,956 | 401,200 | 1,091,156 |
| 歳 入 合 計 | | 9,312,911 | 1,772,978 | 11,085,889 |

2 歳 出

(単位：千円)

| 款 | 項 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 |
|----------|----------------|-----------|-----------|-----------|
| 1 議会費 | | 68,096 | △51 | 68,045 |
| | 1 議会費 | 68,096 | △51 | 68,045 |
| 2 総務費 | | 1,534,722 | 11,941 | 1,546,663 |
| | 1 総務管理費 | 1,367,190 | 10,235 | 1,377,425 |
| | 2 徴税費 | 86,510 | 1,506 | 88,016 |
| | 3 戸籍住民登録費 | 47,491 | 200 | 47,691 |
| 3 民生費 | | 1,094,723 | 7,609 | 1,102,332 |
| | 1 社会福祉費 | 744,169 | 8,109 | 752,278 |
| | 2 児童福祉費 | 324,360 | △500 | 323,860 |
| 4 衛生費 | | 368,472 | 6,067 | 374,539 |
| | 1 保健衛生費 | 186,554 | 3,338 | 189,892 |
| | 2 清掃費 | 181,918 | 2,729 | 184,647 |
| 5 農林水産業費 | | 1,091,999 | △999 | 1,091,000 |
| | 1 農業費 | 485,983 | 7,237 | 493,220 |
| | 2 林業費 | 603,722 | △8,236 | 595,486 |
| 6 商工費 | | 297,072 | 10,973 | 308,045 |
| | 1 商工費 | 84,672 | 47 | 84,719 |
| | 2 観光費 | 188,541 | 10,926 | 199,467 |
| | 3 鉱害処理費 | 23,859 | 0 | 23,859 |
| 7 土木費 | | 872,363 | 7,889 | 880,252 |
| | 1 土木管理費 | 103,832 | 2,452 | 106,284 |
| | 2 道路橋梁費 | 491,191 | 2,007 | 493,198 |
| | 3 住宅費 | 248,054 | 3,369 | 251,423 |
| | 4 河川費 | 29,286 | 61 | 29,347 |
| 8 消防費 | | 301,234 | 436 | 301,670 |
| | 1 消防費 | 301,234 | 436 | 301,670 |
| 9 教育費 | | 524,413 | 10,826 | 535,239 |
| | 1 教育総務費 | 216,296 | 1,334 | 217,630 |
| | 2 小学校費 | 16,974 | 421 | 17,395 |
| | 4 義務教育学校費 | 22,695 | 190 | 22,885 |
| | 5 幼稚園費 | 59,451 | 4,398 | 63,849 |
| | 6 社会教育費 | 197,499 | 4,483 | 201,982 |
| 10 災害復旧費 | | 769,707 | 1,577,244 | 2,346,951 |
| | 1 農林水産業施設災害復旧費 | 369,795 | 851,704 | 1,221,499 |
| | 2 公共土木施設災害復旧費 | 399,912 | 725,540 | 1,125,452 |

(単位：千円)

| 款 | 項 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|---------|-----------|-----------|-----------|------------|
| 12 諸支出金 | | 1,280,244 | 141,043 | 1,421,287 |
| | 1 特別会計繰出金 | 618,818 | 140,752 | 759,570 |
| | 4 基金積立金 | 380,350 | 291 | 380,641 |
| 歳出 | 合計 | 9,312,911 | 1,772,978 | 11,085,889 |

第2表 繰越明許費

| 款 | 項 | 事業名 | 金額 |
|----------|--------------------|-----------------------|-------------|
| 2 総務費 | 3 戸籍住民登録費 | 戸籍情報システム改修事業 | 千円 6,453 |
| 5 農林水産業費 | 1 農業費 | ガンバレ！農業びと応援プロジェクト事業 | 216 |
| 10 災害復旧費 | 1 農林水産業施設 災害復旧費 | 農地・農業用施設災害復旧事業（単独・補助） | 385,000 |
| 10 災害復旧費 | 1 農林水産業施設 災害復旧費 | 林道施設災害復旧事業（補助） | 467,000 |
| 10 災害復旧費 | 2 公共土木施設 災害復旧費 | 道路橋梁災害復旧事業（補助） | 1,031,100 |
| 計 | | | 1,889,769 |

第3表 地方債補正

(変更)

| 起債の目的 | 補正前 | | | | 補正後 | | | |
|------------|--------------|--|---|--|--------------|--|---|--|
| | 限度額 | 起債の方法 | 利率 | 償還の方法 | 限度額 | 起債の方法 | 利率 | 償還の方法 |
| 公共事業等債 | 千円 28,500 | 1. 借入方法 証書借入又は 証券発行 2. 借入先 財政融資資金、 地方公共団体 金融機構、農 協及び銀行等 | 10.0%以内 (ただし、利率見直 し方式で借り入れる 政府資金及び地方公 共団体金融機構資金 について、利率の見 直しを行った後にお いては、利率見直し 後の利率) | 政府資金については、 その融資条件により、そ 他の場合には、その債 権者と協定するものによ る。 ただし、町財政の都合 により繰上償還又は低利 に借換えすることができる。 | 千円 31,500 | 1. 借入方法 証書借入又は 証券発行 2. 借入先 財政融資資金、 地方公共団体 金融機構、農 協及び銀行等 | 10.0%以内 (ただし、利率見直 し方式で借り入れる 政府資金及び地方公 共団体金融機構資金 について、利率の見 直しを行った後にお いては、利率見直し 後の利率) | 政府資金については、 その融資条件により、そ 他の場合には、その債 権者と協定するものによ る。 ただし、町財政の都合 により繰上償還又は低利 に借換えすることができる。 |
| 災害復旧事業債 | 177,700 | 同上 | 同上 | 同上 | 575,900 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 臨時財政対策債 | 41,156 | 同上 | 同上 | 同上 | 41,156 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 過疎対策事業債 | 312,800 | 同上 | 同上 | 同上 | 312,800 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 辺地対策事業債 | 27,500 | 同上 | 同上 | 同上 | 27,500 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 合併特例事業債 | 102,300 | 同上 | 同上 | 同上 | 102,300 | 同上 | 同上 | 同上 |
| 緊急防災・減災事業債 | 0 | 同上 | 同上 | 同上 | | 同上 | 同上 | 同上 |
| 合計 | 689,956 | | | | 1,091,156 | | | |

令和 4 年度

美郷町一般会計補正予算

事項別明細書

歳入歳出補正予算事項別明細書

1 総括

(歳入)

(単位：千円)

| 款 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|-------------|-----------|-----------|------------|
| 13 分担金及び負担金 | 53,030 | 16,788 | 69,818 |
| 15 国庫支出金 | 938,057 | 467,924 | 1,405,981 |
| 16 県支出金 | 648,555 | 460,714 | 1,109,269 |
| 17 財産収入 | 43,330 | 7,700 | 51,030 |
| 19 繰入金 | 934,669 | 416,432 | 1,351,101 |
| 21 諸収入 | 64,249 | 2,220 | 66,469 |
| 22 町債 | 689,956 | 401,200 | 1,091,156 |
| | | | |
| 歳入合計 | 9,312,911 | 1,772,978 | 11,085,889 |

(歳 出)

(単位：千円)

| 款 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補 正 額 の 財 源 内 訳 | | | | |
|----------|-----------|-----------|------------|-----------------|---------|---------|--------|---------|
| | | | | 特 定 財 源 | | | | 一般財源 |
| | | | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | |
| 1 議会費 | 68,096 | △51 | 68,045 | | | | | △51 |
| 2 総務費 | 1,534,722 | 11,941 | 1,546,663 | | | | 1,300 | 10,641 |
| 3 民生費 | 1,094,723 | 7,609 | 1,102,332 | 660 | △405 | | | 7,354 |
| 4 衛生費 | 368,472 | 6,067 | 374,539 | 353 | | | 87 | 5,627 |
| 5 農林水産業費 | 1,091,999 | △999 | 1,091,000 | | △15,136 | 3,000 | 4,613 | 6,524 |
| 6 商工費 | 297,072 | 10,973 | 308,045 | | | | | 10,973 |
| 7 土木費 | 872,363 | 7,889 | 880,252 | | | | 60 | 7,829 |
| 8 消防費 | 301,234 | 436 | 301,670 | | | | | 436 |
| 9 教育費 | 524,413 | 10,826 | 535,239 | | | | 10 | 10,816 |
| 10 災害復旧費 | 769,707 | 1,577,244 | 2,346,951 | 466,900 | 476,250 | 398,200 | 16,788 | 219,106 |
| 12 諸支出金 | 1,280,244 | 141,043 | 1,421,287 | 11 | 5 | | | 141,027 |
| 歳出合計 | 9,312,911 | 1,772,978 | 11,085,889 | 467,924 | 460,714 | 401,200 | 22,858 | 420,282 |

入 歳

2 歳 入

(款) 13 分担金及び負担金

(項) 1 分担金

(単位：千円)

| 13 | 1 | 分担金及び負担金 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 節 | | 説 明 |
|----|---|------------|---------|---------|-----------|--------------------|---------|--|
| | | | | | | 区 分 | 金 額 | |
| | | 分担金及び負担金 | 53,030 | 16,788 | 69,818 | | | |
| | 1 | 分 担 金 | 3,954 | 16,788 | 20,742 | | | |
| | 2 | 災害復旧費分担金 | 0 | 16,788 | 16,788 | 1 農地・農業用施設災害復旧費分担金 | 16,788 | 1 農地・農業用施設災害復旧費分担金 16,788 (1)農地・農業用施設災害復旧費分担金(補助災) (16,005) (2)農地・農業用施設災害復旧費分担金(単独災) (783) |
| 15 | | 国庫支出金 | 938,057 | 467,924 | 1,405,981 | | | |
| | 1 | 国庫負担金 | 410,095 | 466,911 | 877,006 | | | |
| | 1 | 民生費国庫負担金 | 173,937 | 11 | 173,948 | 15 低所得者保険料軽減負担金 | 11 | 1 低所得者保険料軽減負担金 (1)低所得者保険料軽減負担金 |
| | 4 | 災害復旧費国庫負担金 | 220,843 | 466,900 | 687,743 | 1 公共土木施設災害復旧費負担金 | 466,900 | 1 公共土木施設災害復旧費負担金 (1)現年発生公共土木施設災害復旧費負担金 |
| | 2 | 国庫補助金 | 526,965 | 1,013 | 527,978 | | | |
| | 2 | 民生費国庫補助金 | 108,231 | 660 | 108,891 | 1 民生費補助金 | 660 | 1 システム改修補助金 660 (1)障害福祉サービスデータベース構築補助金 (220) (2)福祉・介護職員等ベースアップ等支援加算創設に伴う改修補助金 (440) |
| | 3 | 衛生費国庫補助金 | 16,958 | 353 | 17,311 | 2 保健衛生費補助金 | 353 | 1 保健衛生費補助金 (1)新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金 |
| 16 | | 県支出金 | 648,555 | 460,714 | 1,109,269 | | | |
| | 1 | 県負担金 | 130,049 | 5 | 130,054 | | | |
| | 1 | 民生費県負担金 | 129,599 | 5 | 129,604 | 14 低所得者保険料軽減負担金 | 5 | 1 低所得者保険料軽減負担金 (1)低所得者保険料軽減負担金 |
| | 2 | 県補助金 | 482,154 | 460,709 | 942,863 | | | |
| | 2 | 民生費県補助金 | 20,925 | △405 | 20,520 | 2 老人福祉費補助金 | △405 | 1 介護保険利用者負担軽減対策事業補助金 (1)介護保険利用者負担軽減対策事業補助金 |
| | 4 | 農林水産業費県補助金 | 239,726 | △15,136 | 224,590 | 1 農業費補助金 | 1,254 | 1 農業委員会費補助金 (1)農地利用最適化交付金 |
| | | | | | | 3 林業費補助金 | △16,390 | 1 特用林産物振興補助金 △67 (1)特用林産業新規就業者支援事業補助金 (△67) 2 作業道整備補助金 △195 |

(一般会計)

(款) 16 県支出金
(項) 2 県補助金

(単位：千円)

| 款 | 項 | 目 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 節 | | 説明 |
|----|----|-----------|---------|---------|-----------|-------------------|---------|---|
| | | | | | | 区分 | 金額 | |
| | | | | | | | | (1) 県単山村整備作業路開設事業補助金 (△195) 3 森林整備加速化・林業再生事業補助金 △16,688 (1) 森林整備加速化・林業再生事業補助金 (△16,688) 4 治山事業補助金 560 (1) 県単治山事業補助金 (560) |
| | 10 | 災害復旧費県補助金 | 169,750 | 476,250 | 646,000 | 1 農林水産業施設災害復旧費補助金 | 476,250 | 1 農地・農業用施設災害復旧事業補助金 214,950 (1) 現年発生農地・農業用施設災害復旧事業補助金 (214,950) 2 林道施設災害復旧事業補助金 261,300 (1) 現年発生林道施設災害復旧事業補助金 (261,300) |
| 17 | | 財産収入 | 43,330 | 7,700 | 51,030 | | | |
| | 2 | 財産売払収入 | 1 | 7,700 | 7,701 | | | |
| | 1 | 不動産売払収入 | 1 | 7,700 | 7,701 | 1 その他不動産売払収入 | 7,700 | 1 公有林立木売払収入 (1) 公有林立木売払収入 |
| 19 | | 繰入金 | 934,669 | 416,432 | 1,351,101 | | | |
| | 2 | 基金繰入金 | 920,010 | 416,432 | 1,336,442 | | | |
| | 1 | 財政調整基金繰入金 | 760,690 | 416,432 | 1,177,122 | 1 財政調整基金繰入金 | 416,432 | 1 財政調整基金繰入金 (1) 財政調整基金繰入金 |
| 21 | | 諸収入 | 64,249 | 2,220 | 66,469 | | | |
| | 5 | 雑収入 | 42,934 | 2,220 | 45,154 | | | |
| | 1 | 雑収入 | 42,934 | 2,220 | 45,154 | 1 雑収入 | 2,220 | 1 優秀映画鑑賞推進事業観覧料 10 (1) 優秀映画鑑賞推進事業観覧料 (10) 2 救急医療負担金過年度還付金 87 (1) 過年度分延岡市夜間急病センター負担金返還金 (87) 3 強い農業づくり交付金返還金 710 (1) 強い農業づくり交付金返還金 (710) 4 過年度補助金給付金等返還金 53 (1) 経済変動・伝染病等対策資金利子助成補助金返還金 (53) 5 雑入 1,360 (1) CATV施設移設補償金 (1,300) (2) 砂防事業負担金 (60) |
| 22 | | 町債 | 689,956 | 401,200 | 1,091,156 | | | |
| | 1 | 町債 | 689,956 | 401,200 | 1,091,156 | | | |
| | 4 | 公共事業等債 | 28,500 | 3,000 | 31,500 | 3 農山漁村地域整備事業債 | 3,000 | 1 県営中山間地機総合整備事業負担金債 (1) 県営中山間地域総合整備事業負担金債 |

(一般会計)

(款) 22 町 債
(項) 1 町 債

(単位：千円)

| 款 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 節 | | 説 明 |
|-----------|---------|---------|---------|---------------|---------|--------------------------------------|
| | | | | 区 分 | 金 額 | |
| 5 災害復旧事業債 | 177,700 | 398,200 | 575,900 | 1 農林水産施設災害復旧債 | 169,800 | 1 林業用施設災害復旧債 (1) 現年発生林業施設災害復旧債 |
| | | | | 2 公共土木施設災害復旧債 | 228,400 | 1 公共土木施設災害復旧債 (1) 現年発生公共土木施設災害復旧債 |

(一般会計)

歲 出

3 歳 出

(款) 1 議会費
(項) 1 議会費

(単位：千円)

| 1 | 1 | 議会費 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説明 | |
|---|---|-------|--------|-----|--------|----------|------|-----------------|------|--------------------------|----------------|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | | |
| | | 議会費 | 68,096 | △51 | 68,045 | | △51 | | | | |
| | 1 | 議会費 | 68,096 | △51 | 68,045 | | △51 | | | | |
| | | 1 議会費 | 68,096 | △51 | 68,045 | | △51 | | | | |
| | | | | | | | | 2 給 料 | △200 | 1 議会一般経費 タブレットサービス利用料 | 149 (149) |
| | | | | | | | | 13 使用料及び 賃借料 | 149 | 2 一般職員人件費(議会) 給料 | △200 (△200) |

(一般会計)

(款) 2 総務費
(項) 1 総務管理費

(単位：千円)

| 2 | 1 | 1 | 総務費 | 1,534,722 | 11,941 | 1,546,663 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説明 |
|---|---|---|---------|-----------|--------|-----------|----------|--------|----------|-------|--|
| | | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | |
| | | | 総務管理費 | 1,367,190 | 10,235 | 1,377,425 | 1,300 | 10,641 | | | |
| | | | 一般管理費 | 570,673 | 1,781 | 572,454 | | 1,781 | | | |
| | | | | | | | | | 1 報 酬 | 1,442 | 1 総務一般経費 446 |
| | | | | | | | | | 2 給 料 | 36 | 田代小学校校舎再生協議会委員報酬 (386) |
| | | | | | | | | | 3 職員手当等 | 203 | 田代小学校校舎再生協議会委員費用弁償 (60) |
| | | | | | | | | | 8 旅 費 | 60 | 2 北郷支所一般経費 40 |
| | | | | | | | | | 10 需 用 費 | 15 | 消耗品費 (コピー、プリンター、FAX) (15) |
| | | | | | | | | | 11 役 務 費 | 25 | 電話料 (25) |
| | | | | | | | | | | | 3 会計年度任用職員人件費 (一般管理費：事務) 報酬 (パートタイム会計年度任用職員) 116 (96) |
| | | | | | | | | | | | 期末手当 (パートタイム会計年度任用職員) (20) |
| | | | | | | | | | | | 4 会計年度任用職員人件費 (一般管理費：事業) 報酬 (パートタイム会計年度任用職員) 1,028 (960) |
| | | | | | | | | | | | 給料 (フルタイム会計年度任用職員) (36) |
| | | | | | | | | | | | 期末手当 (フルタイム会計年度任用職員) (8) |
| | | | | | | | | | | | 時間外勤務手当 (フルタイム会計年度任用職員) (24) |
| | | | | | | | | | | | 5 再任用職員人件費 (一般管理費) 151 |
| | | | | | | | | | | | 勤勉手当 (151) |
| | | | 2 財産管理費 | 87,713 | 4,723 | 92,436 | | 4,723 | | | |
| | | | | | | | | | 1 報 酬 | 384 | 1 本所庁舎管理費 1,148 |
| | | | | | | | | | 3 職員手当等 | 82 | 電気料 (1,125) |
| | | | | | | | | | 8 旅 費 | 92 | ガス代 (23) |
| | | | | | | | | | 10 需 用 費 | 1,491 | 2 南郷庁舎維持改修費 2,134 |
| | | | | | | | | | 14 工事請負費 | 2,674 | 南郷支所改修工事請負費 (2,134) |
| | | | | | | | | | | | 3 その他財産管理費 558 |
| | | | | | | | | | | | 報酬 (パートタイム会計年度任用職員) (384) |
| | | | | | | | | | | | 期末手当 (パートタイム会計年度任用職員) (82) |
| | | | | | | | | | | | 費用弁償 (会計年度職員通勤手当) (92) |
| | | | | | | | | | | | 4 その他財産管理費 (北郷地域課) 790 |
| | | | | | | | | | | | 公共施設維持管理修繕費 (250) |
| | | | | | | | | | | | その他財産施設改修工事請負費 (540) |
| | | | | | | | | | | | 5 庁用車管理購入費 (北郷地域課) 93 |
| | | | | | | | | | | | 燃料費 (93) |

(一般会計)

(款) 2 総務費
(項) 1 総務管理費

(単位：千円)

| 款 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説 明 | |
|---------------|---------|-------|---------|--------------|-------|---------------|-------|--|----------------------|
| | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | | |
| 3 交通安全防犯対策費 | 9,246 | 166 | 9,412 | | 166 | | | | |
| | | | | | | 17 備品購入費 | 166 | 1 交通指導員費 一般備品購入費 | 166 (166) |
| 4 企画費 | 460,320 | 1,081 | 461,401 | | 1,081 | 1 報 酬 | 39 | 1 空家対策事業費 【創】空家利活用推進事業補助金 | 600 (200) |
| | | | | | | 10 需 用 費 | 36 | 【創】老朽危険家屋等除却促進事業補助金 | (400) |
| | | | | | | 12 委 託 料 | 406 | 2 お試し滞在施設管理費 報酬(パートタイム会計年度任用職員) 消耗品費(事業関係、その他) | 65 (39) (20) |
| | | | | | | 18 負担金補助及び交付金 | 600 | 水道料 | (6) |
| | | | | | | | | 3 企画一般経費 企業版ふるさと納税寄附感謝状製作委託料 | 406 (406) |
| 5 電算システム管理費 | 140,101 | 649 | 140,750 | | 649 | | | | |
| | | | | | | 12 委 託 料 | 649 | 1 その他電算管理費 システム改修委託料 LGWAN FW 設定変更委託料 | 649 (594) (55) |
| 6 CATVセンター運営費 | 85,725 | 1,835 | 87,560 | その他 1,300 | 535 | | | | |
| | | | | | | 2 給 料 | 35 | 1 ケーブルテレビ運営費 光ケーブル移設及び自営柱撤去工事 | 1,800 (1,800) |
| | | | | | | 14 工事請負費 | 1,800 | 2 一般職員人件費(CATV) 給料 | 35 (35) |
| 2 徴 税 費 | 86,510 | 1,506 | 88,016 | | 1,506 | | | | |
| 1 税務総務費 | 59,891 | 960 | 60,851 | | 960 | | | | |
| | | | | | | 2 給 料 | 200 | 1 一般職員人件費(税務総務) 給料 | 960 (200) |
| | | | | | | 4 共 済 費 | 760 | 県市町村職員共済組合負担金 | (760) |
| 2 賦課徴収費 | 26,619 | 546 | 27,165 | | 546 | | | | |
| | | | | | | 12 委 託 料 | 546 | 1 賦課徴収一般経費 新增築家屋調査委託料 | 546 (546) |

(一般会計)

(款) 2 総務費
(項) 3 戸籍住民登録費

(単位：千円)

| 款 | 項 | 目 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説明 |
|---|---|---------|--------|-----|--------|----------|------|----------|-----|-------------------------------|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | |
| | 3 | 戸籍住民登録費 | 47,491 | 200 | 47,691 | | 200 | | | |
| | 1 | 戸籍住民登録費 | 47,491 | 200 | 47,691 | | 200 | 2 給 料 | 88 | 1 戸籍住民登録一般経費 消耗品費(事務用品) 55 |
| | | | | | | | | 4 共 済 費 | 57 | 2 一般職員人件費(戸籍住民登録) 給料 (88) |
| | | | | | | | | 10 需 用 費 | 55 | 県市町村職員共済組合負担金 (57) |

(一般会計)

(款) 3 民生費
(項) 1 社会福祉費

(単位：千円)

| 3 | 1 | 民生費 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説明 | |
|---|---|---------|-----------|-------|-----------|--------------|-------|----|----------|-------|---|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区分 | 金額 | | |
| | | 民生費 | 1,094,723 | 7,609 | 1,102,332 | 255 | 7,354 | | | | |
| | 1 | 社会福祉費 | 744,169 | 8,109 | 752,278 | 255 | 7,854 | | | | |
| | 1 | 社会福祉総務費 | 291,463 | 620 | 292,083 | | 620 | | | | |
| | | | | | | | | 2 | 給料 | 420 | 1 一般職員人件費(社会福祉総務)給料 620 (420) |
| | | | | | | | | 4 | 共済費 | 200 | 2 県市町村職員共済組合負担金 (200) |
| | 2 | 社会福祉施設費 | 10,536 | 100 | 10,636 | | 100 | | | | |
| | | | | | | | | 10 | 需用費 | 100 | 1 老人ホーム運営費 修繕費(施設管理) 100 (100) |
| | 3 | 高齢者福祉費 | 217,835 | 339 | 218,174 | 県支出金 △405 | 744 | | | | |
| | | | | | | | | 10 | 需用費 | 40 | 1 配食センター管理運営費 水道料 80 (30) |
| | | | | | | | | 12 | 委託料 | 800 | 2 ガス代 集落排水施設使用料 (10) (40) |
| | | | | | | | | 13 | 使用料及び賃借料 | 40 | 2 扶助費(老人福祉) 介護サービス利用者負担軽減助成金 △541 (△541) |
| | | | | | | | | 19 | 扶助費 | △541 | 3 高齢者福祉支援費 生活管理短期宿泊事業委託料 800 (800) |
| | 4 | 障がい福祉費 | 224,335 | 7,050 | 231,385 | 国庫補助金 660 | 6,390 | | | | |
| | | | | | | | | 11 | 役務費 | 50 | 1 地域生活支援事業 日常生活用具給付費 120 (120) |
| | | | | | | | | 12 | 委託料 | 880 | 2 扶助費(障がい者福祉) 更生医療費給付費 6,000 (1,000) |
| | | | | | | | | 19 | 扶助費 | 6,120 | 障がい福祉サービス費 5,000 (5,000) |
| | | | | | | | | | | | 3 障がい支援区分認定等事業 主治医意見書料 50 (50) |
| | | | | | | | | | | | 4 障がい者福祉一般経費 システム改修委託料 880 (880) |
| | 2 | 児童福祉費 | 324,360 | △500 | 323,860 | | △500 | | | | |
| | 1 | 児童福祉総務費 | 94,104 | △500 | 93,604 | | △500 | | | | |
| | | | | | | | | 2 | 給料 | △500 | 1 一般職員人件費(児童福祉総務)給料 △500 (△500) |

(一般会計)

(款) 4 衛生費
(項) 1 保健衛生費

(単位：千円)

| 4 | 1 | 衛生費 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説明 |
|---|---|---------|---------|-------|---------|--------------|-------|---------------|-----|--|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区分 | 金額 | |
| | | 衛生費 | 368,472 | 6,067 | 374,539 | 440 | 5,627 | | | |
| | | 保健衛生費 | 186,554 | 3,338 | 189,892 | 440 | 2,898 | | | |
| | 1 | 保健衛生総務費 | 67,496 | 2,781 | 70,277 | その他 87 | 2,694 | | | |
| | | | | | | | | 2 給料 | 870 | 1 救急医療対策 在宅当番医制整備事業負担金 (△63) |
| | | | | | | | | 3 職員手当等 | 140 | 二次救急医療対策負担金 (1,144) |
| | | | | | | | | 4 共済費 | 700 | 初期救急診療所運営負担金 (△79) |
| | | | | | | | | 10 需用費 | 107 | 延岡市夜間急病センター負担金 (△60) |
| | | | | | | | | 13 使用料及び賃借料 | 22 | 2 一般職員人件費(保健衛生総務) 給料 (870) |
| | | | | | | | | 18 負担金補助及び交付金 | 942 | 扶養手当 (120) |
| | | | | | | | | | | 児童手当 (20) |
| | | | | | | | | | | 3 西郷保健センター管理費 水道料 (7) |
| | | | | | | | | | | 集落排水施設使用料 (15) |
| | | | | | | | | | | 4 北郷保健センター管理費 修繕費(施設管理) (100) |
| | | | | | | | | | | 集落排水施設使用料 (7) |
| | 2 | 予防費 | 63,332 | 372 | 63,704 | 国庫補助金 353 | 19 | | | |
| | | | | | | | | 1 報酬 | 54 | 1 予防接種費 時間外勤務手当 (310) |
| | | | | | | | | 3 職員手当等 | 318 | 2 会計年度任用職員人件費(予防費) 報酬(パートタイム会計年度任用職員) (54) |
| | | | | | | | | | | 期末手当(パートタイム会計年度任用職員) (8) |
| | 3 | 環境衛生費 | 32,175 | 5 | 32,180 | | 5 | | | |
| | | | | | | | | 8 旅費 | 5 | 1 環境衛生一般経費 普通旅費 (5) |
| | 4 | 水道費 | 15,120 | 180 | 15,300 | | 180 | | | |
| | | | | | | | | 18 負担金補助及び交付金 | 180 | 1 水道施設管理費 水道施設整備補助金 (180) |

(一般会計)

(款) 4 衛生費
(項) 2 清掃費

(単位：千円)

| 款 | 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説 明 |
|---|---------|---------|-------|---------|----------|-------|-------------------|-------|--|
| | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | |
| 2 | 清 掃 費 | 181,918 | 2,729 | 184,647 | | 2,729 | | | |
| | 1 清掃総務費 | 43,758 | 35 | 43,793 | | 35 | | | |
| | | | | | | | 8 旅 費 | 35 | 1 清掃一般経費 普通旅費 35 (35) |
| | 2 塵芥処理費 | 90,327 | 627 | 90,954 | | 627 | | | |
| | | | | | | | 10 需 用 費 | 77 | 1 廃棄物収集整備管理費 修繕費（施設管理） 627 (77) |
| | | | | | | | 14 工事請負費 | 550 | 廃棄物施設整備工事費 (550) |
| | 3 し尿処理費 | 47,833 | 2,067 | 49,900 | | 2,067 | | | |
| | | | | | | | 18 負担金補助 及び交付金 | 2,067 | 1 入郷地区衛生組合 入郷地区衛生組合負担金 2,067 (2,067) |

(一般会計)

(款) 5 農林水産業費

(項) 1 農業費

(単位：千円)

| 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説明 | |
|---|---|---|---------|-----------|-------|-----------|---------------|-------|-------------------|-------|--|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | | |
| | | | 農林水産業費 | 1,091,999 | △999 | 1,091,000 | △7,523 | 6,524 | | | |
| | | | 農業費 | 485,983 | 7,237 | 493,220 | 5,017 | 2,220 | | | |
| | | | 農業委員会費 | 10,415 | 1,284 | 11,699 | 県支出金 1,254 | 30 | | | |
| | | | | | | | | | 1 報 酬 | 1,098 | 1 農業委員費 1,050 |
| | | | | | | | | | 3 職員手当等 | 10 | 農業委員会委員報酬 (700) |
| | | | | | | | | | 11 役 務 費 | 77 | 農地利用最適化推進委員報酬 (350) |
| | | | | | | | | | 12 委 託 料 | 99 | 2 農業委員会一般経費 176 |
| | | | | | | | | | | | インターネット回線料 (77) |
| | | | | | | | | | | | タブレット端末保守委託料 (99) |
| | | | | | | | | | | | 3 会計年度任用職員人件費(農業委員会) 報酬(パートタイム会計年度任用職員) 期末手当(パートタイム会計年度任用職員) |
| | | | | | | | | | | | 58 (48) (10) |
| | | | 2 農業総務費 | 49,870 | △58 | 49,812 | | △58 | | | |
| | | | | | | | | | 3 職員手当等 | △200 | 1 一般職員人件費(農業総務) 扶養手当 △200 |
| | | | | | | | | | 10 需 用 費 | 142 | 2 庁用車管理購入費(農業総務) 燃料費 (129) |
| | | | | | | | | | | | 修繕費(公用車管理) (13) |
| | | | 3 農業振興費 | 231,648 | 1,664 | 233,312 | その他 763 | 901 | | | |
| | | | | | | | | | 7 報 償 費 | 100 | 1 農産物生産振興費(県単) 強い農業づくり交付金返還金 (710) |
| | | | | | | | | | 10 需 用 費 | 123 | 2 農産物生産振興費(町単) 印刷製本費 (27) |
| | | | | | | | | | 12 委 託 料 | △252 | 宮崎の特産野菜価格安定事業補助金 (229) |
| | | | | | | | | | 14 工事請負費 | 700 | 3 利子補給事業費(県単) 経済変動・伝染病等対策資金利子補給金 (54) |
| | | | | | | | | | 18 負担金補助 及び交付金 | 283 | 4 農業用施設管理運営費 修繕費(施設管理) (96) |
| | | | | | | | | | 22 償還金利子 及び割引料 | 710 | 5 6次産業化推進事業 講師謝礼 (100) |
| | | | | | | | | | | | 6次産業化推進支援業務委託料 (△100) |
| | | | | | | | | | | | 6 農用地管理事業 548 |
| | | | | | | | | | | | スマート農業等生産団地創出支援事業委託料 (△152) |
| | | | | | | | | | | | スマート農業等生産団地創出支援事業農地改良工事費 (700) |

(一般会計)

(款) 5 農林水産業費

(項) 1 農業費

(単位：千円)

| 款 | 項 | 目 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説 | 明 |
|---|---|---|-------|---------|---------|----------|-----------------|-------|------------|---------|---|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 | 分 | | |
| | | 4 | 畜産業費 | 73,038 | 389 | 73,427 | | 389 | | | |
| | | | | | | | | 2 | 給料 | 148 | 1 家畜診療費 41 修繕費(その他の備品) (41) |
| | | | | | | | | 4 | 共済費 | 200 | 2 一般職員人件費(畜産業) 348 給料 (148) |
| | | | | | | | | 10 | 需用費 | 41 | 県市町村職員共済組合負担金 (200) |
| | | 5 | 農地費 | 82,092 | 3,900 | 85,992 | 地方債 3,000 | 900 | | | |
| | | | | | | | | 12 | 委託料 | △395 | 1 中山間地域総合整備事業(国庫) 3,900 県営中山間地域総合整備事業負担金 (3,900) |
| | | | | | | | | 14 | 工事請負費 | 395 | 2 農業水路等長寿命化・防災減災事業(国庫) 農業水路等長寿命化・防災減災事業測量設計委託料 (△395) |
| | | | | | | | | 18 | 負担金補助及び交付金 | 3,900 | 農業水路等長寿命化・防災減災事業工事請負費 (395) |
| | | 6 | 地籍調査費 | 38,920 | 58 | 38,978 | | 58 | | | |
| | | | | | | | | 1 | 報酬 | 48 | 1 会計年度任用職員人件費(地籍事業) 58 報酬(パートタイム会計年度任用職員) (48) |
| | | | | | | | | 3 | 職員手当等 | 10 | 期末手当(パートタイム会計年度任用職員) (10) |
| 2 | | | 林業費 | 603,722 | △8,236 | 595,486 | △12,540 | 4,304 | | | |
| | 1 | | 林業総務費 | 36,325 | 994 | 37,319 | | 994 | | | |
| | | | | | | | | 2 | 給料 | 280 | 1 一般職員人件費(林業総務) 994 給料 (280) |
| | | | | | | | | 3 | 職員手当等 | 144 | 扶養手当 (144) |
| | | | | | | | | 4 | 共済費 | 570 | 県市町村職員共済組合負担金 (570) |
| | 2 | | 林業振興費 | 257,890 | △15,778 | 242,112 | 県支出金 △16,950 | 1,172 | | | |
| | | | | | | | | 1 | 報酬 | 33 | 1 特用林産振興事業(県単) △100 山村地域を支える特用林産業新規就業者支援事業給付金 (△100) |
| | | | | | | | | 3 | 職員手当等 | 12 | 2 特用林産振興事業(町単) 1,230 特用林産物振興対策事業(販売促進事業)補助金 (100) |
| | | | | | | | | 10 | 需用費 | 60 | 特用林産振興対策事業(燃料高騰対策緊急事業)補助金 (1,130) |
| | | | | | | | | 18 | 負担金補助及び交付金 | △15,883 | 3 作業路整備事業(県単) △325 県単山村整備作業路開設事業補助金 (△325) |
| | | | | | | | | | | | 4 作業路維持管理事業 40 報酬(パートタイム会計年度任用職員) (33) 期末手当(パートタイム会計年度任用職員) (7) |

(一般会計)

(款) 5 農林水産業費
(項) 2 林業費

(単位：千円)

| 款 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説 明 | |
|----------|---------|-------|---------|--------------|-------|-------------------|-------|--|----------------------|
| | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | | |
| | | | | | | | | 5 林業経営基盤強化事業(国庫) 森林整備加速化・林業再生事業補助金 | △16,688 (△16,688) |
| | | | | | | | | 6 鳥獣被害対策事業(県単) 期末手当(パートタイム会計年度任用職員) | 5 (5) |
| | | | | | | | | 7 林業施設管理費 電気料 | 10 (10) |
| | | | | | | | | 8 庁用車管理購入費(林業振興費) 燃料費 | 50 (50) |
| 4 林道維持費 | 107,748 | 38 | 107,786 | | 38 | | | | |
| | | | | | | 10 需用費 | 38 | 1 林道維持管理費 電気料 | 38 (38) |
| 5 治山事業費 | 423 | 2,660 | 3,083 | 県支出金 560 | 2,100 | | | | |
| | | | | | | 12 委託料 | 460 | 1 治山対策事業費 測量・設計委託料 | 2,660 (460) |
| | | | | | | 14 工事請負費 | 2,200 | 県単治山事業工事請負費 町単治山事業工事請負費 | (800) (1,400) |
| 6 公有林整備費 | 292 | 3,850 | 4,142 | その他 3,850 | | | | | |
| | | | | | | 18 負担金補助 及び交付金 | 3,850 | 1 森林管理費 町行分取造林負担金 | 3,850 (3,850) |

(一般会計)

(款) 6 商工費
(項) 1 商工費

(単位:千円)

| 6 | 款 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説 明 |
|---|---------|---------|--------|---------|----------|--------|----------|--------|---|
| | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | |
| | 商工費 | 297,072 | 10,973 | 308,045 | | 10,973 | | | |
| 1 | 商工費 | 84,672 | 47 | 84,719 | | 47 | | | |
| | 1 商工振興費 | 84,672 | 47 | 84,719 | | 47 | 2 給 料 | 47 | 1 一般職員人件費(商工振興) 47 給料 (47) |
| 2 | 観光費 | 188,541 | 10,926 | 199,467 | | 10,926 | | | |
| | 1 観光振興費 | 188,541 | 10,926 | 199,467 | | 10,926 | 10 需 用 費 | 4,662 | 1 農林産物直売施設管理運営費 100 修繕費(施設管理) (100) |
| | | | | | | | 11 役 務 費 | 191 | 2 石峠レイクランド管理運営費 498 修繕費(施設管理) (498) |
| | | | | | | | 14 工事請負費 | 6,073 | 3 南郷温泉管理運営費 1,663 修繕費(施設管理) (980) 南郷温泉施設改修工事請負費 (683) |
| | | | | | | | | | 4 南郷地区観光施設管理運営費 8,392 修繕費(施設管理) (3,002) 南郷地区観光施設改修工事請負費 (5,390) |
| | | | | | | | | | 5 北郷地区観光施設管理運営費 82 ガス代 (5) 修繕費(施設管理) (77) |
| | | | | | | | | | 6 観光一般経費 191 廃棄物処理手数料 (191) |
| 3 | 鉱害処理費 | 23,859 | 0 | 23,859 | | | | | |
| | 6 鉱害処理費 | 23,859 | 0 | 23,859 | | | 10 需 用 費 | 1,050 | 1 速日鉱山施設管理費 (50) 消耗品費(施設管理) (200) |
| | | | | | | | 11 役 務 費 | 30 | 電気料 (800) |
| | | | | | | | 12 委 託 料 | △1,080 | 遠方監視装置回線使用料 (30) 廃水処理業務委託料 (△1,160) 水質検査委託料 (80) |

(一般会計)

(款) 7 土木費
(項) 1 土木管理費

(単位: 千円)

| 7 | 1 | 土木費 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説明 |
|---|---|---------|---------|-------|---------|----------|-------|---------------|--------|--|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区分 | 金額 | |
| | | 土木費 | 872,363 | 7,889 | 880,252 | 60 | 7,829 | | | |
| | 1 | 土木管理費 | 103,832 | 2,452 | 106,284 | | 2,452 | | | |
| | 1 | 土木総務費 | 103,693 | 2,452 | 106,145 | | 2,452 | | | |
| | | | | | | | | 1 報酬 | 140 | 1 土木総務一般経費 2,008 消耗品費(事業関係、その他) (4) |
| | | | | | | | | 3 職員手当等 | △436 | 切手代 (4) 被災地派遣職員負担金 (2,000) |
| | | | | | | | | 4 共済費 | 400 | 2 一般職員人件費(土木総務) △65 扶養手当 (△500) |
| | | | | | | | | 10 需用費 | 344 | 通勤手当 (35) 縣市町村職員共済組合負担金 (400) |
| | | | | | | | | 11 役務費 | 4 | 3 会計年度任用職員人件費(土木総務) 58 報酬(パートタイム会計年度任用職員) (48) |
| | | | | | | | | 18 負担金補助及び交付金 | 2,000 | 期末手当(パートタイム会計年度任用職員) (10) 4 会計年度任用職員人件費(測量登記) 111 報酬(パートタイム会計年度任用職員) (92) 期末手当(パートタイム会計年度任用職員) (19) |
| | | | | | | | | | | 5 庁用車管理購入費(土木総務費) 340 燃料費 (240) 修繕費(公用車管理) (100) |
| | 2 | 道路橋梁費 | 491,191 | 2,007 | 493,198 | | 2,007 | | | |
| | 1 | 道路維持費 | 138,891 | 2,007 | 140,898 | | 2,007 | | | |
| | | | | | | | | 15 原材料費 | 2,007 | 1 町道維持管理費(道路維持費) 2,007 道路維持原材料代 (2,007) |
| | 2 | 道路新設改良費 | 352,300 | 0 | 352,300 | | | | | |
| | | | | | | | | 12 委託料 | 1,700 | 1 防災・安全交付金事業(メンテナンス)町道 防災・安全交付金(メンテナンス)測量設計委託料 (1,700) |
| | | | | | | | | 14 工事請負費 | △1,700 | 防災・安全交付金(メンテナンス)工事請負費 (△1,700) |

(一般会計)

(款) 7 土木費
(項) 3 住宅費

(単位：千円)

| 款 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説 明 | | |
|-------|---------|---------|-------|----------|-----------|-------|--------------|-------|---|--------------------------|
| | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | | | |
| 3 | 住宅費 | 248,054 | 3,369 | 251,423 | | 3,369 | | | | |
| 1 | 公営住宅管理費 | 171,598 | 3,369 | 174,967 | | 3,369 | | | | |
| | | | | | | | 10 需用費 | 1,269 | 1 公営住宅維持管理費 電気料 | 1,219 (19) |
| | | | | | | | 12 委託料 | 0 | 修繕費(施設管理) | (1,200) |
| | | | | | | | 16 公有財産購入費 | 2,100 | 2 公営住宅改築改修費 空き家改修測量設計委託料 空き家改修調査委託料 | (△780) (780) |
| | | | | | | | | | 3 住宅管理一般経費 印刷製本費 不動産購入費 | 2,150 (50) (2,100) |
| 4 | 河川費 | 29,286 | 61 | 29,347 | 60 | 1 | | | | |
| 1 | 河川砂防費 | 29,286 | 61 | 29,347 | その他 60 | 1 | | | | |
| | | | | | | | 16 公有財産購入費 | 12 | 1 河川管理費 土地取得費 砂防事業補償費 | 61 (12) (49) |
| | | | | | | | 21 補償補填及び賠償金 | 49 | | |

(一般会計)

(款) 8 消防費
(項) 1 消防費

(単位：千円)

| 8 | 1 | 消 防 費 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説 明 |
|---|---|--------|---------|-------|---------|----------|------|----------|-----|----------------------------------|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | |
| | | 消 防 費 | 301,234 | 436 | 301,670 | | 436 | | | |
| | 1 | 消 防 費 | 301,234 | 436 | 301,670 | | 436 | | | |
| | 1 | 非常備消防費 | 226,458 | 436 | 226,894 | | 436 | | | |
| | | | | | | | | 2 給 料 | 176 | 1 消防団活動費 10 退職功労金 (10) |
| | | | | | | | | 3 職員手当等 | △10 | 2 救急体制運営費 200 燃料費 (200) |
| | | | | | | | | 4 共 済 費 | 60 | 3 一般職員人件費(消防) 226 給料 (176) |
| | | | | | | | | 7 報 償 費 | 10 | 扶養手当 (40) |
| | | | | | | | | 10 需 用 費 | 200 | 通勤手当 (△50) 縣市町村職員共済組合負担金 (60) |

(一般会計)

(款) 9 教育費
(項) 1 教育総務費

(単位: 千円)

| 9 | 款 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説 明 |
|---|-----------|---------|--------|---------|----------|--------|----------|-----|--|
| | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | |
| | 教育費 | 524,413 | 10,826 | 535,239 | 10 | 10,816 | | | |
| 1 | 教育総務費 | 216,296 | 1,334 | 217,630 | | 1,334 | | | |
| 2 | 事務局費 | 182,206 | 387 | 182,593 | | 387 | | | |
| | | | | | | | 1 報 酬 | 144 | 1 一般特別職員人件費(教育委員会) 扶養手当 △88 (162) |
| | | | | | | | 2 給 料 | 189 | 住居手当 (△100) |
| | | | | | | | 3 職員手当等 | △59 | 通勤手当 (△50) |
| | | | | | | | | | 児童手当 (△100) |
| | | | | | | | 10 需用費 | 113 | 2 会計年度任用職員人件費(教育委員会) 報酬(パートタイム会計年度任用職員) (144) |
| | | | | | | | | | 給料(フルタイム会計年度任用職員) (189) |
| | | | | | | | | | 期末手当(パートタイム会計年度任用職員) (29) |
| | | | | | | | | | 3 庁用車管理購入費(教育委員会) 燃料費 113 (113) |
| 3 | スクールバス運営費 | 29,791 | 797 | 30,588 | | 797 | | | |
| | | | | | | | 1 報 酬 | 166 | 1 高校スクールバス運行費 修繕費(公用車管理) 600 (600) |
| | | | | | | | 3 職員手当等 | 31 | 2 会計年度任用職員人件費(スクールバス) 報酬(パートタイム会計年度任用職員) (166) |
| | | | | | | | 10 需用費 | 600 | 期末手当(パートタイム会計年度任用職員) (31) |
| 4 | 住宅管理費 | 1,907 | 150 | 2,057 | | 150 | | | |
| | | | | | | | 10 需用費 | 150 | 1 教職員住宅管理費 修繕費(施設管理) 150 (150) |
| 2 | 小学校費 | 16,974 | 421 | 17,395 | | 421 | | | |
| 1 | 小学校管理費 | 16,646 | 421 | 17,067 | | 421 | | | |
| | | | | | | | 1 報 酬 | 96 | 1 小学校管理費 電気料 (250) |
| | | | | | | | 3 職員手当等 | 20 | 水道料 (30) |
| | | | | | | | | | ガス代 (5) |
| | | | | | | | 10 需用費 | 285 | 電話料 (20) |
| | | | | | | | 11 役 務 費 | 20 | 2 会計年度任用職員人件費(小学校管理) 報酬(パートタイム会計年度任用職員) (96) |
| | | | | | | | | | 期末手当(パートタイム会計年度任用職員) (20) |

(一般会計)

(款) 9 教育費
(項) 4 義務教育学校費

(単位：千円)

| 款 | 項 | 目 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説明 |
|---|---|-----------|--------|-------|--------|----------|---------|-------------|---|-----------------------------|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | |
| 4 | 1 | 義務教育学校費 | 22,695 | 190 | 22,885 | | 190 | | | |
| | | 義務教育学校管理費 | 19,686 | 190 | 19,876 | | 190 | 10 需用費 | 50 | 1 義務教育学校管理費 190 水道料 (40) |
| | | | | | | | | 13 使用料及び賃借料 | 140 | ガス代 (10) 集落排水施設使用料 (140) |
| 5 | 1 | 幼稚園費 | 59,451 | 4,398 | 63,849 | | 4,398 | | | |
| | | 幼稚園費 | 59,451 | 4,398 | 63,849 | | 4,398 | 1 報酬 | 221 | 1 幼稚園管理費 5 ガス代 (5) |
| | | | | | | | 2 給料 | 3,572 | 2 幼稚園教員人件費 4,040 給料 (3,500) | |
| | | | | | | | 3 職員手当等 | 470 | 児童手当 (410) 縣市町村職員共済組合負担金 (130) | |
| | | | | | | | 4 共済費 | 130 | 3 会計年度任用職員人件費(幼稚園教員) 353 報酬(パートタイム会計年度任用職員) (221) | |
| | | | | | | | 10 需用費 | 5 | 給料(フルタイム会計年度任用職員) (72) 期末手当(フルタイム会計年度任用職員) (15) 期末手当(パートタイム会計年度任用職員) (45) | |

(一般会計)

(款) 9 教育費
(項) 6 社会教育費

(単位：千円)

| 款 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説 明 | |
|-------|---------|---------|--------|----------|-----------|--------|---------------|-------|--|
| | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | | |
| 6 | 社会教育費 | 197,499 | 4,483 | 201,982 | 10 | 4,473 | | | |
| 1 | 社会教育総務費 | 39,830 | 367 | 40,197 | その他 10 | 357 | | | |
| | | | | | | | 1 報 酬 | 36 | 1 社会教育一般経費 成人式記念品代 (△30) |
| | | | | | | | 2 給 料 | 228 | 成人式講師謝金 (30) |
| | | | | | | | 3 職員手当等 | 8 | 2 一般職員人件費(社会教育) 給料 (228) |
| | | | | | | | 4 共 済 費 | 95 | 県市町村職員共済組合負担金 (95) |
| | | | | | | | 7 報 償 費 | 0 | 3 会計年度任用職員人件費(社会教育) 報酬(パートタイム会計年度任用職員) (36) |
| | | | | | | | | | 期末手当(パートタイム会計年度任用職員) (8) |
| 2 | 公民館費 | 18,965 | △1,304 | 17,661 | | △1,304 | | | |
| | | | | | | | 1 報 酬 | 48 | 1 公民館活動支援 大会参加者費用弁償 (△261) |
| | | | | | | | 3 職員手当等 | 10 | 公民館維持補修補助金 (△909) |
| | | | | | | | 8 旅 費 | △295 | 2 公民館一般経費 普通旅費 (△34) |
| | | | | | | | 14 工事請負費 | △158 | 3 会計年度任用職員人件費(公民館) 報酬(パートタイム会計年度任用職員) (48) |
| | | | | | | | 18 負担金補助及び交付金 | △909 | 期末手当(パートタイム会計年度任用職員) (10) |
| | | | | | | | | | 4 公民館整備改修費 公民館駐車場等舗装工事請負費 (△158) |
| 4 | 図書館費 | 20,420 | 332 | 20,752 | | 332 | | | |
| | | | | | | | 1 報 酬 | 273 | 1 会計年度任用職員人件費(図書館) 報酬(パートタイム会計年度任用職員) (273) |
| | | | | | | | 3 職員手当等 | 59 | 期末手当(パートタイム会計年度任用職員) (59) |
| 5 | 保健体育総務費 | 4,291 | 20 | 4,311 | | 20 | | | |
| | | | | | | | 8 旅 費 | 20 | 1 スポーツ振興 普通旅費 (20) |
| 6 | 体育施設費 | 45,885 | 2,175 | 48,060 | | 2,175 | | | |
| | | | | | | | 10 需 用 費 | 664 | 1 社会体育施設管理費 修繕費(施設管理) (664) |
| | | | | | | | 11 役 務 費 | 4 | 浄化槽法定検査手数料 (4) |
| | | | | | | | 14 工事請負費 | 1,507 | 社会体育施設改修工事請負費 (1,507) |

(一般会計)

(款) 9 教育費
(項) 6 社会教育費

(単位：千円)

| 款 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説 明 | |
|-----------|--------|----------------------|--------|----------|-------|---------|-----|--------------------|---------|
| | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | | |
| 7 学校給食施設費 | 61,465 | 2,869 | 64,334 | | 2,869 | | | | |
| | | | | | | 1 報 酬 | 685 | 1 美郷町給食施設運営管理費 | 2,074 |
| | | | | | | | | 消耗品費(事業関係、その他) | (150) |
| | | | | | | 3 職員手当等 | 110 | ガス代 | (900) |
| | | | | | | | | 賄材料費 | (1,008) |
| 10 需用費 | 2,058 | 給食センター電話料 | (16) | | | | | | |
| 11 役務費 | 16 | 2 会計年度任用職員人件費(給食) | 795 | | | | | | |
| | | 報酬(パートタイム会計年度任用職員) | (685) | | | | | | |
| | | 期末手当(パートタイム会計年度任用職員) | (110) | | | | | | |
| 8 博物館費 | 1,546 | 24 | 1,570 | | 24 | | | | |
| | | | | | | 1 報 酬 | 24 | 1 モバイルミュージアム事業 | 24 |
| | | | | | | | | 報酬(パートタイム会計年度任用職員) | (24) |

(一般会計)

(款) 10 災害復旧費

(項) 1 農林水産業施設災害復旧費

(単位:千円)

| 10 | 1 | 災害復旧費 | 補正前の額 769,707 | 補正額 1,577,244 | 計 2,346,951 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説明 |
|----|---|---------------|------------------|------------------|----------------|------------------------------------|-----------------|---|---|---|
| | | | | | | 特定財源 1,358,138 | 一般財源 219,106 | 区 分 | 金 額 | |
| | | 農林水産業施設災害復旧費 | 369,795 | 851,704 | 1,221,499 | 662,838 | 188,866 | | | |
| | 1 | 農地・農業用施設災害復旧費 | 50,568 | 392,704 | 443,272 | 県支出金 214,950 その他 16,788 | 160,966 | 8 旅 費 35 12 委 託 料 6,000 13 使用料及び賃借料 4,069 14 工事請負費 382,600 | 1 農地・農業施設災害復旧事業(補助) 現年発生農地・農業用施設災害復旧工事費 (375,000) 2 農地・農業施設災害復旧事業(単独) 普通旅費 (35) 農地・農業施設災害復旧測量設計委託料 (6,000) 重機借上料 (4,069) 町単農地・農業用施設災害復旧工事費 (7,600) | 375,000 (375,000) 17,704 (35) (6,000) (4,069) (7,600) |
| | 2 | 林業施設災害復旧費 | 319,227 | 459,000 | 778,227 | 県支出金 261,300 地方債 169,800 | 27,900 | 12 委 託 料 9,000 14 工事請負費 450,000 | 1 林業施設災害復旧事業(補助) 現年発生林道施設災害復旧工事費 (450,000) 2 林業施設災害復旧事業(単独) 林道災害測量設計委託料 (9,000) | 450,000 (450,000) 9,000 (9,000) |
| | 2 | 公共土木施設災害復旧費 | 399,912 | 725,540 | 1,125,452 | 695,300 | 30,240 | | | |
| | 1 | 道路橋梁災害復旧費 | 399,912 | 725,540 | 1,125,452 | 国庫補助金 466,900 地方債 228,400 | 30,240 | 12 委 託 料 22,940 13 使用料及び賃借料 800 14 工事請負費 701,800 | 1 道路橋梁災害復旧事業(補助) 現年発生公共土木施設災害復旧工事費 (700,000) 2 道路橋梁災害復旧事業(単独) 災害査定測量設計委託料 (22,940) 重機借上料 (800) 町単公共土木施設災害復旧工事費 (1,800) | 700,000 (700,000) 25,540 (22,940) (800) (1,800) |

(一般会計)

(款) 12 諸支出金

(項) 1 特別会計繰出金

(単位：千円)

| 12 | 款 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説 明 |
|----|-----------|-----------|---------|-----------|--------------------------|---------|----------|---------|--|
| | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | |
| | 諸支出金 | 1,280,244 | 141,043 | 1,421,287 | 16 | 141,027 | | | |
| | 1 特別会計繰出金 | 618,818 | 140,752 | 759,570 | 16 | 140,736 | | | |
| | 1 特別会計繰出金 | 618,818 | 140,752 | 759,570 | 国庫補助金 11 県支出金 5 | 140,736 | 27 繰 出 金 | 140,752 | 1 国民健康保険診療所事業特別会計繰出金 1,705 診療所事業特別会計繰出金(北郷診療所運営) (87) 診療所事業特別会計繰出金(南郷診療所運営) (1,618) 2 国民健康保険事業特別会計繰出金 600 国民健康保険事業特別会計繰出金(人件費) (600) 3 介護保険事業特別会計繰出金 3,747 介護保険事業特別会計繰出金(介護給付費) (2,986) 介護保険事業特別会計繰出金(人件費) (138) 介護保険事業特別会計繰出金(事務費) (601) 介護保険事業特別会計繰出金(低所得者保険料軽減負担金) (22) 4 農業集落排水事業特別会計繰出金 134,700 農業集落排水事業特別会計繰出金(法定外) (134,700) |
| | 4 基金積立金 | 380,350 | 291 | 380,641 | | 291 | | | |
| | 1 基金積立金 | 380,350 | 291 | 380,641 | | 291 | 24 積 立 金 | 291 | 1 一般会計基金積立金 291 学校教育施設整備基金積立金 (291) |

(一般会計)

議案第 8 1 号

令和 4 年度美郷町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 4 号）

令和 4 年度美郷町国民健康保険事業特別会計補正予算（第 4 号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

- 第 1 条 歳入歳出の総額に、歳入歳出それぞれ 6 0 0 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 1, 0 0 5, 0 5 8 千円とする。
- 2 歳入歳出予算の補正の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第 1 表 歳入歳出予算補正」による。

令和 4 年 1 2 月 6 日提出

美郷町長 田 中 秀 俊

第 1 表 歳入歳出予算補正

1 歳入

(単位：千円)

| 款 | 項 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|--------|----------|-----------|-----|-----------|
| 10 繰入金 | | 83,661 | 600 | 84,261 |
| | 1 他会計繰入金 | 83,661 | 600 | 84,261 |
| 歳入合計 | | 1,004,458 | 600 | 1,005,058 |

2 歳 出

(単位：千円)

| 款 | 項 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 |
|---------|--------------------|-----------|-------|-----------|
| 1 総 務 費 | | 18,185 | 600 | 18,785 |
| | 1 総務管理費 | 17,302 | 600 | 17,902 |
| 6 保健事業費 | | 17,209 | 2 | 17,211 |
| | 1 保健事業費 | 5,467 | 2 | 5,469 |
| 7 基金積立金 | | 37,632 | △22 | 37,610 |
| | 1 基金積立金 | 37,632 | △22 | 37,610 |
| 9 諸支出金 | | 31,973 | 20 | 31,993 |
| | 1 償還金利子及び還 付加算金 | 2,218 | 20 | 2,238 |
| 歳 出 | 合 計 | 1,004,458 | 600 | 1,005,058 |

令和 4 年度

美郷町国民健康保険事業特別会計

事 項 別 明 細 書

歳入歳出補正予算事項別明細書

1 総括

(歳入)

(単位：千円)

| 款 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|--------|-----------|-----|-----------|
| 10 繰入金 | 83,661 | 600 | 84,261 |
| | | | |
| 歳入合計 | 1,004,458 | 600 | 1,005,058 |

(歳 出)

(単位：千円)

| 款 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | | | |
|---------|-----------|-----|-----------|----------|------|-----|-----|------|
| | | | | 特定財源 | | | | 一般財源 |
| | | | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | |
| 1 総務費 | 18,185 | 600 | 18,785 | | | | 600 | |
| 6 保健事業費 | 17,209 | 2 | 17,211 | | | | | 2 |
| 7 基金積立金 | 37,632 | △22 | 37,610 | | | | | △22 |
| 9 諸支出金 | 31,973 | 20 | 31,993 | | | | | 20 |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 歳出合計 | 1,004,458 | 600 | 1,005,058 | | | | 600 | |

歲 入

2 歳 入

(款) 10 繰入金

(項) 1 他会計繰入金

(単位：千円)

| 10 | 1 | 繰入金 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 節 | | 説明 |
|----|---|---------|--------|-----|--------|-------------|-----|------------------------------|
| | | | | | | 区分 | 金額 | |
| | | 繰入金 | 83,661 | 600 | 84,261 | | | |
| | 1 | 他会計繰入金 | 83,661 | 600 | 84,261 | | | |
| | 1 | 一般会計繰入金 | 83,661 | 600 | 84,261 | 3 職員給与費等繰入金 | 600 | 1 職員給与費等繰入金 (1) 職員給与費等繰入金 |

歲 出

3 歳 出

(款) 1 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位：千円)

| 款 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説 明 | |
|-------|----------------------|--------|-----|----------|------------|-------------------|---------|--|--------------------------------|
| | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | | |
| 1 | | | | | | | | | |
| | 総務費 | 18,185 | 600 | 18,785 | 600 | | | | |
| 1 | 総務管理費 | 17,302 | 600 | 17,902 | 600 | | | | |
| | 1 一般管理費 | 16,413 | 600 | 17,013 | その他 600 | | | | |
| | | | | | | 2 給 料 | 375 | 1 一般職員人件費(国民健康保険) 給料 600 (375) | |
| | | | | | | 3 職員手当等 | 55 | 勤勉手当 (55) | |
| | | | | | | 4 共 済 費 | 170 | 縣市町村職員共済組合負担金 (170) | |
| 6 | 保健事業費 | 17,209 | 2 | 17,211 | | | 2 | | |
| 1 | 保健事業費 | 5,467 | 2 | 5,469 | | | 2 | | |
| | 2 疾病予防費 | 4,996 | 2 | 4,998 | | | 2 | | |
| | | | | | | | 7 報 償 費 | 2 | 1 疾病予防費 講演会講師謝礼 2 (2) |
| 7 | 基金積立金 | 37,632 | △22 | 37,610 | | | △22 | | |
| 1 | 基金積立金 | 37,632 | △22 | 37,610 | | | △22 | | |
| | 1 基金積立金 | 37,632 | △22 | 37,610 | | | △22 | | |
| | | | | | | 24 積 立 金 | △22 | 1 国民健康保険準備積立基金積立金 国民健康保険準備積立基金積立金 △22 (△22) | |
| 9 | 諸支出金 | 31,973 | 20 | 31,993 | | | 20 | | |
| 1 | 償還金利子 及び還付加 算金 | 2,218 | 20 | 2,238 | | | 20 | | |
| | 3 償 還 金 | 956 | 20 | 976 | | | 20 | | |
| | | | | | | 22 償還金利子 及び割引料 | 20 | 1 償還金 特別調整交付金返還金 保険者努力支援交付金返還金 20 (111) (△91) | |

議案第 82 号

令和 4 年度美郷町介護保険事業特別会計補正予算(第 2 号)

令和 4 年度美郷町介護保険事業特別会計補正予算(第 2 号)は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

第 1 条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ 46,476 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 1,102,067 千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第 1 表歳入歳出予算補正」による。

令和 4 年 12 月 6 日提出

美郷町長 田 中 秀 俊

第 1 表 歳入歳出予算補正

1 歳入

(単位：千円)

| 款 | 項 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|-----------|-----------|-----------|--------|-----------|
| 1 保険料 | | 152,119 | △2,202 | 149,917 |
| | 1 介護保険料 | 152,119 | △2,202 | 149,917 |
| 3 国庫支出金 | | 276,177 | 4,297 | 280,474 |
| | 1 国庫負担金 | 147,531 | 3,977 | 151,508 |
| | 2 国庫補助金 | 128,646 | 320 | 128,966 |
| 4 支払基金交付金 | | 257,957 | 36,840 | 294,797 |
| | 1 支払基金交付金 | 257,957 | 36,840 | 294,797 |
| 5 県支出金 | | 147,328 | 3,794 | 151,122 |
| | 1 県負担金 | 136,906 | 3,794 | 140,700 |
| 7 繰入金 | | 150,969 | 3,747 | 154,716 |
| | 1 一般会計繰入金 | 150,968 | 3,747 | 154,715 |
| 歳入 | 合計 | 1,055,591 | 46,476 | 1,102,067 |

2 歳 出

(単位：千円)

| 款 | 項 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 |
|-----------|-----------------|-----------|--------|-----------|
| 1 総務費 | | 22,460 | 539 | 22,999 |
| | 1 総務管理費 | 8,704 | 175 | 8,879 |
| | 3 介護認定審査会費 | 5,666 | △64 | 5,602 |
| | 4 認定調査等費 | 7,474 | 428 | 7,902 |
| 2 保険給付費 | | 875,203 | 23,898 | 899,101 |
| | 1 介護サービス等諸費 | 753,217 | 20,725 | 773,942 |
| | 3 高額介護サービス等費 | 24,438 | 600 | 25,038 |
| | 4 特定入所者介護サービス等費 | 75,061 | △4,950 | 70,111 |
| | 5 介護予防サービス等諸費 | 21,881 | 7,523 | 29,404 |
| 3 地域支援事業費 | | 70,994 | 200 | 71,194 |
| | 2 包括的支援事業・任意事業費 | 24,924 | 200 | 25,124 |
| 8 予備費 | | 71,979 | 21,839 | 93,818 |
| | 1 予備費 | 71,979 | 21,839 | 93,818 |
| 歳 出 | 合 計 | 1,055,591 | 46,476 | 1,102,067 |

令和4年度

介護保険事業特別会計補正予算

事 項 別 明 細 書

歳入歳出補正予算事項別明細書

1 総括

(歳入)

(単位：千円)

| 款 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|-----------|-----------|--------|-----------|
| 1 保険料 | 152,119 | △2,202 | 149,917 |
| 3 国庫支出金 | 276,177 | 4,297 | 280,474 |
| 4 支払基金交付金 | 257,957 | 36,840 | 294,797 |
| 5 県支出金 | 147,328 | 3,794 | 151,122 |
| 7 繰入金 | 150,969 | 3,747 | 154,716 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| 歳入合計 | 1,055,591 | 46,476 | 1,102,067 |

(単位：千円)

| 補 正 額 の 財 源 内 訳 | | | | |
|-----------------|-------|-------|--------|---------|
| 特 定 財 源 | | | | 一 般 財 源 |
| 国庫支出金 | 県支出金 | 地 方 債 | そ の 他 | |
| | | | 539 | |
| 4,344 | 3,794 | | 39,826 | △24,066 |
| | | | 200 | |
| | | | | 21,839 |
| 4,344 | 3,794 | | 40,565 | △2,227 |

歳

入

2 歳 入

(款) 1 保 険 料

(項) 1 介 護 保 険 料

(単位：千円)

| 1 | 1 | 保 険 料 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 節 | | 説 明 |
|---|---|--------------|---------|--------|---------|-------------|--------|--|
| | | | | | | 区 分 | 金 額 | |
| | | 保 険 料 | 152,119 | △2,202 | 149,917 | | | |
| | 1 | 介護保険料 | 152,119 | △2,202 | 149,917 | | | |
| | 1 | 第一号被保険者保険料 | 152,119 | △2,202 | 149,917 | 1 現年度分 | △3,612 | 1 特別徴収者分 (1)特別徴収者分 2 普通徴収者分 (1)普通徴収者分 |
| | | | | | | 2 滞納繰越分 | 1,410 | 1 滞納繰越分 (1)滞納繰越分 |
| 3 | | 国庫支出金 | 276,177 | 4,297 | 280,474 | | | |
| | 1 | 国庫負担金 | 147,531 | 3,977 | 151,508 | | | |
| | 1 | 介護給付費負担金 | 147,531 | 3,977 | 151,508 | 1 現年度分 | 3,977 | 1 現年度分 (1)国庫介護給付費現年度分 |
| | 2 | 国庫補助金 | 128,646 | 320 | 128,966 | | | |
| | 1 | 調整交付金 | 107,475 | 367 | 107,842 | 1 現年度分 | 367 | 1 現年度分 (1)調整交付金現年度分 |
| | 7 | 保険者機能強化推進交付金 | 1,319 | △252 | 1,067 | 1 現年度分 | △252 | 1 現年度分 (1)保険者機能強化推進交付金 |
| | 9 | 保険者努力支援交付金 | 1,309 | 205 | 1,514 | 1 現年度分 | 205 | 1 現年度分 (1)保険者努力支援交付金 |
| 4 | | 支払基金交付金 | 257,957 | 36,840 | 294,797 | | | |
| | 1 | 支払基金交付金 | 257,957 | 36,840 | 294,797 | | | |
| | 1 | 介護給付費交付金 | 245,057 | 36,840 | 281,897 | 1 現年度分 | 36,840 | 1 現年度分 (1)現年度分 |
| 5 | | 県支出金 | 147,328 | 3,794 | 151,122 | | | |
| | 1 | 県負担金 | 136,906 | 3,794 | 140,700 | | | |
| | 1 | 介護給付費負担金 | 136,906 | 3,794 | 140,700 | 1 現年度分 | 3,794 | 1 現年度分 (1)現年度分 |
| 7 | | 繰 入 金 | 150,969 | 3,747 | 154,716 | | | |
| | 1 | 一般会計繰入金 | 150,968 | 3,747 | 154,715 | | | |
| | 1 | 介護給付費繰入金 | 109,402 | 2,986 | 112,388 | 1 介護給付費繰入金 | 2,986 | 1 現年度分 (1)保険給付費繰入金 |
| | 2 | その他一般会計繰入金 | 23,150 | 739 | 23,889 | 1 職員給与費等繰入金 | 138 | 1 職員給与費等繰入金 (1)職員給与費等繰入金 |

(介護保険事業特別会計)

(款) 7 繰入金
 (項) 1 一般会計繰入金

(単位:千円)

| 款 | 項 | 目 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 節 | | 説明 |
|---|---|--------------|-------|-----|-------|----------|-----|------------------------|
| | | | | | | 区分 | 金額 | |
| | | | | | | 2 事務費繰入金 | 601 | 1 事務費繰入金 (1) 事務費繰入金 |
| | 5 | 低所得者保険料軽減繰入金 | 7,993 | 22 | 8,015 | 1 現年分 | 22 | 1 現年分 (1) 低所得軽減繰入金 |

歳

出

3 歳 出

(款) 1 総務費
(項) 1 総務管理費

(単位：千円)

| 1 | 1 | 1 | 款 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説 明 |
|---|---|---|-------|--------|-------|--------|----------|------|----------|-----|----------------------------------|
| | | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | |
| | | | 総 務 費 | 22,460 | 539 | 22,999 | 539 | | | | |
| | 1 | | 総務管理費 | 8,704 | 175 | 8,879 | 175 | | | | |
| | | 1 | 一般管理費 | 8,703 | 175 | 8,878 | その他 | | | | |
| | | | | | | | 175 | | | | |
| | | | | | | | | | 2 給 料 | 93 | 1 介護保険一般経費 37 消耗品費(事務用品) (37) |
| | | | | | | | | | 4 共 済 費 | 45 | 2 一般職員人件費(介護保険) 給料 (93) |
| | | | | | | | | | 10 需 用 費 | 37 | 県市町村職員共済組合負担金 (45) |

(介護保険事業特別会計)

(款) 1 総務費
(項) 3 介護認定審査会費

(単位：千円)

| 款 | 項 | 目 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説明 |
|---|---|----------|-------|-----|-------|------------|------|----------|-----|---|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 | 分 | |
| | 3 | 介護認定審査会費 | 5,666 | △64 | 5,602 | △64 | | | | |
| | 1 | 介護認定審査会費 | 5,666 | △64 | 5,602 | その他 △64 | | 11 役 務 費 | △64 | 1 介護認定審査会費 認定審査送信回線接続料 △64 (△64) |

(介護保険事業特別会計)

(款) 1 総務費
(項) 4 認定調査等費

(単位：千円)

| 款 | 項 | 目 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説明 |
|---|---|--------|-------|-----|-------|----------|------|--------|-----|------------------------|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区分 | 金額 | |
| 4 | | 認定調査等費 | 7,474 | 428 | 7,902 | 428 | | | | |
| | 1 | 認定調査等費 | 7,474 | 428 | 7,902 | その他 | | | | |
| | | | | | | 428 | | 8 旅費 | 128 | 1 認定調査等費 428 |
| | | | | | | | | 11 役務費 | 300 | 費用弁償（会計年度職員通勤手当） (128) |
| | | | | | | | | | | 主治医意見書料 (300) |

(介護保険事業特別会計)

(款) 2 保険給付費
 (項) 1 介護サービス等諸費

(単位：千円)

| 2 | 1 | 款 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説 明 |
|---|----|----------------|---------|--------|---------|--|---------|-------------------|--------|---|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | |
| | | 保険給付費 | 875,203 | 23,898 | 899,101 | 47,964 | △24,066 | | | |
| | 1 | 介護サービス等諸費 | 753,217 | 20,725 | 773,942 | 41,417 | △20,692 | | | |
| | 1 | 居宅介護サービス等給付費 | 180,561 | 20,000 | 200,561 | 国庫補助金 5,040 県支出金 3,341 その他 14,827 | △3,208 | 18 負担金補助 及び交付金 | 20,000 | 1 居宅介護サービス等給付費 居宅介護サービス等給付費負担金 20,000 (20,000) |
| | 3 | 施設介護サービス等給付費 | 458,000 | 600 | 458,600 | 国庫補助金 △1,146 県支出金 108 その他 15,620 | △13,982 | 18 負担金補助 及び交付金 | 600 | 1 施設介護サービス等給付費 施設介護サービス等給付費負担金 600 (600) |
| | 5 | 居宅介護福祉用具購入費 | 400 | 125 | 525 | 国庫補助金 38 県支出金 15 その他 69 | 3 | 18 負担金補助 及び交付金 | 125 | 1 居宅介護福祉用具購入費 福祉用具購入費負担金 125 (125) |
| | 6 | 居宅介護住宅改修費 | 1,200 | 0 | 1,200 | 国庫補助金 △3 その他 40 | △37 | | | |
| | 9 | 地域密着型サービス等給付費 | 89,190 | 0 | 89,190 | 国庫補助金 △255 その他 2,991 | △2,736 | | | |
| | 10 | 居宅介護支援サービス等給付費 | 23,866 | 0 | 23,866 | 国庫補助金 △68 その他 800 | △732 | | | |

(介護保険事業特別会計)

(款) 2 保険給付費
 (項) 3 高額介護サービス等費

(単位：千円)

| 款 | 項 | 目 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説明 |
|---|---|------------|--------|-----|--------|--|------|---------------|-----|---|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区分 | 金額 | |
| 3 | | 高額介護サービス等費 | 24,438 | 600 | 25,038 | 1,281 | △681 | | | |
| | 1 | 高額介護サービス等費 | 21,941 | 0 | 21,941 | 国庫補助金 △61 県支出金 △1 その他 736 | △674 | | | |
| | 3 | 高額合算療養費 | 2,497 | 600 | 3,097 | 国庫補助金 185 県支出金 75 その他 347 | △7 | 18 負担金補助及び交付金 | 600 | 1 高額合算療養費 高額合算療養費負担金 600 (600) |

(介護保険事業特別会計)

(款) 2 保険給付費

(項) 4 特定入所者介護サービス等費

(単位：千円)

| 款 | 項 | 目 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説明 | |
|---|---|-----------------------|--------|--------|--------|---|--------|-------------------|--------|-------------------------------------|--------------------|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区分 | 金額 | | |
| | 4 | 特定入所者 介護サービス 等費 | 75,061 | △4,950 | 70,111 | △2,071 | △2,879 | | | | |
| | 1 | 特定入所者 介護サービス 等費 | 75,061 | △4,950 | 70,111 | 国庫補助金 △1,551 県支出金 △867 その他 347 | △2,879 | 18 負担金補助 及び交付金 | △4,950 | 1 特定入所者介護サービス等費 特定入所者介護サービス費等負担金 | △4,950 (△4,950) |

(介護保険事業特別会計)

(款) 2 保険給付費

(項) 5 介護予防サービス等諸費

(単位：千円)

| 款 | 項 | 目 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説明 | |
|---|---|------------------|--------|-------|--------|---|------|-------------------|-------|--|------------------|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区分 | 金額 | | |
| 5 | | 介護予防サービス等諸費 | 21,881 | 7,523 | 29,404 | 7,317 | 206 | | | | |
| | 1 | 介護予防サービス等給付費 | 7,414 | 3,600 | 11,014 | 国庫補助金 951 県支出金 631 その他 1,826 | 192 | 18 負担金補助 及び交付金 | 3,600 | 1 介護サービス等給付費 介護予防サービス等給付費負担金 | 3,600 (3,600) |
| | 3 | 介護予防福祉用具購入費 | 500 | 0 | 500 | 国庫補助金 △1 県支出金 1 その他 16 | △16 | | | | |
| | 4 | 介護予防住宅改修費 | 1,500 | 0 | 1,500 | 国庫補助金 △4 県支出金 1 その他 50 | △47 | | | | |
| | 5 | 居宅介護支援サービス等給付費 | 2,467 | 100 | 2,567 | 国庫補助金 25 県支出金 12 その他 126 | △63 | 18 負担金補助 及び交付金 | 100 | 1 居宅介護支援サービス等給付費 居宅介護支援サービス等給付費負担金 | 100 (100) |
| | 6 | 介護予防地域密着型サービス給付費 | 10,000 | 3,823 | 13,823 | 国庫補助金 1,195 県支出金 477 その他 2,011 | 140 | 18 負担金補助 及び交付金 | 3,823 | 1 介護予防地域密着型サービス等給付費 介護予防地域密着型サービス等給付費 | 3,823 (3,823) |

(介護保険事業特別会計)

(款) 2 保険給付費
 (項) 6 審査支払手数料

(単位：千円)

| 款 | 項 | 目 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説明 |
|---|---|---------|-------|-----|-----|-------------|------|---|---|----|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 | 分 | |
| 6 | | 審査支払手数料 | 606 | 0 | 606 | 20 | △20 | | | |
| | 1 | 審査支払手数料 | 606 | 0 | 606 | 国庫補助金 △1 | △20 | | | |
| | | | | | | 県支出金 1 | | | | |
| | | | | | | その他 20 | | | | |

(介護保険事業特別会計)

(款) 3 地域支援事業費

(項) 2 包括的支援事業・任意事業費

(単位：千円)

| 款 | 項 | 目 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説明 | |
|---|---|---------------|--------|-----|--------|----------|------|--------|-----|--------------------------|--------------|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区分 | 金額 | | |
| 3 | | 地域支援事業費 | 70,994 | 200 | 71,194 | 200 | | | | | |
| | 2 | 包括的支援事業・任意事業費 | 24,924 | 200 | 25,124 | 200 | | | | | |
| | 5 | 任意事業費 | 997 | 200 | 1,197 | その他 | | | | | |
| | | | | | | 200 | | 19 扶助費 | 200 | 1 任意事業費 成年後見人等報酬費用助成金 | 200 (200) |

(介護保険事業特別会計)

(款) 8 予備費
(項) 1 予備費

(単位：千円)

| 8 | 1 | 予備費 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説明 |
|---|---|-------|--------|--------|--------|----------|--------|--------|--------|--------------------|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区分 | 金額 | |
| | | 予備費 | 71,979 | 21,839 | 93,818 | | 21,839 | | | |
| | 1 | 予備費 | 71,979 | 21,839 | 93,818 | | 21,839 | | | |
| | | 1 予備費 | 71,979 | 21,839 | 93,818 | | 21,839 | 29 予備費 | 21,839 | 1 予備費(介護保険) 予備費 |
| | | | | | | | | | | 21,839 (21,839) |

(介護保険事業特別会計)

議案第 8 3 号

令和 4 年度美郷町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第 2 号)

令和 4 年度美郷町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第 2 号)は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

- 第 1 条 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ 4 4 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 2 0 9 , 1 1 4 千円とする。
- 2 歳入歳出予算の補正の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第 1 表歳入歳出予算補正」による。

令和 4 年 1 2 月 6 日 提出

美郷町長 田 中 秀 俊

第 1 表 歳入歳出予算補正

1 歳 入

(単位：千円)

| 款 | 項 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 |
|---------|----------|---------|-------|---------|
| 5 諸 収 入 | | 22,771 | 44 | 22,815 |
| | 4 受託事業収入 | 18,779 | 44 | 18,823 |
| 歳 入 | 合 計 | 209,070 | 44 | 209,114 |

2 歳 出

(単位：千円)

| 款 | 項 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 |
|---------|---------|---------|-------|---------|
| 1 総 務 費 | | 11,221 | 44 | 11,265 |
| | 1 総務管理費 | 11,221 | 44 | 11,265 |
| 歳 出 | 合 計 | 209,070 | 44 | 209,114 |

令和4年度

美郷町後期高齢者医療事業特別会計補正予算

事 項 別 明 細 書

(歳出)

| 款 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|-------|---------|-----|---------|
| 1 総務費 | 11,221 | 44 | 11,265 |
| | | | |
| 歳出合計 | 209,070 | 44 | 209,114 |

歳

入

2 歳 入

(款) 5 諸 収 入

(項) 4 受託事業収入

(単位：千円)

| 5 | 4 | 款 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 節 | | 説 明 |
|---|---|--------|--------|-------|--------|---------------------------------|-----|---|
| | | | | | | 区 分 | 金 額 | |
| | | 諸 収 入 | 22,771 | 44 | 22,815 | | | |
| | | 受託事業収入 | 18,779 | 44 | 18,823 | | | |
| | 1 | 受託事業収入 | 18,779 | 44 | 18,823 | 1 後期高齢者 医療広域連 合受託事業 収入 | 44 | 1 高齢者の保険事業と介護予防との一体的実施事業費 (1) 高齢者の保険事業と介護予防との一体的実施事業受託収入 |

(後期高齢者医療事業特別会計)

歳

出

3 歳 出

(款) 1 総務費
(項) 1 総務管理費

(単位：千円)

| 1 | 1 | 1 | 款 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説 明 |
|---|---|---|---------|--------|-------|--------|----------|------|---------|-----|--|
| | | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | |
| | | | 総 務 費 | 11,221 | 44 | 11,265 | 44 | | | | |
| | | | 1 総務管理費 | 11,221 | 44 | 11,265 | 44 | | | | |
| | | | 1 一般管理費 | 11,013 | 44 | 11,057 | | その他 | | | |
| | | | | | | | 44 | | | | |
| | | | | | | | | | 1 報 酬 | 36 | 1 健康管理費(後期高齢) 報酬(パートタイム会計年度任用職員) 44 (36) |
| | | | | | | | | | 3 職員手当等 | 8 | 期末手当(パートタイム会計年度任用職員) (8) |

(後期高齢者医療事業特別会計)

議案第 8 4 号

令和 4 年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算（第 5 号）

令和 4 年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算（第 5 号）は、次に定めるところによる。

（歳出予算の補正）

第 1 条 歳出予算の補正の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳出予算の金額は、「第 1 表歳出予算補正」による。

令和 4 年 1 2 月 6 日 提 出

美郷町長 田 中 秀 俊

第1表 歳出予算補正

2 歳出

(単位：千円)

| 款 | 項 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|---------|---------|---------|------|---------|
| 1 簡易水道費 | | 122,418 | △660 | 121,758 |
| | 1 簡易水道費 | 122,418 | △660 | 121,758 |
| 4 予備費 | | 6,044 | 660 | 6,704 |
| | 1 予備費 | 6,044 | 660 | 6,704 |
| 歳出合計 | | 182,636 | 0 | 182,636 |

令和 4 年度

美郷町簡易水道事業特別会計補正予算

事 項 別 明 細 書

歳出補正予算事項別明細書

1 総括

(歳出)

(単位：千円)

| 款 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | | | |
|---------|---------|------|---------|----------|------|-----|-----|------|
| | | | | 特定財源 | | | | 一般財源 |
| | | | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | |
| 1 簡易水道費 | 122,418 | △660 | 121,758 | | | | | △660 |
| 4 予備費 | 6,044 | 660 | 6,704 | | | | | 660 |
| | | | | | | | | |
| 歳出合計 | 182,636 | 0 | 182,636 | | | | | |

歲 出

3 歳 出

(款) 1 簡易水道費

(項) 1 簡易水道費

(単位：千円)

| 款 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説 明 |
|-------|-------------|---------|--------|----------|------|----------|--------|---|
| | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | |
| 1 | | | | | | | | |
| 1 | 簡易水道費 | 122,418 | △660 | 121,758 | | △660 | | |
| 1 | 簡易水道費 | 122,418 | △660 | 121,758 | | △660 | | |
| 1 | 簡易水道総務費 | 16,693 | △200 | 16,493 | | △200 | | |
| | | | | | | 17 備品購入費 | △200 | 1 庁用車管理購入費(簡易水道) 庁用車購入費 △200 (△200) |
| 2 | 簡易水道財産管理費 | 102,191 | △1,010 | 101,181 | | △1,010 | | |
| | | | | | | 10 需用費 | 200 | 1 簡易水道施設維持管理費 電気料 △1,010 (200) |
| | | | | | | 12 委託料 | △1,210 | 浄水場配水タンク清掃業務委託料 地方公営企業法適用移行業務委託料 (△490) (△720) |
| 3 | 簡易水道施設災害復旧費 | 3,534 | 550 | 4,084 | | 550 | | |
| | | | | | | 10 需用費 | 550 | 修繕費(災害復旧分) (550) |

(簡易水道事業特別会計)

(款) 4 予備費

(項) 1 予備費

(単位：千円)

| 款 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説 明 |
|-------|-------|-------|-----|----------|------|--------|-----|------------------------------------|
| | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | |
| 4 | | | | | | | | |
| | 予備費 | 6,044 | 660 | 6,704 | | 660 | | |
| 1 | 予備費 | 6,044 | 660 | 6,704 | | 660 | | |
| 1 | 予備費 | 6,044 | 660 | 6,704 | | 660 | | |
| | | | | | | 29 予備費 | 660 | 1 予備費(簡易水道) 予備費 660 (660) |

(簡易水道事業特別会計)

議案第 8 5 号

令和 4 年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算（第 4 号）

令和 4 年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算（第 4 号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第 1 条 歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ 1 7 6 , 2 0 0 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 3 0 5 , 9 4 5 千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第 1 表歳入歳出予算補正」による。

第 2 条 地方自治法第 2 1 3 条第 1 項の規定により、翌年度に繰越して使用することができる経費は、「第 2 表 繰越明許費」による。

令和 4 年 1 2 月 6 日 提 出

美郷町長 田 中 秀 俊

第 1 表 歳入歳出予算補正

1 歳入

(単位：千円)

| 款 | 項 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|---------|----------|---------|---------|---------|
| 2 国庫支出金 | | 0 | 41,500 | 41,500 |
| | 1 国庫支出金 | 0 | 41,500 | 41,500 |
| 5 繰入金 | | 68,062 | 134,700 | 202,762 |
| | 1 他会計繰入金 | 68,062 | 134,700 | 202,762 |
| 歳入合計 | | 129,745 | 176,200 | 305,945 |

2 歳 出

(単位：千円)

| 款 | 項 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|-------|-------|---------|---------|---------|
| 1 衛生費 | | 72,337 | 176,200 | 248,537 |
| | 1 清掃費 | 72,337 | 176,200 | 248,537 |
| 歳出 | 合計 | 129,745 | 176,200 | 305,945 |

第2表 繰越明許費

(単位：千円)

| 款 | 項 | 事業名 | 金額 |
|-------|-------|----------------|---------|
| 1 衛生費 | 1 清掃費 | 維持管理適正化計画策定事業 | 33,000 |
| 1 衛生費 | 1 清掃費 | 施設整備事業計画策定事業 | 17,100 |
| 1 衛生費 | 1 清掃費 | 農業集落排水施設災害復旧事業 | 124,500 |
| 合 計 | | | 174,600 |

令和 4 年度

美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算

事 項 別 明 細 書

歳入歳出補正予算事項別明細書

1 総括

(歳入)

(単位：千円)

| 款 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|---------|---------|---------|---------|
| 2 国庫支出金 | 0 | 41,500 | 41,500 |
| 5 繰入金 | 68,062 | 134,700 | 202,762 |
| | | | |
| 歳入合計 | 129,745 | 176,200 | 305,945 |

(歳出)

(単位：千円)

| 款 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | | | |
|-------|---------|---------|---------|----------|------|-----|---------|------|
| | | | | 特定財源 | | | | 一般財源 |
| | | | | 国庫支出金 | 県支出金 | 地方債 | その他 | |
| 1 衛生費 | 72,337 | 176,200 | 248,537 | 41,500 | | | 134,700 | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| | | | | | | | | |
| 歳出合計 | 129,745 | 176,200 | 305,945 | 41,500 | | | 134,700 | |

歲 入

2 歳 入

(款) 2 国庫支出金

(項) 1 国庫支出金

(単位：千円)

| 2 | 1 | 3 | 款 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 節 | | 説 明 |
|---|---|---|-------------|--------|---------|---------|-------------|---------|-----------------------------|
| | | | | | | | 区 分 | 金 額 | |
| | | | 国庫支出金 | 0 | 41,500 | 41,500 | | | |
| | 1 | | 国庫支出金 | 0 | 41,500 | 41,500 | | | |
| | | 3 | 農業集落排水国庫補助金 | 0 | 41,500 | 41,500 | 2 農村整備事業補助金 | 41,500 | 1 農村整備事業補助金 (1)農村整備事業補助金 |
| 5 | | | 繰 入 金 | 68,062 | 134,700 | 202,762 | | | |
| | 1 | | 他会計繰入金 | 68,062 | 134,700 | 202,762 | | | |
| | | 1 | 一般会計繰入金 | 68,062 | 134,700 | 202,762 | 1 一般会計繰入金 | 134,700 | 1 一般会計繰入金 (1)一般会計繰入金 |

(農業集落排水事業特別会計)

歲 出

3 歳 出

(款) 1 衛生費

(項) 1 清掃費

(単位：千円)

| 1 | 1 | 衛生費 | 72,337 | 176,200 | 248,537 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説明 | |
|---|---|---------------|--------|---------|---------|----------------------------------|------|------------------------------|--------------------------|--|---|
| | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | | |
| | | 衛生費 | 72,337 | 176,200 | 248,537 | 176,200 | | | | | |
| | 1 | 清掃費 | 72,337 | 176,200 | 248,537 | 176,200 | | | | | |
| | 1 | 農業集落排水事業費 | 60,620 | 51,700 | 112,320 | 国庫補助金 41,500 その他 10,200 | | 10 需用費 12 委託料 14 工事請負費 | 1,100 49,600 1,000 | 1 農業集落排水事業施設維持管理費 電気料 修繕費（施設管理） 地方公営企業法適用移行業務委託料 計画策定委託料 農業集落排水施設整備工事 | 51,700 (600) (500) (△500) (50,100) (1,000) |
| | 2 | 農業集落排水施設災害復旧費 | 11,717 | 124,500 | 136,217 | その他 124,500 | | 14 工事請負費 | 124,500 | 農業集落排水施設工事請負費 | (124,500) |

(農業集落排水事業特別会計)

議案第 86 号

令和 4 年度美郷町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第 4 号）

令和 4 年度美郷町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第 4 号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第 1 条 歳入歳出の総額に、歳入歳出それぞれ 1,705 千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ 207,752 千円とする。

2 歳入歳出予算の補正の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第 1 表歳入歳出予算補正」による。

令和 4 年 12 月 6 日提出

美郷町長 田 中 秀 俊

第 1 表 歳入歳出予算補正

1 歳入

(単位：千円)

| 款 | 項 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|-------|----------|---------|-------|---------|
| 6 繰入金 | | 115,218 | 1,705 | 116,923 |
| | 1 他会計繰入金 | 115,218 | 1,705 | 116,923 |
| 歳入合計 | | 206,047 | 1,705 | 207,752 |

2 歳 出

(単位：千円)

| 款 | 項 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 |
|---------|---------|---------|-------|---------|
| 1 総 務 費 | | 154,690 | 1,705 | 156,395 |
| | 1 総務管理費 | 154,006 | 1,705 | 155,711 |
| 歳 出 | 合 計 | 206,047 | 1,705 | 207,752 |

令和 4 年度

美郷町国民健康保険診療所事業特別会計

事 項 別 明 細 書

歳入歳出補正予算事項別明細書

1 総括

(歳入)

(単位：千円)

| 款 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|-------|---------|-------|---------|
| 6 繰入金 | 115,218 | 1,705 | 116,923 |
| | | | |
| 歳入合計 | 206,047 | 1,705 | 207,752 |

(歳出)

| 款 | 補正前の額 | 補正額 | 計 |
|-------|---------|-------|---------|
| 1 総務費 | 154,690 | 1,705 | 156,395 |
| | | | |
| 歳出合計 | 206,047 | 1,705 | 207,752 |

歳 入

2 歳 入

(款) 6 繰入金

(項) 1 他会計繰入金

(単位：千円)

| 6 | 1 | 繰入金 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 節 | | 説明 |
|---|---|---------|---------|-------|---------|-----------------|-------|------------------------------|
| | | | | | | 区分 | 金額 | |
| | | 繰入金 | 115,218 | 1,705 | 116,923 | | | |
| | 1 | 他会計繰入金 | 115,218 | 1,705 | 116,923 | | | |
| | 1 | 一般会計繰入金 | 88,213 | 1,705 | 89,918 | 1 診療所運営 費繰入金 | 1,705 | 1 診療所運営費繰入金 (1) 診療所運営費繰入金 |

歲 出

3 歳 出

(款) 1 総務費

(項) 1 総務管理費

(単位：千円)

| 1 | 1 | 1 | 款 項 目 | 補正前の額 | 補 正 額 | 計 | 補正額の財源内訳 | | 節 | | 説 明 |
|---|---|---|-------|---------|-------|---------|----------|-------|---------|-------|---|
| | | | | | | | 特定財源 | 一般財源 | 区 分 | 金 額 | |
| | | | 総 務 費 | 154,690 | 1,705 | 156,395 | | 1,705 | | | |
| | | | 総務管理費 | 154,006 | 1,705 | 155,711 | | 1,705 | | | |
| | | 1 | 一般管理費 | 154,006 | 1,705 | 155,711 | | 1,705 | | | |
| | | | | | | | | | 1 報 酬 | 72 | 1 一般職員等人件費(診療所) 給料 (1,200) |
| | | | | | | | | | 2 給 料 | 1,464 | 勤勉手当 (100) |
| | | | | | | | | | 3 職員手当等 | 169 | 2 会計年度任用職員人件費(南郷診療所) 報酬(パートタイム会計年度任用職員) (72) 給料(フルタイム会計年度任用職員) (192) 期末手当(フルタイム会計年度任用職員) (39) 期末手当(パートタイム会計年度任用職員) (15) |
| | | | | | | | | | | | 3 会計年度任用職員人件費(北郷診療所) 給料(フルタイム会計年度任用職員) (72) 期末手当(フルタイム会計年度任用職員) (15) |

(国民健康保険診療所事業特別会計)

議案第 8 7 号

令和 4 年度美郷町国民健康保険病院事業会計補正予算（第 3 号）

第 1 条 令和 4 年度美郷町国民健康保険病院事業会計補正予算（第 3 号）は、次に定めるところによる。

第 2 条 令和 4 年度美郷町国民健康保険病院事業会計予算（以下「予算」という。）第 3 条に定められた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

| （科 目） | （既決予定額） | （補正予定額） | （計） |
|--------------|------------------|----------|------------------|
| 収 入 | | | |
| 第 1 款 病院事業収益 | 7 2 6 , 2 0 7 千円 | 1 2 1 千円 | 7 2 6 , 3 2 8 千円 |
| 第 1 項 医業外収益 | 2 5 0 , 3 1 1 千円 | 1 2 1 千円 | 2 0 5 , 4 3 2 千円 |
| （科 目） | （既決予定額） | （補正予定額） | （計） |
| 支 出 | | | |
| 第 1 款 病院事業費用 | 7 2 6 , 2 0 7 千円 | 1 2 1 千円 | 7 2 6 , 3 2 8 千円 |
| 第 1 項 医業費用 | 6 9 7 , 7 5 5 千円 | 1 2 1 千円 | 6 9 7 , 8 7 6 千円 |

令和 4 年 1 2 月 6 日提出

美郷町長 田 中 秀 俊

令和04年度美郷町国民健康保険病院事業会計補正予算（第3号）実施計画
収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

| 款 | 項 | 目 | 既決予算額 | 補正予算額 | 計 | 説 明 |
|-----------|----------|--------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 病院事業収益 | | | 726,207 | 121 | 726,328 | |
| | 2. 医業外収益 | | 250,311 | 121 | 250,432 | |
| | | 2. 補助金 | | 8,118 | 121 | 8,239 |

令和04年度美郷町国民健康保険病院事業会計補正予算（第3号）実施計画
収益的収入及び支出

支 出

(単位：千円)

| 款 | 項 | 目 | 既決予算額 | 補正予算額 | 計 | 説 明 |
|-----------|---------|----------|---------|--------|---------|-----|
| 1. 病院事業費用 | | | 726,207 | 121 | 726,328 | |
| | 1. 医業費用 | | 697,755 | 121 | 697,876 | |
| | | 1. 給与費 | 449,216 | △5,319 | 443,897 | |
| | | 3. 経費 | 102,949 | 2,631 | 105,580 | |
| | | 4. 減価償却費 | 46,709 | 2,809 | 49,518 | |

収益的収入及び支出

収 入

(単位：千円)

| 款 | 項 | 目 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 節 | | 説 明 |
|-----------|----------|--------|---------|-----|---------|-----|-----|----------------------------|
| | | | | | | 区 分 | 金 額 | |
| 1. 病院事業収益 | | | 726,207 | 121 | 726,328 | | | 0 |
| | 2. 医業外収益 | | 250,311 | 121 | 250,432 | | | 0 |
| | | 2. 補助金 | 8,118 | 121 | 8,239 | | | 0 |
| | | | | | | 補助金 | 121 | 労災レセプト電算処理システム導入支援金 121 |
| 【合 計】 | | | 726,207 | 121 | 726,328 | | | |

支 出

(単位：千円)

| 款 | 項 | 目 | 補正前の額 | 補正額 | 計 | 節 | | 説 明 |
|-----------|---------|----------|---------|--------|---------|-----------|--------|--|
| | | | | | | 区 分 | 金 額 | |
| 1. 病院事業費用 | | | 726,207 | 121 | 726,328 | | | 0 |
| | 1. 医業費用 | | 697,755 | 121 | 697,876 | | | 0 |
| | | 1. 給与費 | 449,216 | △5,319 | 443,897 | | | 0 |
| | | | | | | 給料 | △7,237 | 会計年度任用職員給料 △7,237 |
| | | | | | | 手当 | 3,901 | 医師手当 1,198 看護師手当 1,740 准看護師手当 283 医療技術員手当 352 事務員手当 328 |
| | | | | | | 法定福利費 | △4,117 | △4,117 |
| | | | | | | 報酬 | 2,134 | 会計年度任用職員報酬 2,134 |
| | | 3. 経費 | 102,949 | 2,631 | 105,580 | | | 0 |
| | | | | | | 消耗備品費 | 800 | 消耗品 800 |
| | | | | | | 光熱水費 | 910 | 水道料 380 集落排水料 530 |
| | | | | | | 修繕費 | 294 | 機器修理 293 |
| | | | | | | 委託料 | 616 | 労災レセプト電算処理システム委託 242 電子カルテシステム追加費用(栄養科) 374 |
| | | | | | | 通信運搬費 | 11 | 電子カルテシステム追加(サービス利用料) 11 |
| | | 4. 減価償却費 | 46,709 | 2,809 | 49,518 | | | 0 |
| | | | | | | 建物減価償却費 | 1,825 | 1,825 |
| | | | | | | 機械備品減価償却費 | 984 | 984 |
| | 【合 計】 | | 726,207 | 121 | 726,328 | | | |

令和4年議会第4回定例会における請願文書表

| | |
|-----------------------|---|
| 種別 | 令和4年請願第1号 美R214-145 |
| 件名 | 「水田活用の直接支払交付金」の見直しを中止し、すべての農家経営への支援強化を求める請願 |
| 提出者 | 宮崎市大字大瀬町 5983-1 宮崎県農民組合連合会 会長 有田辰二 |
| 請願の要旨 ※原文のまま 記載 | <p>請願の趣旨</p> <p>政府は深刻な米価下落対策に十分な対策をとらないまま、昨年11月19日、新たに26万トンの主食米生産数量を削減する計画を発表しました。</p> <p>同時に、2022年度から「水田活用の直接支払交付金」の見直し方針を明らかにしました。その内容は、畔や水路がなく水張りができない水田や、2022年から2026年の5年間に1度も米を作らなかった水田は「水田活用の直接支払交付金」の対象水田から外すというものです。</p> <p>これが実現されれば、永年作物や牧草地利用など、転作に協力してきた農家への打撃は計り知れません。減反を拡大する一方で、これまで政府に長年にわたって転作に協力してきた農家を交付金の対象から排除することは到底受け入れられません。さらに重大なことは、「畦があっても、水路があっても、5年間に1度も水張りしなければ」交付対象から外すことを明言しています。これまで、食料自給率の低い麦・大豆・なたね・そばなどの戦略作物の生産拡大に取り組んでいる農家に対する、重大な裏切りです。交付金の対象から外れる水田は耕作放棄地になり、さらに自給率の低下を招きます。</p> <p>いま、食料自給率向上を確実に高めるために水田を活用した転作への支援こそ求められています。</p> <p>交付金の削減を行うことなく、食料自給率向上をめざして、すべての農家を対象にした施策・予算の一層の拡充が必要です。</p> <p>請願の事項</p> <p>「水田活用の直接支払交付金」の見直しは行わないこと。自給率の低い戦略作物、農産物に対する交付金・支援策を充実させ、すべての農家経営の安定をはかること。</p> |
| 紹介議員 | 小路文喜 議員 |
| 受理年月日 | 令和4年8月18日 |